

蓮田市障がい者福祉に関する アンケート調査結果報告書

令和8年6月
蓮田市



目 次

第1部 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査対象者及び回収結果.....	2
3 調査方法と実施期間.....	2
4 分析・表示について.....	2
第2部 調査結果.....	3
1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査結果.....	4
1. あなたとご家族のことについておたずねします.....	4
2. 住まいや暮らしについておたずねします.....	10
3. 日常生活についておたずねします.....	15
4. 健康と医療についておたずねします.....	21
5. 障がいに対する理解についておたずねします.....	23
6. 情報や相談についておたずねします.....	29
7. 就労状況についておたずねします.....	33
8. 災害時の対応についておたずねします.....	41
9. 障がい福祉サービスについておたずねします.....	49
10. 障がい児福祉についておたずねします.....	53
11. 蓮田市の障がい者施策等についておたずねします.....	57
2. その他の市民へのアンケート調査結果.....	65
1. あなたとご家族のことについておたずねします.....	65
2. 障がいへの関心についておたずねします.....	69
3. 障がいに対する理解についておたずねします.....	72
4. 障がいの周知啓発についておたずねします.....	79
5. 社会参加・ボランティアについておたずねします.....	82
6. 障がいのある方の人権についておたずねします.....	85
7. 福祉のまちづくりについておたずねします.....	88
資料 調査票.....	92
1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査票.....	93
2. その他の市民へのアンケート調査票.....	104

第1部 調査概要

第1部 調査概要

1 調査の目的

蓮田市では、「みんなでつくるみんなで暮らせるまち」を基本理念とする『かがやきはすだプラン（「蓮田市第3次障がい者基本計画」及び「蓮田市第7期障がい福祉計画・蓮田市第3期障がい児福祉計画」）』の計画期間が令和8年度末をもって終了することから、令和9年度以降に向けて新たな計画の策定に取り組むにあたり、障害者手帳をお持ちの方などを対象に、生活の状況などから計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査対象者及び回収結果

調査区分	対象	配布数	回収件数	有効回収件数	有効回収率
1 障害者手帳所持者へのアンケート調査	障害者手帳を所持している方	2,843	1,736	1,735	61.0%
2 その他の市民へのアンケート調査	市内在住の18歳以上の市民	1,000	495	495	49.5%

3 調査方法と実施期間

■調査方法：郵送配布、郵送回収、お礼状1回発送

■実施期間：令和8年2月4日（水）～令和8年3月6日（金）

4 分析・表示について

- 1) 単数回答の設問における各選択肢の回答割合(比率)は、非該当者を除いた回答者数(「n」で表す当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。
- 2) 各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、比率の合計は100%にならない場合があります。
- 3) 複数回答の設問における各選択肢の回答割合(比率)は、非該当者を除いた回答者数(「n」で表す当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。したがって、比率の合計値は100%以上となります。
- 4) 図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。

第2部 調査結果

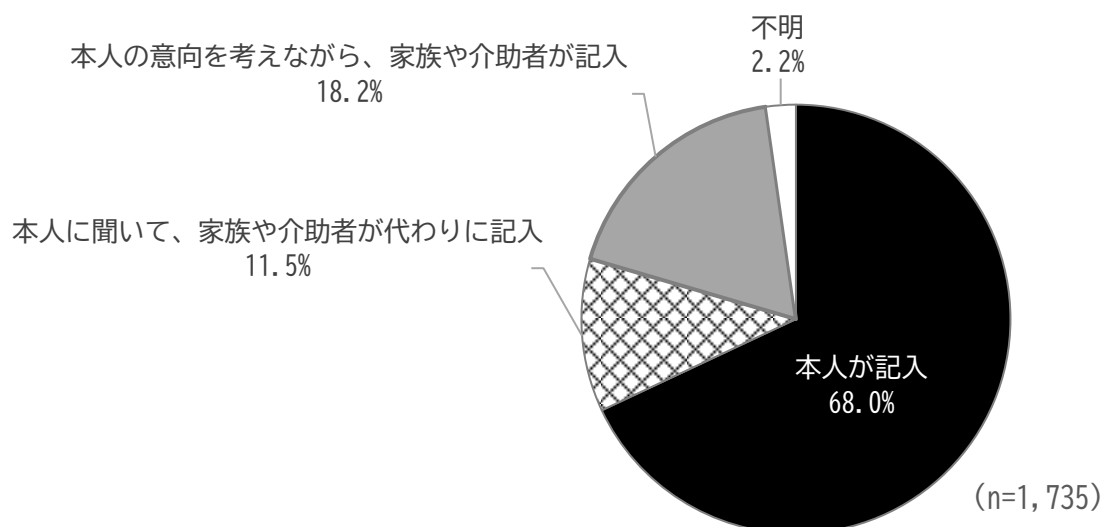
第2部 調査結果

1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査結果

1. あなたとご家族のことについておたずねします

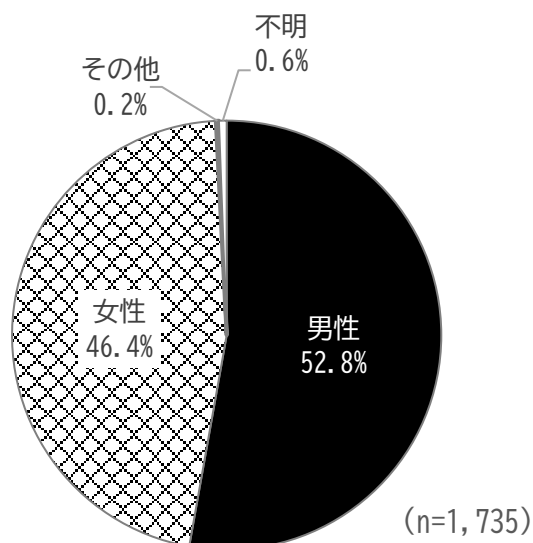
問1 この調査票はどなたが記入されましたか。(○は1つ)

調査票を記入した方については、「本人が記入」が68.0%と最も多く、次いで「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が18.2%、「本人に聞いて、家族や介助者が代わりに記入」が11.5%となっています。



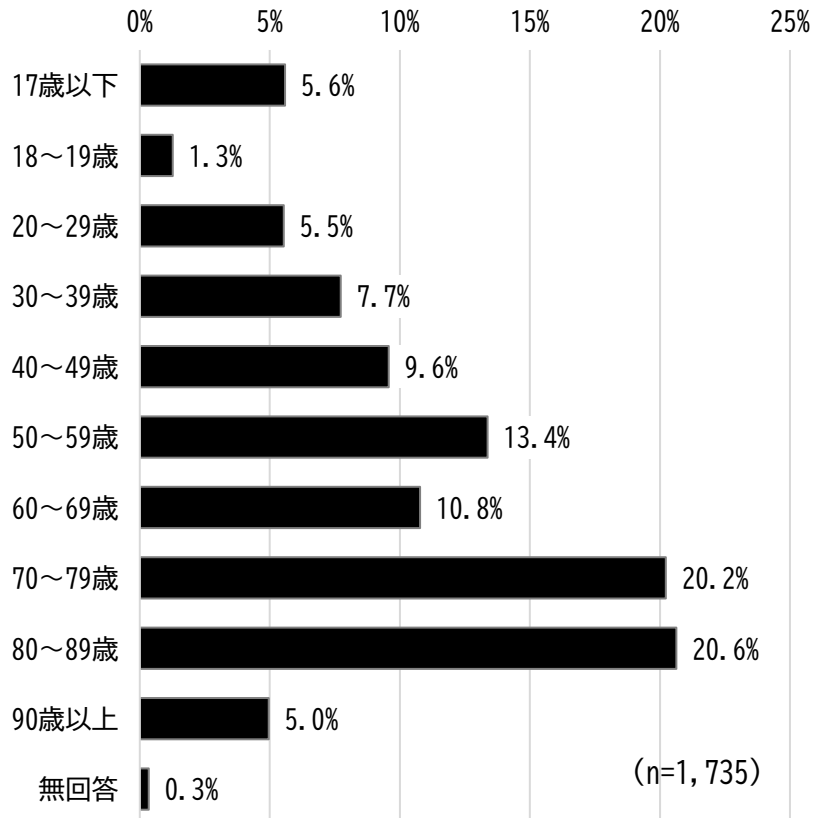
問2 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が52.8%、「女性」が46.4%となっています。



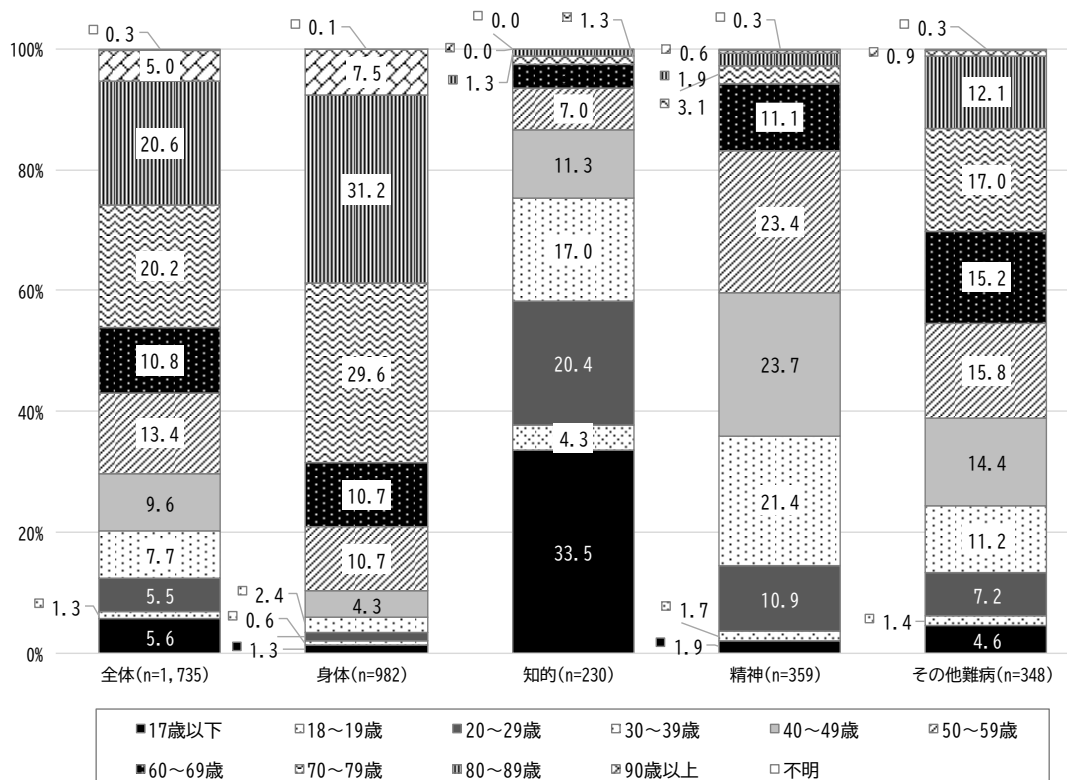
問3 年齢をお答えください。(○は1つ)

年齢については、「80～89歳」が20.6%、「70～79歳」が20.2%、「50～59歳」が13.4%となっています。



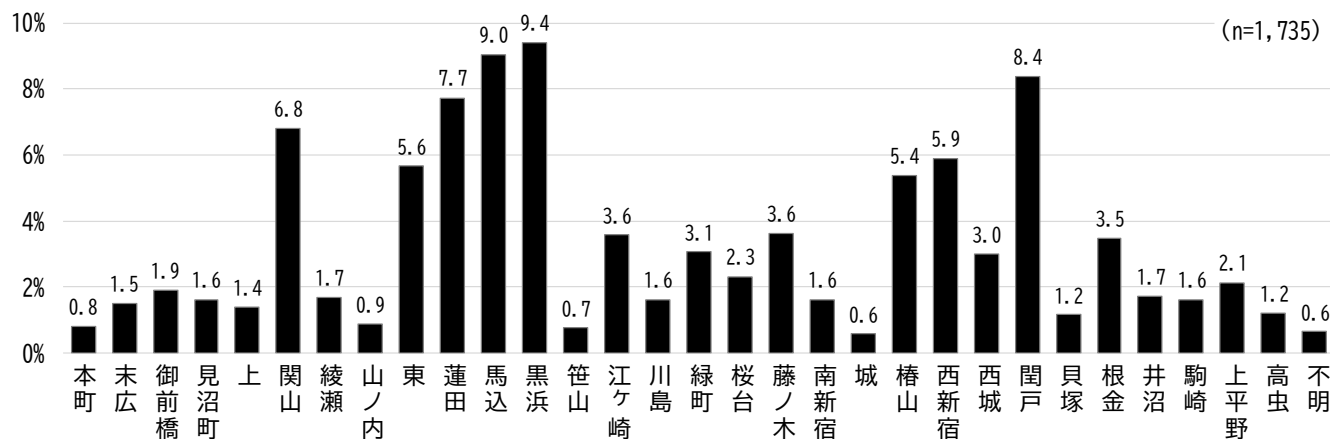
【障がい別の年齢】

障がい別で年齢をみると、「身体」では、「80～89歳」が68.3%、「知的」では、「17歳以下」が33.5%、「精神」では、「40～49歳」が23.7%、「その他難病」では、「70～79歳」が17.0%となっています。



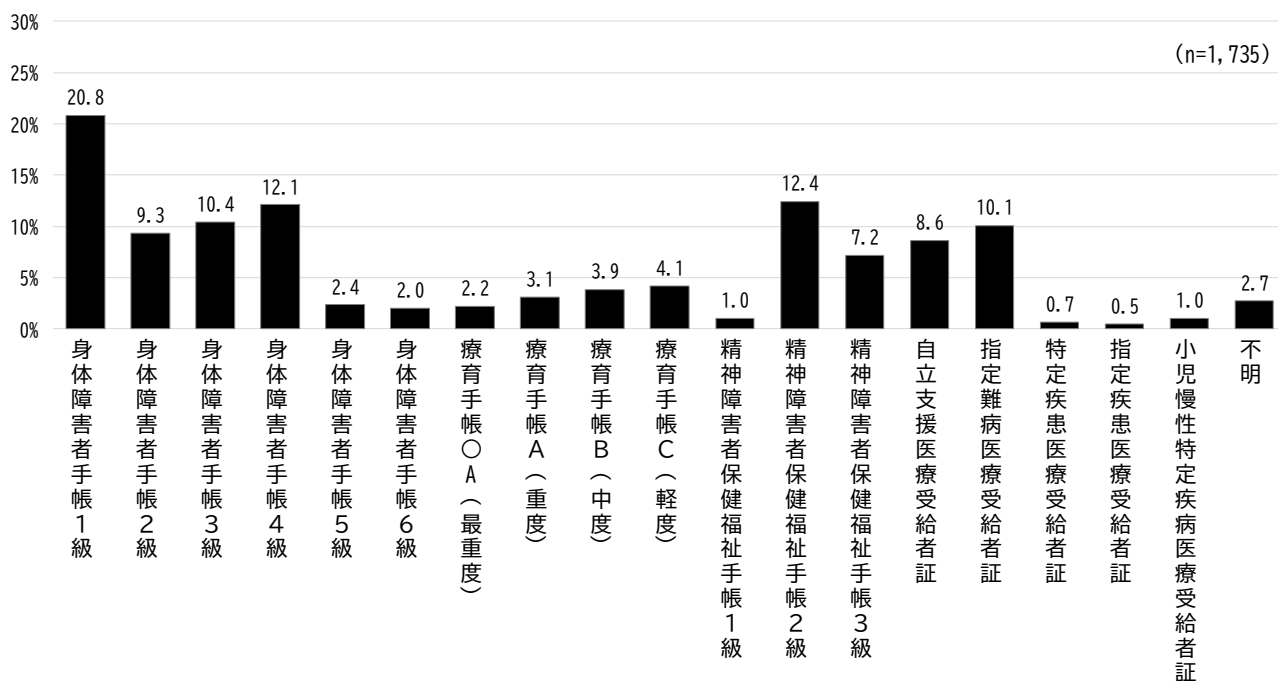
問4 お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

お住まいの地区については、「黒浜」が9.4%と最も多く、次いで「馬込」が9.0%、「閨戸」が8.4%となっています。



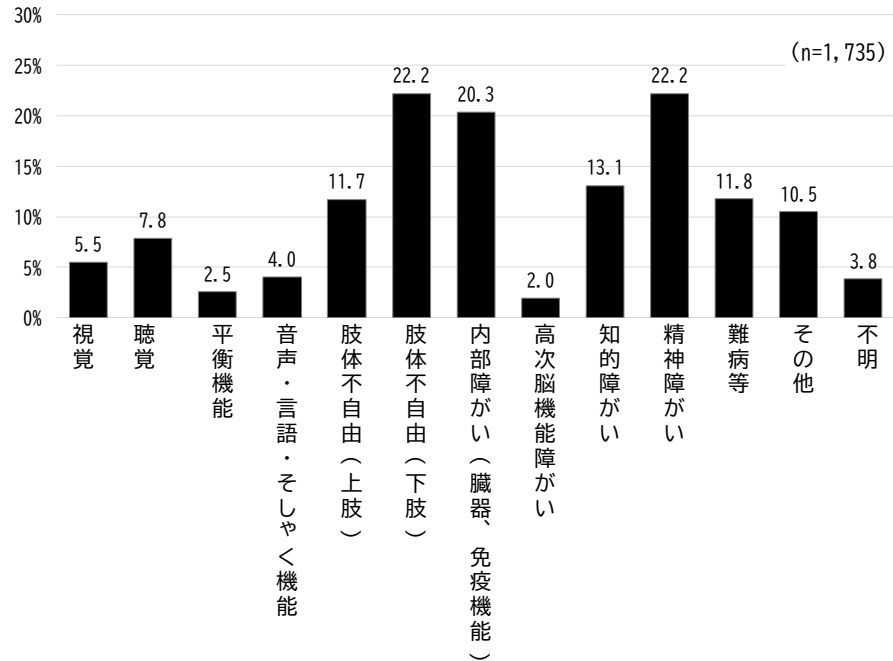
問5 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

手帳などの種類については、「身体障害者手帳1級」が20.8%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳2級」が12.4%、「身体障害者手帳4級」が12.1%となっています。



問6 どのような障がいがありますか。手帳の有無にかかわらず、現在診断を受けているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

現在診断を受けているものについては、「肢体不自由（下肢）」「精神障がい」がともに 22.2%、「内部障がい（臓器、免疫機能）」が 20.3%となっています。

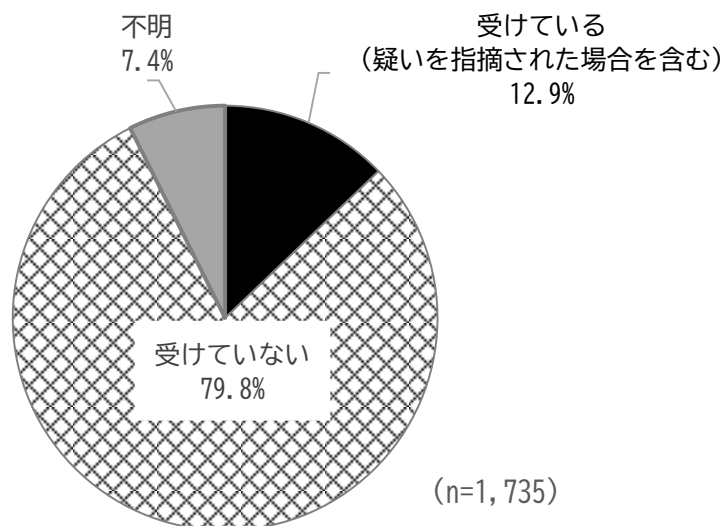


問7 差し支えなければ疾病名（難病の方は指定疾病名）をお書きください。

※調整中

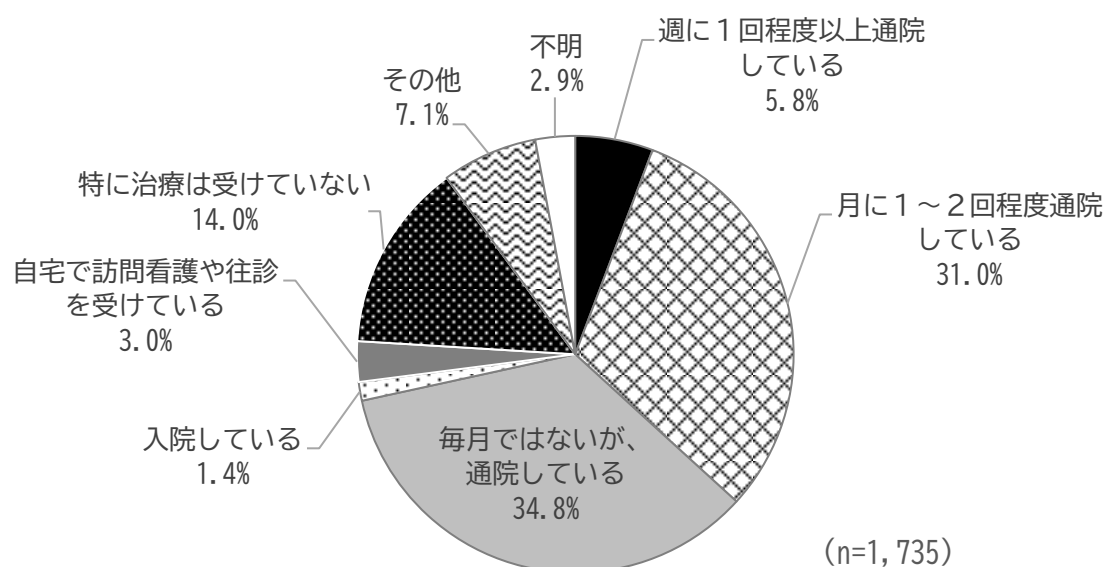
問8 あなた（宛名のご本人）は、発達障害の診断を受けていますか（自閉スペクトラム症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）。（○は1つ）

発達障害の診断を受けているかについては、「受けている（疑いを指摘された場合を含む）」が12.9%、「受けていない」が79.8%となっています。



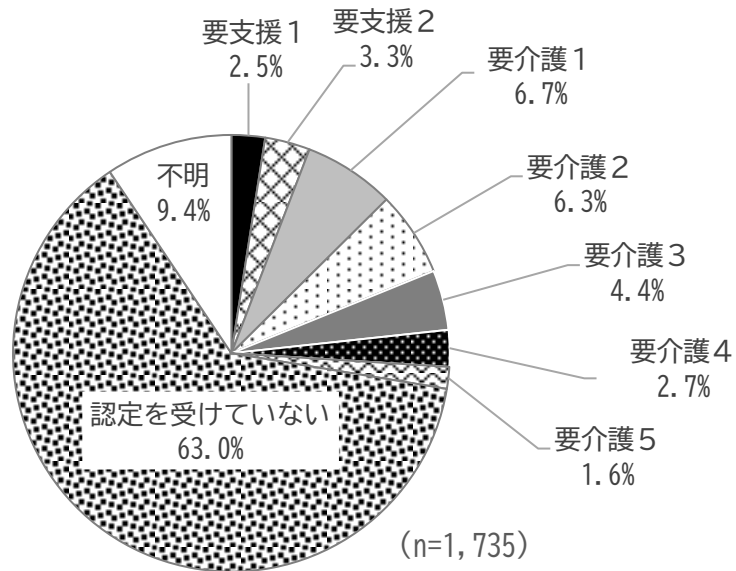
問9 現在、医師の治療（医療行為）を受けていますか。（○は1つ）

現在、医師の治療（医療行為）を受けているかについては、「毎月ではないが、通院している」が34.8%と最も多く、次いで「月に1～2回程度通院している」が31.0%、「週に1回程度以上通院している」が5.8%となっています。



問10 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方は該当する要介護・要支援度に○をつけてください。(○は1つ)

介護保険による認定を受けているかについては、「認定を受けていない」が63.0%と最も多く、次いで「要介護1」が6.7%、「要介護2」が6.3%となっています。

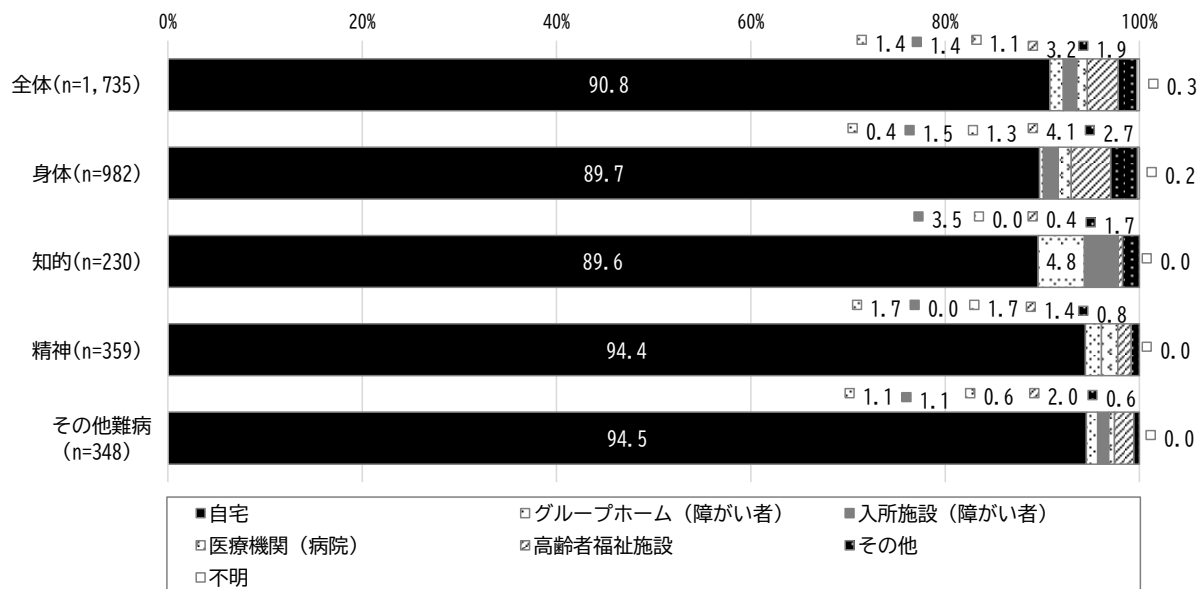


2. 住まいや暮らしについておたずねします

問 11 現在のお住まい、あるいは生活の場はどこですか。(〇は1つ)

現在の生活の場については、「自宅」が90.8%と最も多く、次いで「高齢者福祉施設」が3.2%、「グループホーム（障がい者）」が1.4%となっています。

障がい別でみると、すべての障がい種別で「自宅」が9割となっています。「知的」では、「グループホーム（障がい者）」が他の障がい種別と比べてやや多くなっています。



【問 11 で「自宅」を回答された方】

問 11-1 現在、一緒に暮らしている人はいますか。(あてはまるものすべてに〇)

現在、一緒に暮らしている人については、「配偶者（夫または妻）」が45.2%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が32.4%、「子ども」が26.2%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「配偶者（夫または妻）」が59.0%、「知的」では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が94.2%、「精神」が55.5%となっています。

単位：％

	いない (ひとり暮らし)	父母・ 祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または妻)	こども	孫	その他の 親族	友人・ 知人	その他	不明
全体 (n=1,575)	13.1	32.4	45.2	26.2	3.4	1.1	0.4	0.6	0.4
身体 (n=881)	14.0	13.7	59.0	33.6	5.3	1.4	0.3	0.6	0.2
知的 (n=206)	1.0	94.2	3.9	1.9	0.0	1.5	0.0	0.5	0.0
精神 (n=339)	17.7	55.5	23.0	14.7	0.0	0.3	0.6	0.6	0.9
その他難病 (n=329)	12.5	35.3	45.9	27.1	1.5	1.2	0.6	0.6	0.3
※凡例（以下同様）								1 位	2 位

【問11で「グループホーム（障がい者）」～「高齢者福祉施設」のいずれかを回答された方】

問11-2 今のところに入居・入所・入院することになった理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

入居・入所・入院することになった理由については、「心身機能の低下が進んだため」「本人や介助者が高齢になり、在宅での生活が難しくなったため」がともに42.6%、「起床・就寝・服薬など規則正しい生活習慣を確立できるため」が27.9%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「心身機能の低下が進んだため」が51.4%、「知的」では、「本人や介助者が高齢になり、在宅での生活が難しくなったため」が45.0%、「精神」では、「起床・就寝・服薬など規則正しい生活習慣を確立できるため」が52.9%となっています。

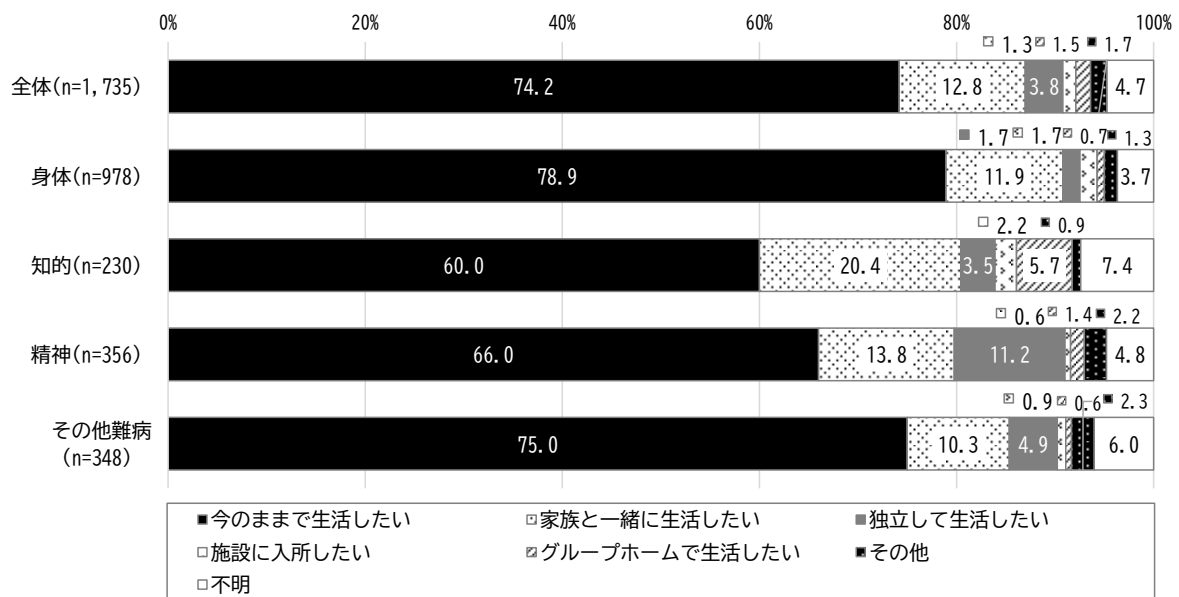
単位：％

	起床・就寝・服薬など規則正しい生活習慣を確立できるため	防災や環境で緊急通報体制が整備された環境で生活できるため	ピアサポートができるため	施設や実家からの退所・退居後、自立した生活に移行するため	食事、金銭管理、健康管理などの日常生活能力を向上させるため	心身機能の低下が進んだため	本人や介助者が高齢になり、在宅での生活が難しくなったため	部屋の狭さや段差があるなど住まいに問題が合ったため
全体(n=122)	27.9	16.4	2.5	4.1	20.5	42.6	42.6	12.3
身体(n=72)	20.8	13.9	0.0	1.4	11.1	51.4	44.4	15.3
知的(n=20)	25.0	15.0	10.0	15.0	40.0	15.0	45.0	0.0
精神(n=17)	52.9	23.5	5.9	11.8	35.3	29.4	17.6	5.9
その他難病(n=17)	23.5	11.8	0.0	5.9	11.8	52.9	58.8	11.8
	在宅で生活するための、福祉サービスが利用できるため	在宅で生活するための収入がないため	専門的な訓練を受けなかったため	家族の病気や転勤などのため	在宅での治療が難しかったため	その他	不明	
全体(n=122)	4.1	3.3	2.5	9.8	27.9	7.4	13.1	
身体(n=72)	1.4	1.4	1.4	9.7	29.2	8.3	13.9	
知的(n=20)	10.0	10.0	5.0	15.0	15.0	10.0	15.0	
精神(n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	0.0	5.9	
その他難病(n=17)	0.0	0.0	5.9	5.9	35.3	0.0	11.8	
							1位	2位

問12 今後3年以内にあなた（宛名のご本人）はどのような暮らしをしたいと思いますか。
（○は1つ）

今後3年以内に暮らしたいと思う生活については、「今のままで生活したい」が74.2%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が12.8%、「独立して生活したい」が3.8%となっています。

障がい別でみると、「身体」「その他難病」では、「今のままで生活したい」が7割を超えており、「知的」では、「家族と一緒に生活したい」が2割を超えています。



問13 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

希望する暮らしを送るために必要だと思う支援については、「経済的な負担の軽減」が49.6%と最も多く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が29.7%、「相談対応などの充実」が29.2%となっています。

障がい別でみると、すべての障がいでは「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。また、「身体」では、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が38.9%、「知的」では、「相談対応などの充実」が48.7%、「精神」では、「相談対応などの充実」が39.6%となっています。

単位：％

	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明
全体(n=1,735)	29.7	16.4	28.8	12.6	49.6	29.2	11.4	12.0	5.3	12.2
身体(n=982)	38.9	15.5	34.4	11.3	39.5	23.8	8.4	7.6	5.6	13.5
知的(n=230)	12.6	28.7	26.5	22.6	54.3	48.7	29.1	28.7	5.7	10.0
精神(n=359)	16.2	17.3	17.0	12.8	73.0	39.6	13.9	16.4	4.7	7.8
その他難病(n=348)	28.2	10.3	27.9	11.8	61.8	30.2	8.0	7.5	4.3	12.1
									1位	2位

問 14 あなた（宛名のご本人）が現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

不安や心配に感じていることについては、「自分の病気や障がいが進行すること」が 55.3%と最も多く、次いで「将来の生活のこと」が 53.0%、「収入や生計、財産の管理のこと」が 32.7%となっています。

障がい別でみると、「身体」「その他の難病」では、「自分の病気や障がいが進行すること」が6割を超えています。「知的」「精神」では、「将来の生活のこと」が7割を超えています。

単位：％

	自分の病気や障がい が進行すること	将来の生活のこと	仕事 がなくなる こと	収入 や生計、 財産の 管理の こと	親 や介護 のこと	こ ども の養 育の こと	介 助者 がい なくな ること への 対応
全体(n=1,735)	55.3	53.0	14.8	32.7	15.3	3.1	26.2
身体(n=982)	62.8	41.2	6.3	21.4	7.0	1.9	26.5
知的(n=230)	24.3	77.8	20.4	49.1	15.2	1.3	44.8
精神(n=359)	44.6	76.3	35.7	61.0	39.6	7.0	21.4
その他難病(n=348)	64.1	57.5	21.3	42.2	23.6	4.0	25.0
	理解が 不足 する 者 に 対 す る 周 囲 の 理 解	緊急 時 に お け る 避 難 な ど	周 囲 の 人 と の 関 係 に つ い て	特 に 不 安 や 心 配 に 感 じ る こ と は な い	そ の 他	不 明	
全体(n=1,735)	15.3	24.6	13.8	6.7	2.5	6.1	
身体(n=982)	8.6	26.3	6.2	9.1	2.7	6.5	
知的(n=230)	31.7	34.8	27.4	3.0	2.6	6.5	
精神(n=359)	30.4	15.9	29.8	1.9	1.7	4.2	
その他難病(n=348)	15.5	21.6	14.4	3.7	1.4	5.7	
					1 位	2 位	

3. 日常生活についておたずねします

問15 主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

主な介助者については、「配偶者（夫・妻）」が32.7%と最も多く、次いで「母親」が16.5%、「こども」が10.8%となっています。

障がい別で見ると、「身体」では、「配偶者（夫・妻）」が42.3%、「知的」では、「母親」が63.9%となっています。

単位：％

	配偶者 (夫・妻)	父親	母親	こども	こどもの 配偶者	その他同居 している家族	別居 している家族 や親族	近所 の人
全体(n=1,735)	32.7	2.0	16.5	10.8	0.5	4.1	2.7	0.1
身体(n=982)	42.3	0.6	5.5	16.1	0.7	3.2	2.5	0.2
知的(n=230)	1.7	3.0	63.9	1.7	0.0	6.1	0.4	0.0
精神(n=359)	19.5	5.3	26.7	2.8	0.0	4.5	3.9	0.0
その他難病(n=348)	34.5	2.0	16.4	6.9	0.0	4.9	3.7	0.0
	友人・ 知人	ホームヘルパー	家政婦 (夫)	ボラン ティア	施設 や病院の 職員	その他	不明	合計
全体(n=1,735)	1.2	1.0	0.0	0.1	6.3	16.4	5.7	100.0
身体(n=982)	0.8	1.3	0.0	0.0	6.4	15.5	4.9	100.0
知的(n=230)	0.0	0.0	0.0	0.4	6.1	12.6	3.9	100.0
精神(n=359)	3.3	1.1	0.0	0.3	5.0	21.2	6.4	100.0
その他難病(n=348)	0.9	0.6	0.0	0.0	5.2	17.5	7.5	100.0

問 16 いつも介助している方が介助できなくなったとき、どうされていますか（どうしたいと思っていますか）。（あてはまるものすべてに○）

いつも介助している方が介助できなくなったときの対処については、「施設に入所する（短期の利用も含む）」が27.2%と最も多く、次いで「同居しているほかの家族に頼む」が25.0%、「別居している家族や親族に頼む」が21.1%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「施設に入所する（短期の利用も含む）」が32.3%、「知的」では、「同居しているほかの家族に頼む」が57.0%となっています。

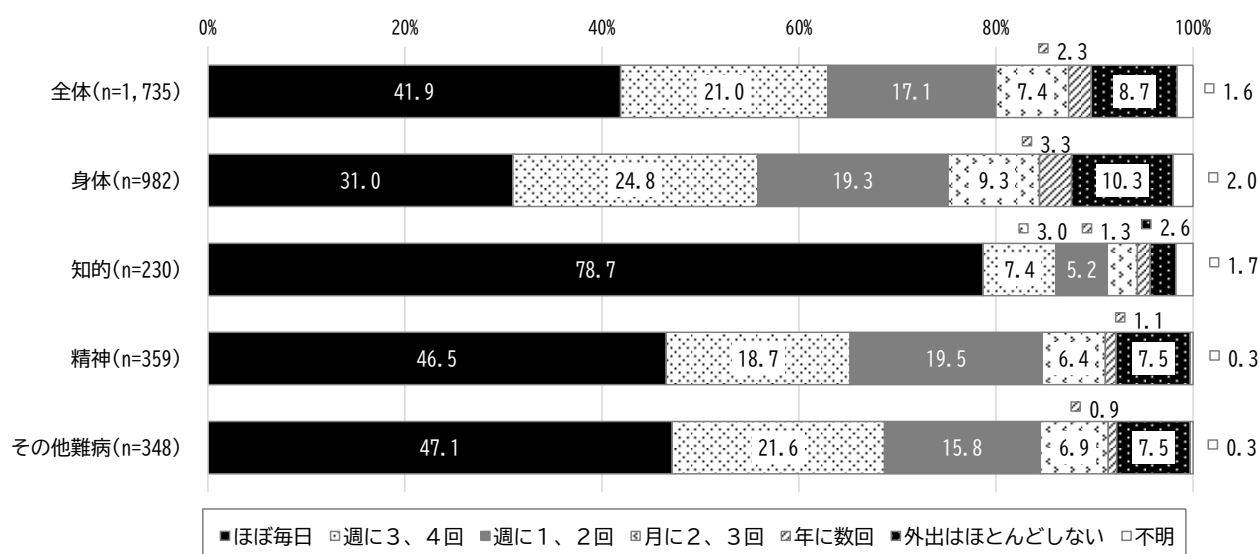
単位：％

	同居しているほかの家族に頼む	別居している家族や親族に頼む	近所の人や友人・知人に頼む	ホームヘルパーなどを頼む	施設に入所する（短期の利用も含む）	病院に入院する	その他	何もあてがなく困っている	不明
全体(n=1,735)	25.0	21.1	3.4	16.9	27.2	10.7	7.8	12.4	11.7
身体(n=982)	19.7	23.4	3.9	21.6	32.3	13.2	5.6	8.1	12.1
知的(n=230)	57.0	21.3	1.7	9.6	29.1	2.2	6.5	13.0	7.0
精神(n=359)	23.7	15.3	3.6	10.3	13.6	8.4	14.2	26.5	9.5
その他難病(n=348)	23.6	18.7	2.6	13.5	22.1	11.2	10.6	17.5	11.5
								1位	2位

問 17 日頃どのくらい外出をしますか。（通勤・通学も含む）（○は1つ）

日頃の外出頻度については、「ほぼ毎日」が41.9%と最も多く、次いで「週に3、4回」が21.0%、「週に1、2回」が17.1%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「ほぼ毎日」が約8割となっています。一方、「身体」では、「外出はほとんどしない」が1割を超えています。



問18 外出する時の主な目的はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する時の主な目的については、「買物・散歩」が61.2%と最も多く、次いで「通院」が52.8%、「通勤・通学」が28.4%となっています。

障がい別でみると、「身体」「精神」「その他難病」では、「買物・散歩」、「知的」では、「通勤・通学」が6割となっています。

単位：％

	通勤・通学	施設への定期的な通所	施設サービスを時々利用	通院	訓練やリハビリ	買物・散歩
全体(n=1,735)	28.4	14.4	3.5	52.8	11.2	61.2
身体(n=982)	15.8	12.2	3.1	55.8	14.8	59.0
知的(n=230)	60.4	37.0	3.9	29.6	6.5	56.5
精神(n=359)	38.4	12.8	5.3	59.1	6.7	69.1
その他難病(n=348)	39.7	10.1	4.0	61.2	9.5	66.1
	友人・知人宅への訪問	地域活動や行事	趣味やスポーツ活動などへの参加	入所施設から自宅に戻る	その他	不明
全体(n=1,735)	6.9	4.4	15.7	1.9	6.4	2.4
身体(n=982)	7.6	5.2	15.2	1.4	6.1	3.3
知的(n=230)	2.2	2.2	15.7	4.3	4.8	0.9
精神(n=359)	7.0	2.2	16.2	2.5	7.2	0.6
その他難病(n=348)	9.2	3.4	17.0	0.3	7.5	0.6
					1位	2位

問19 外出する時に困ることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する時に困ることでは、「公共交通機関が少ない、または、ない」が21.9%と最も多く、次いで「困ったときにどうすればいいのか心配」が21.8%、「外出にお金がかかる」が21.0%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「困ったときにどうすればいいのか心配」、「精神」では、「外出にお金がかかる」が4割となっています。

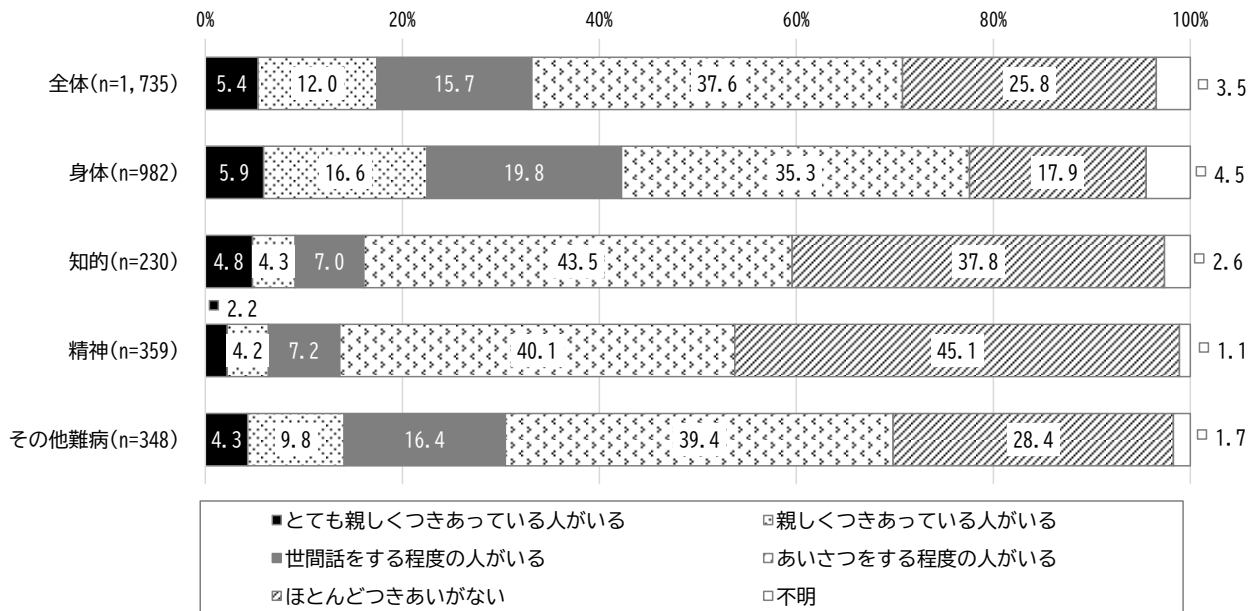
単位：％

	公共交通機関が少ない、または、ない	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレなど）	視覚障害者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない	障がい者駐車場が少ない、利用できない	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	介助者が確保できない
全体(n=1,735)	21.9	5.5	8.5	1.1	9.5	12.7	18.4	6.1
身体(n=982)	23.6	4.4	11.6	1.6	14.1	16.3	25.5	6.9
知的(n=230)	18.3	15.2	7.8	0.4	6.5	7.4	7.8	11.3
精神(n=359)	20.3	5.6	4.2	0.6	3.1	7.5	7.2	3.1
その他難病(n=348)	22.7	3.4	7.8	0.3	6.9	8.6	14.4	4.3
	外出にお金がかかる	案内表示がわかりにくい	気周 囲に なる から どう 思わ れて いる か	心発 配作 など 突然 の身 体の 変化 が	心困 配つ た とき に どう す れ ば い い の か	そ の 他	不 明	
全体(n=1,735)	21.0	4.1	8.6	16.7	21.8	13.8	15.7	
身体(n=982)	16.1	3.7	4.1	16.0	15.9	13.4	16.4	
知的(n=230)	16.5	7.0	13.0	11.3	41.7	11.7	15.2	
精神(n=359)	40.1	4.7	22.8	22.8	33.4	14.2	8.1	
その他難病(n=348)	27.9	3.4	10.1	23.3	18.7	16.4	14.4	
							1位	2位

問 20 地域や隣近所の方々との日ごろのお付き合いは、どの程度ですか。(○は1つ)

地域や隣近所の方々との日ごろのお付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がいる」が 37.6%と最も多く、次いで「ほとんどつきあいがない」が 25.8%、「世間話をする程度の人がいる」が 15.7%となっています。

障がい別でみると、「精神」では、「ほとんどつきあいがない」が 45.1%となっています。

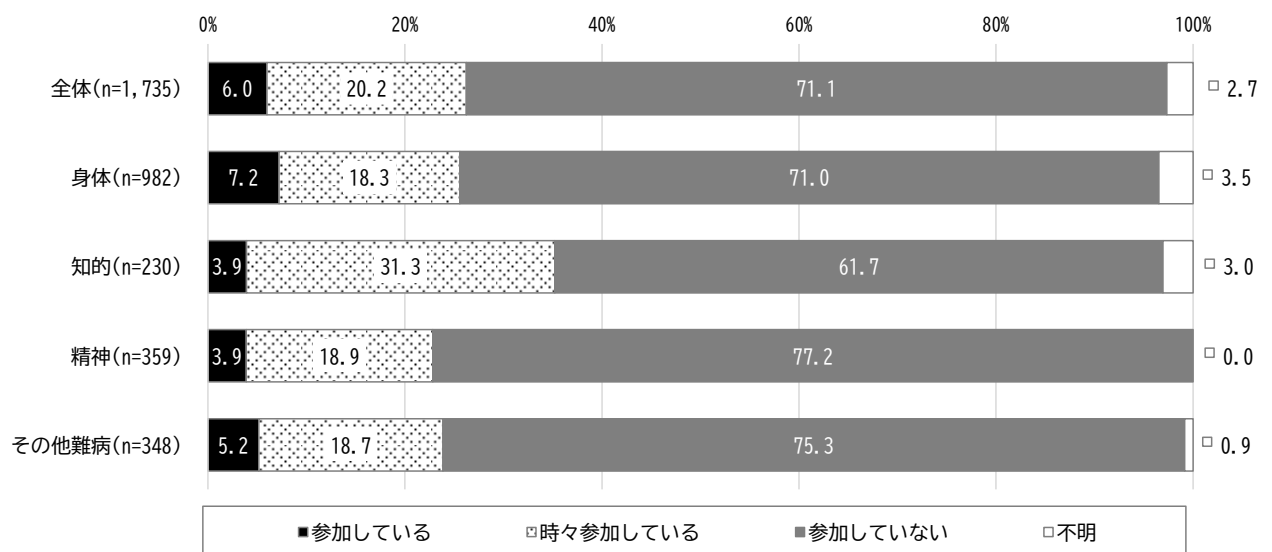


問 21 あなた（宛名のご本人）は地域の祭りなど、行事やイベントに参加していますか。(○は1つ)

地域の祭りなど、行事やイベントへの参加については、「参加している」「時々参加している」を合わせた『参加している』(以下同様)が 26.2%となっています。

一方、「参加していない」が 71.1%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、『参加している』が 35.2%となっています。

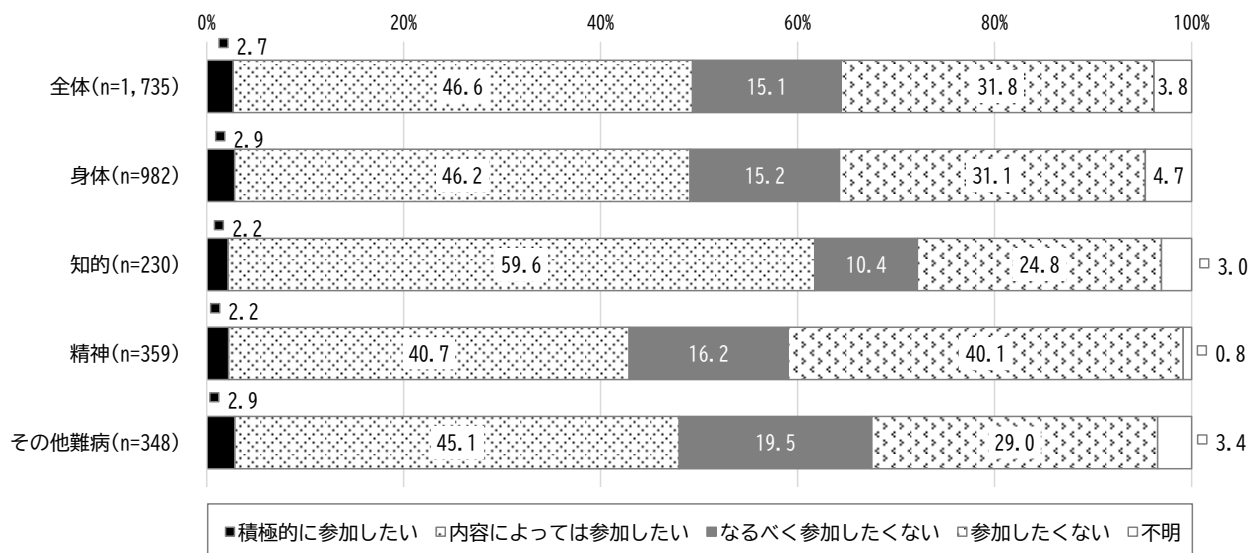


問22 あなた（宛名のご本人）は今後、地域の活動に参加してみたいですか。（○は1つ）

今後、地域の活動への参加については、「積極的に参加したい」「内容によっては参加したい」を合わせた『参加したい』（以下同様）が49.3%となっています。

一方、「なるべく参加したくない」「参加したくない」を合わせた『参加したくない』は、46.9%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、『参加したい』が61.8%となっています。



4. 健康と医療についておたずねします

問 23 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「医療費の負担が大きい」が21.9%と最も多く、次いで「交通費の負担が大きい」が18.6%、「適切な医療機関を受診するための情報が不足している」が14.1%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「適切な医療機関を受診するための情報が不足している」が19.6%となっています。「精神」「その他の難病」では、「医療費の負担が大きい」が3割となっています。

単位：％

	近所に診てくれる医師がない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	往診を頼める医師がない	定期的に健康診断を受けられない	症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	受診の続きなどについて、難病や障がいのある人への配慮が不十分	障がい医師、看護師など（医療スタッフ）の理解が不十分
全体(n=1,735)	13.9	13.0	4.4	9.4	3.4	5.0	5.2	5.6
身体(n=982)	12.7	13.1	4.7	11.5	2.6	2.7	3.9	4.7
知的(n=230)	12.2	15.7	7.0	7.8	3.9	12.6	10.0	10.9
精神(n=359)	17.8	12.8	4.2	8.1	6.7	8.1	6.4	5.8
その他難病(n=348)	19.5	14.1	3.7	6.9	4.0	6.0	7.2	6.3
	建物内の設備（トイレや移動設備、案内など）に不備がある	医療費の負担が大きい	交通費の負担が大きい	医療について相談できる場所が少ない	適切な医療機関を受診するための情報が不足している	その他	特に困ったり不便に思うことはない	不明
全体(n=1,735)	3.2	21.9	18.6	10.2	14.1	5.3	33.5	6.5
身体(n=982)	4.2	18.1	16.7	8.7	13.4	4.9	34.9	7.7
知的(n=230)	3.9	7.0	11.3	14.3	19.6	5.2	36.1	3.0
精神(n=359)	1.9	32.9	27.9	15.0	16.4	8.6	28.1	3.6
その他難病(n=348)	3.7	35.3	24.1	11.2	14.4	5.5	27.9	4.6
							1位	2位

問 24 あなた（宛名のご本人）の健康状態を維持するために必要な支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

健康状態を維持するために必要な支援については、「医師の指導」が 35.4%と最も多く、次いで「リハビリ施設の充実」が 19.6%、「個別相談」が 18.2%となっています。

障がい別でみると、「精神」「その他の難病」で、「医師の指導」が4割を超えています。

また、「身体」では、「リハビリ施設の充実」が 26.4%となっています。

単位：％

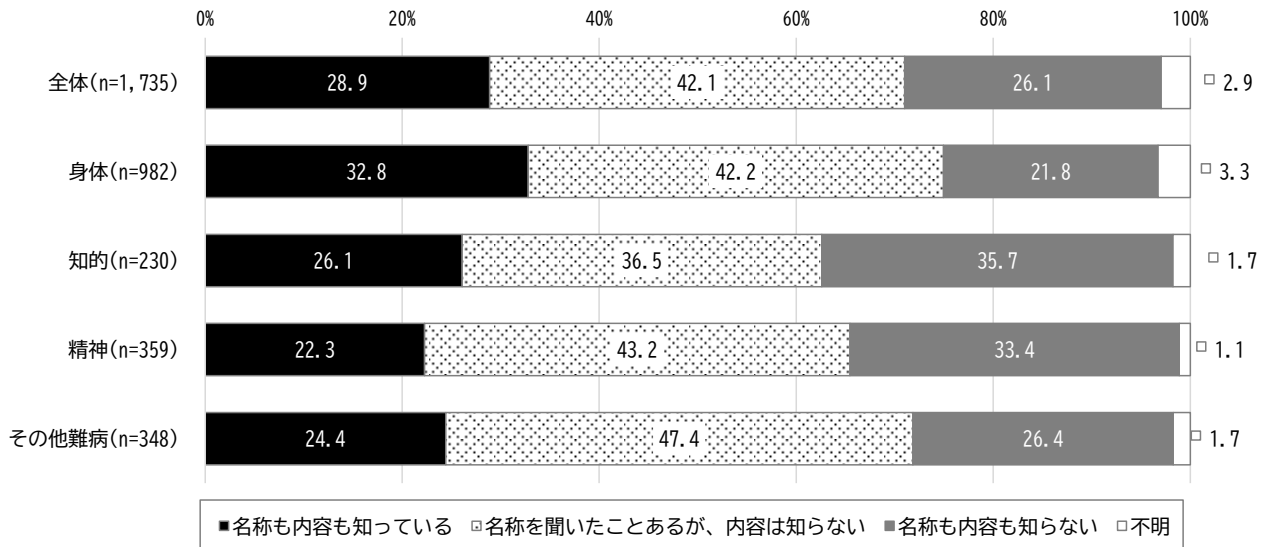
	個別 相談	専門 家による 訪問 指導	健康 に関する 教室や 講座の 開催	医師 の指導	運動 施設の 充実 8 特 にない	リハ ビリ 施設 の充実	その他	特 に ない	不 明
全体(n=1,735)	18.2	10.4	5.4	35.4	14.8	19.6	3.9	26.8	5.7
身体(n=982)	11.9	10.1	5.3	31.8	12.9	26.4	2.9	27.2	6.7
知的(n=230)	28.7	11.7	6.1	29.1	21.3	12.6	3.9	29.1	5.2
精神(n=359)	33.4	13.1	5.6	48.5	18.1	8.9	8.1	19.8	2.2
その他難病(n=348)	23.0	11.5	5.2	44.8	13.8	17.2	4.0	25.3	2.9
								1 位	2 位

5. 障がいに対する理解についておたずねします

問 25 成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について知っているかについては、「名称も内容も知っている」「名称を聞いたことあるが、内容は知らない」を合わせた『知っている』(以下同様)が71.0%となっています。一方、「名称も内容も知らない」が26.1%となっています。

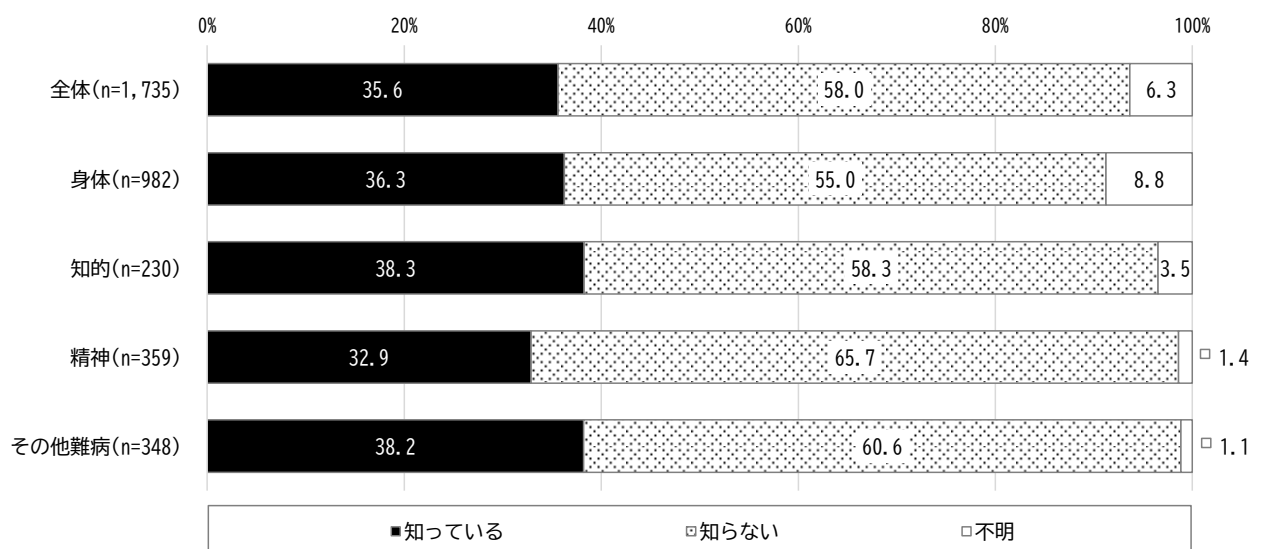
障がい別でみると、「身体」「その他の難病」で、『知っている』が7割を超えています。



問 26 次の①～④の項目を知っていますか(それぞれ○は1つ)

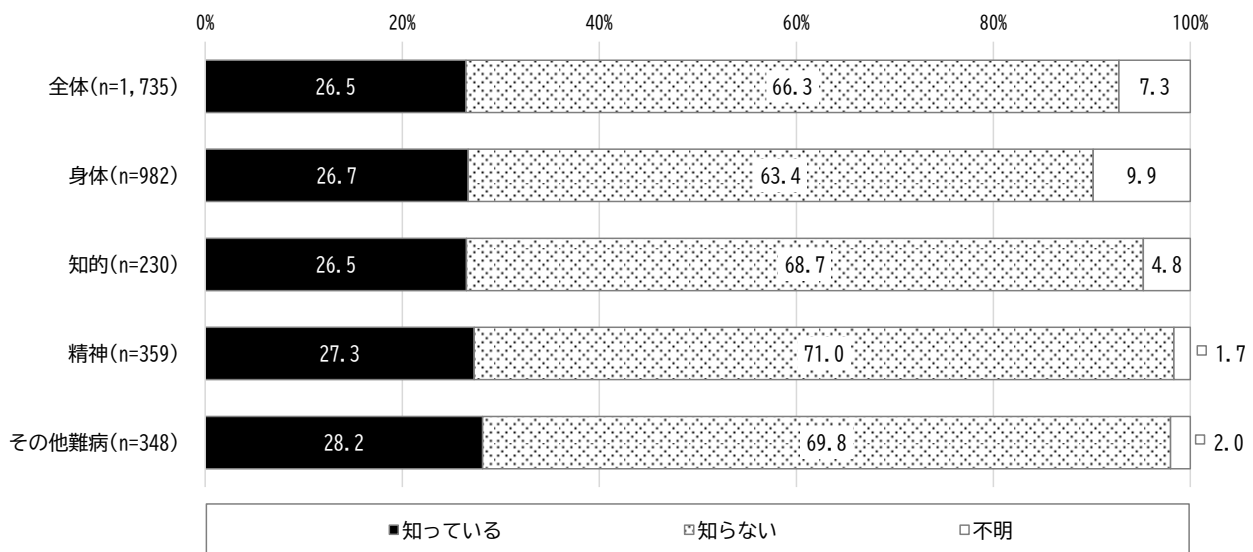
①障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)

障害者虐待防止法については、「知っている」が35.6%、「知らない」が58.0%となっています。障がい別でみると、すべての障がいで、「知っている」が3割を超えています。



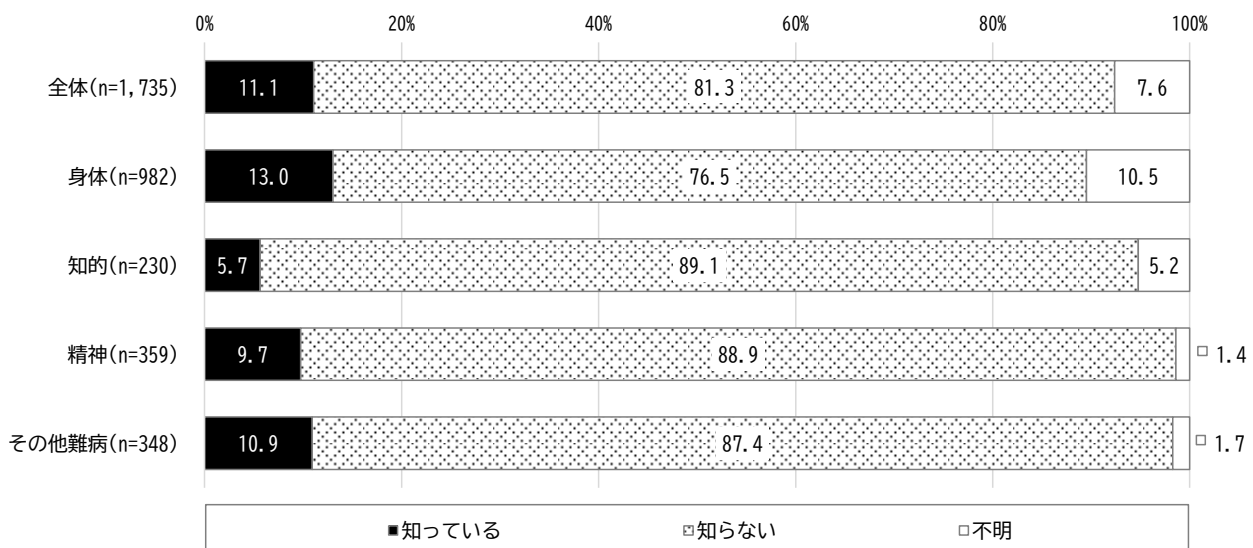
②障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

障害者差別解消法については、「知っている」が26.5%、「知らない」が66.3%となっています。
障がい別でみると、「精神」で「知らない」が71.0%となっています。



③手話施策推進法（手話に関する施策の推進に関する法律）

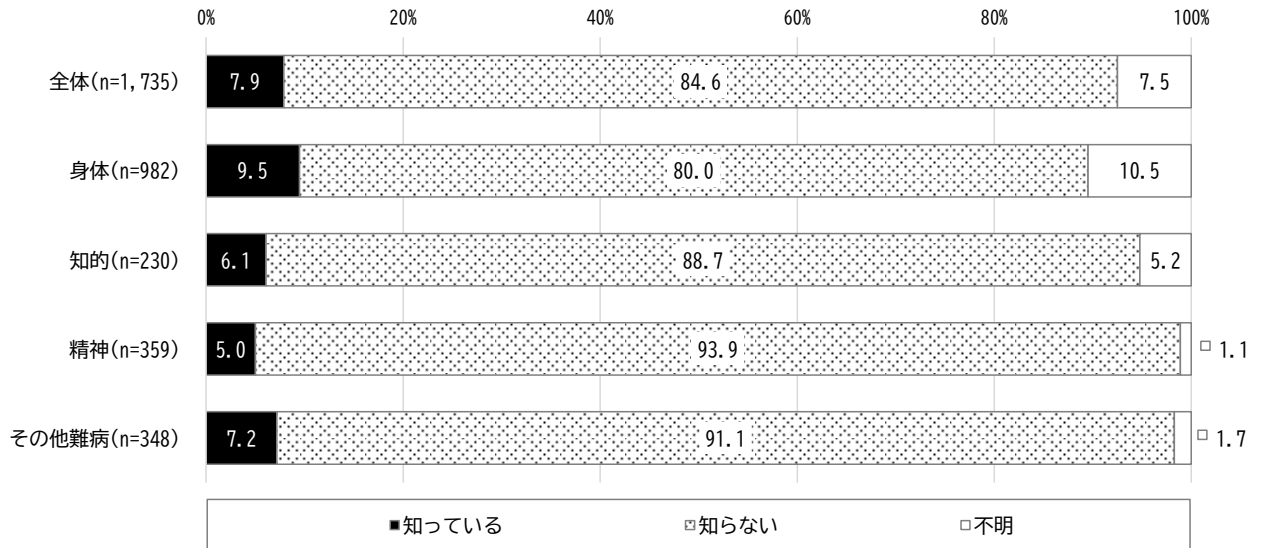
手話施策推進法については、「知っている」が11.1%、「知らない」が81.3%となっています。
障がい別でみると、「知的」以外で「知っている」が1割となっています。



④蓮田市手話言語条例（手話が言語であることを認め、手話で誰もが安心して暮らせるまちを目指す条例）

蓮田市手話言語条例については、「知っている」が7.9%、「知らない」が84.6%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「知っている」が9.5%となっています。

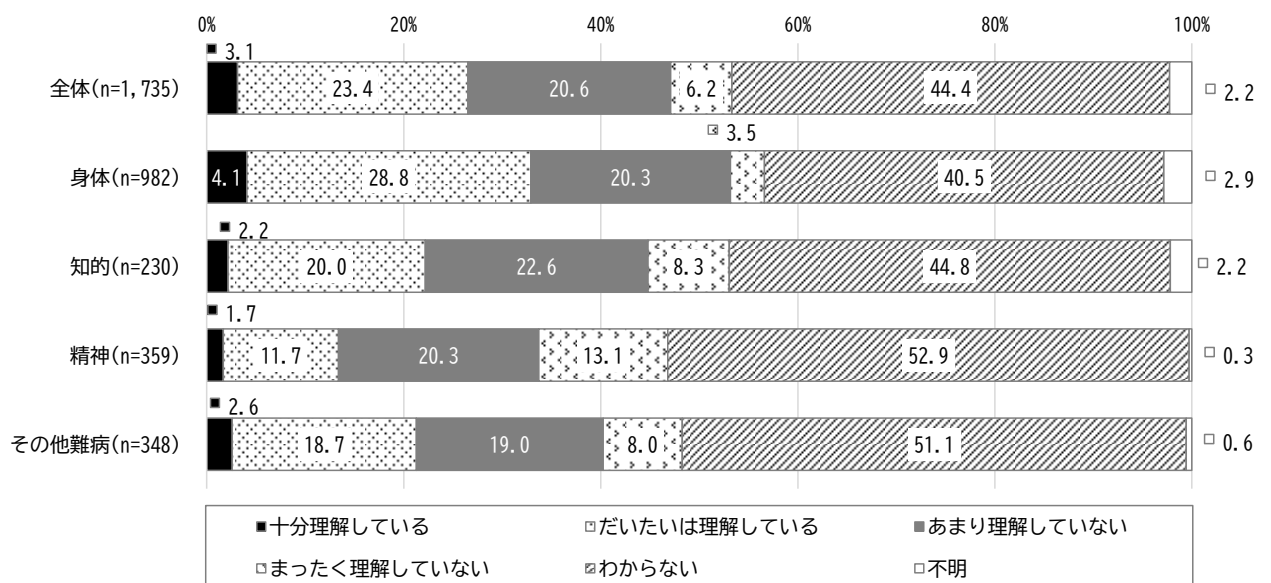


問27 地域の人への障がいに対する理解について、あなた（宛名のご本人）はどのように感じていますか。（○は1つ）

地域の人への障がいに対する理解については、「十分理解している」「だいたいは理解している」を合わせた『理解している』（以下同様）が26.5%となっています。

一方、「あまり理解していない」「まったく理解していない」を合わせた『理解していない』は、26.8%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、『理解している』が32.9%となっています。

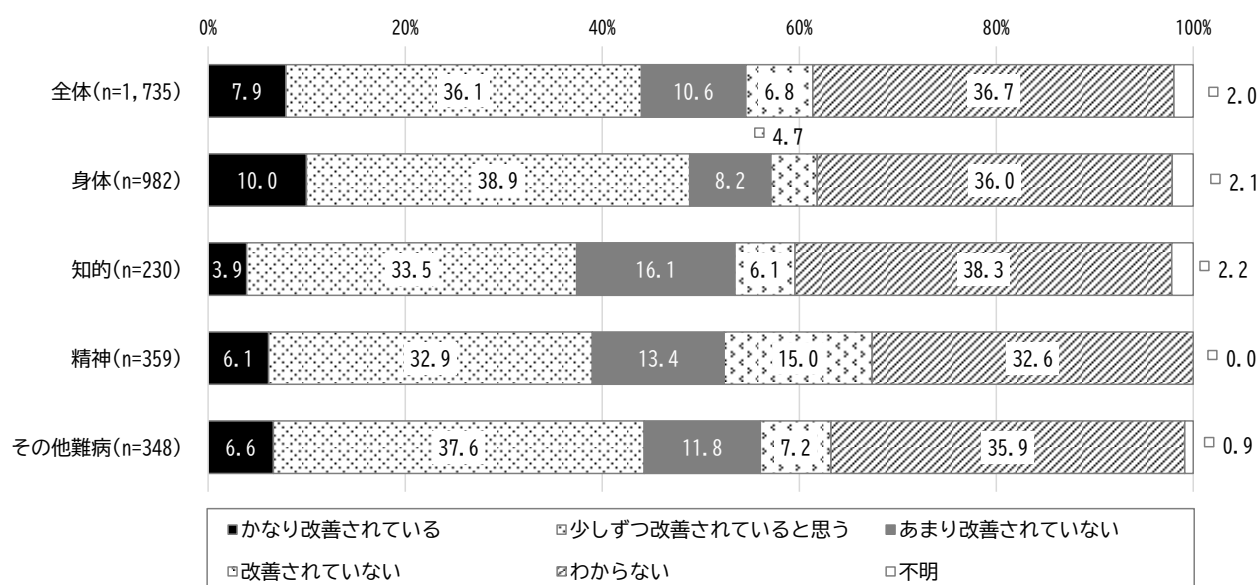


問 28 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。(○は1つ)

障がいのある方に対する差別や偏見が改善されてきているかについては、「かなり改善されている」「少しずつ改善されていると思う」を合わせた『改善されている』(以下同様)が44.0%となっています。

一方、「あまり改善されていない」「改善されていない」を合わせた『改善されていない』は、17.4%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、『改善されている』が48.9%となっています。

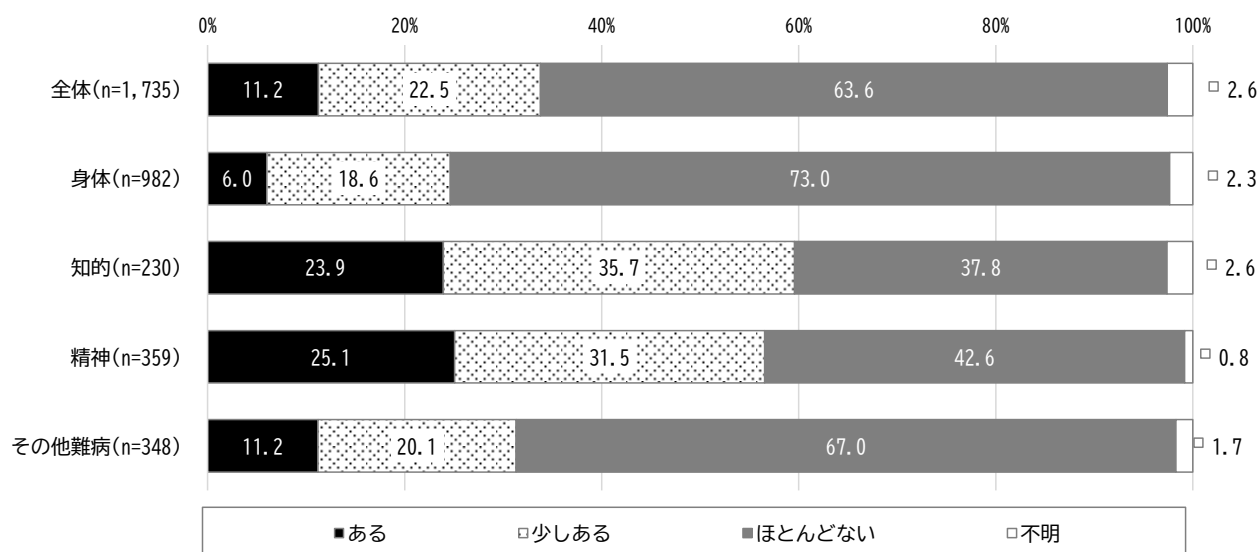


問 29 あなた(宛名のご本人)は、障がいがあることで差別・偏見を受けたことがありますか。(○は1つ)

障がいがあることで差別・偏見を受けたことがあるかについては、「ある」「少しある」を合わせた『ある』(以下同様)が33.7%となっています。

一方、「ほとんどない」は、63.6%となっています。

障がい別でみると、「知的」「精神」では、『ある』が約6割となっています。



【問29で「ある」または「少しある」を回答された方】**問29-1 どのような場面で差別・偏見を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)**

差別・偏見を受けた場面については、「仕事や収入」が33.6%と最も多く、次いで「公共の場での人の視線」が30.9%、「保育所・幼稚園や学校」が17.2%となっています。

障がい別でみると、「精神」では、「仕事や収入」が52.2%、「知的」では、「公共の場での人の視線」が47.4%となっています。

単位：％

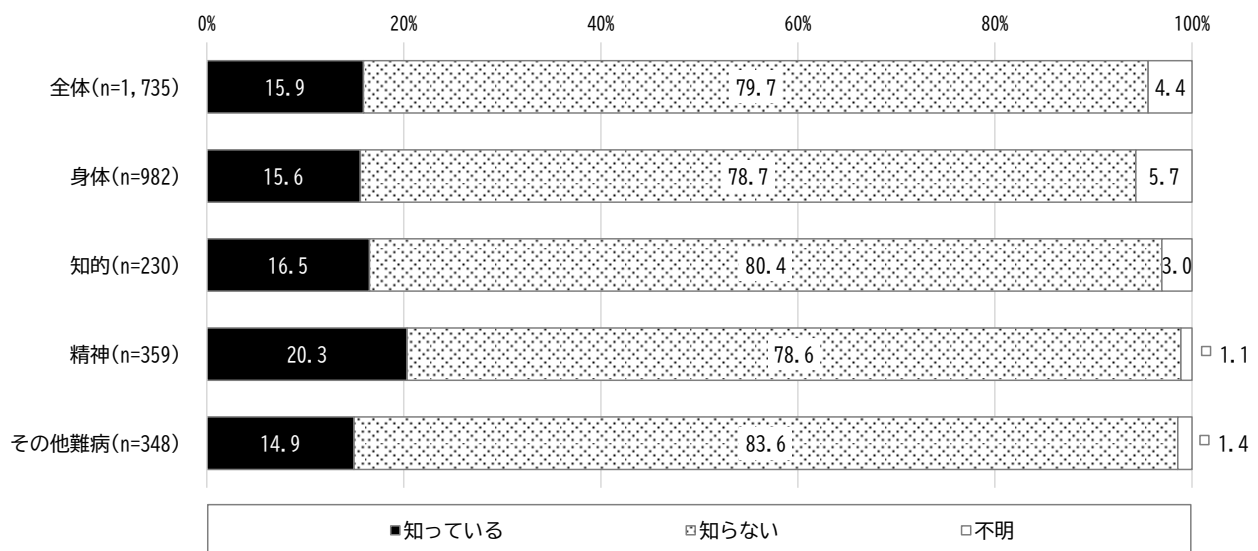
	仕事や収入	保育所・幼稚園や学校	進路の選択	隣近所とのつきあい	冠婚葬祭	スポーツや趣味の活動	地域の行事やイベント
全体(n=586)	33.6	17.2	11.6	15.4	3.9	7.8	6.8
身体(n=242)	28.9	8.3	10.7	16.1	2.9	10.3	8.7
知的(n=137)	16.1	39.4	15.3	12.4	5.1	9.5	11.7
精神(n=203)	52.2	17.2	11.8	17.2	5.4	3.4	3.0
その他難病(n=109)	46.8	13.8	13.8	11.0	2.8	8.3	3.7
	公共の場での人の視線	店などでの対応や態度	市役所の職員の対応や態度	公共機関の職員の対応や態度	交通機関の利用	その他	不明
全体(n=586)	30.9	16.7	10.9	11.6	16.6	13.8	2.2
身体(n=242)	35.1	20.7	9.9	13.6	23.1	12.8	3.7
知的(n=137)	47.4	17.5	8.0	8.8	16.8	6.6	1.5
精神(n=203)	19.7	11.8	13.8	12.8	9.4	21.2	0.0
その他難病(n=109)	21.1	19.3	16.5	11.0	14.7	19.3	0.9
						1位	2位

問 30 2024 年（令和 6 年）4 月 1 日から、事業者による障がいのある人への「合理的配慮の提供が義務化された」ことを知っていますか。（○は 1 つ）

※合理的配慮の提供：障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

「合理的配慮の提供が義務化された」ことを知ってるかについては、「知っている」が 15.9%、「知らない」が 79.7%となっています。

障がい別でみると、「精神」では、「知っている」が 20.3%となっています。



6 情報や相談についておたずねします

問31 障がい福祉に関する情報を、何で知りますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい福祉に関する情報の入手経路については、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が32.2%と最も多く、次いで「行政機関の広報紙・ホームページ」が29.7%、「インターネット」が24.9%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が37.4%となっています。「精神」では、「インターネット」が41.5%となっています。

単位：％

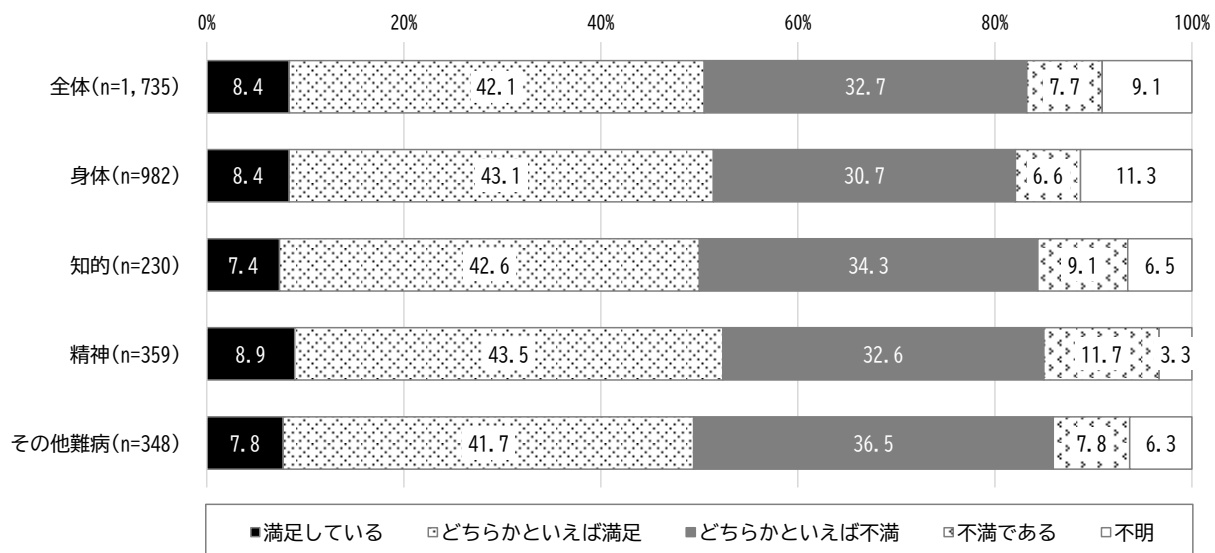
	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報紙・ホームページ	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障害者団体や家族会（団体の機関誌など）	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険
全体(n=1,735)	32.2	29.7	24.9	17.8	12.6	3.6	16.0	11.1
身体(n=982)	37.4	33.5	18.3	16.7	11.7	3.3	15.1	15.1
知的(n=230)	22.6	18.3	30.0	23.9	29.1	6.5	5.2	1.7
精神(n=359)	23.1	28.7	41.5	22.3	11.4	5.6	27.3	7.8
その他難病(n=348)	31.9	26.7	33.6	19.0	9.8	2.0	22.4	9.2
	民生委員・児童委員	幼稚園、通園施設、学校の先生、通所施設や保育所、	相談支援事業所などの民間の相談	行政機関の相談窓口	その他	特にな	入手方法がわからない	不明
全体(n=1,735)	2.5	4.3	5.5	11.4	1.9	10.7	7.9	4.1
身体(n=982)	2.7	1.8	2.9	10.6	1.0	10.0	6.9	5.8
知的(n=230)	2.2	23.9	18.3	12.2	1.7	7.8	9.1	2.6
精神(n=359)	1.1	2.2	7.8	15.0	4.5	9.5	10.6	0.6
その他難病(n=348)	2.0	2.9	6.0	13.2	3.2	11.5	7.5	2.0
							1位	2位

問 32 福祉に関する情報について満足していますか。(○は1つ)

福祉に関する情報について満足しているかについては、「満足している」「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』が50.5%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満である」を合わせた『不満である』は、40.4%となっています。

障がい別でも、大きな差はみられませんでした。



問33 生活に関することで、どのような情報を知りたいですか。(〇は3つまで)

生活に関することで、知りたい情報については、「障がい者にかかわる福祉制度などのこと」が46.4%と最も多く、次いで「相談窓口に関すること」が21.2%、「災害時の避難方法などの災害対策に関すること」が20.1%となっています。

障がい別でみると、すべての障がい種別で「障がい者にかかわる福祉制度などのこと」が最も多くなっています。

単位：％

	相談窓口に関すること	障がい者にかかわる福祉制度などのこと	災害時の避難方法などの災害対策に関すること	在宅福祉のサービスに関すること	余暇活動に関すること	施設などでの日中活動に関すること
全体(n=1,735)	21.2	46.4	20.1	20.0	7.6	8.4
身体(n=982)	18.1	45.0	22.5	26.5	4.7	9.2
知的(n=230)	20.4	57.0	21.7	14.8	17.4	14.3
精神(n=359)	29.8	58.2	13.6	11.1	11.1	5.0
その他難病(n=348)	24.1	44.5	17.0	14.9	5.2	6.3
	ボランティア団体などのこと	就労や就業支援などに関すること	その他	特になし	不明	
全体(n=1,735)	3.6	16.8	2.1	20.8	5.5	
身体(n=982)	3.2	6.2	1.6	22.0	7.0	
知的(n=230)	4.8	32.6	1.7	13.5	3.0	
精神(n=359)	4.7	39.8	4.2	13.6	1.9	
その他難病(n=348)	2.3	25.6	3.4	22.4	4.0	
					1位	2位

問 34 悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことを相談する相手については、「家族や親せき」が 73.3%と最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 36.1%、「友人・知人」が 24.5%となっています。
障がい別でみると、すべての障がいで「家族や親せき」が最も多くなっています。

単位：％

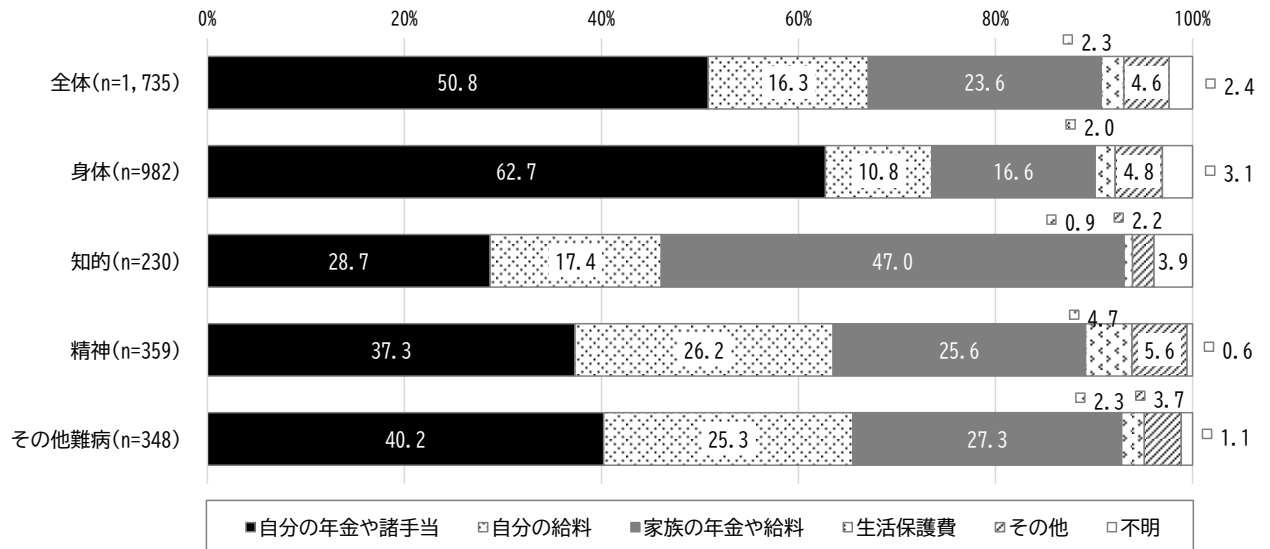
	家族 や親 せき	友 人・ 知 人	近 所 の 人	職 場 の 上 司 や 同 僚	施 設 の 指 導 員 な ど	ホ ー ム ヘル ス 事 業 所 の 人 な ど	障 害 者 団 体 や 家 族 会	か か り つ け の 医 師 や 看 護 師
全体(n=1,735)	73.3	24.5	4.3	4.9	11.7	6.2	1.6	36.1
身体(n=982)	71.5	24.6	5.2	2.9	8.9	7.0	1.4	32.1
知的(n=230)	77.0	17.0	2.6	8.3	28.7	4.8	2.2	21.3
精神(n=359)	73.0	27.3	2.2	7.8	14.2	6.1	2.2	57.7
その他難病(n=348)	74.1	29.0	4.9	6.3	10.1	7.8	0.6	52.3
	護 病 院 の ケ ー ス ワ ー ク ス ・ ネ ー カ ー ・ 介 介	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	幼 稚 園 ・ 学 校 の 保 育 所 ・ 先 生	民 間 の 支 援 事 業 所 な ど の 相 談 窓 口	行 政 機 関 の 相 談 窓 口	そ の 他	不 明	
全体(n=1,735)	12.1	2.5	3.2	5.9	12.3	4.3	3.3	
身体(n=982)	15.9	2.9	1.2	3.3	11.8	4.0	4.7	
知的(n=230)	2.6	1.3	18.7	19.6	13.9	3.5	0.9	
精神(n=359)	6.7	3.3	1.1	9.5	13.4	7.0	1.1	
その他難病(n=348)	14.4	1.7	2.0	5.5	10.1	4.6	2.0	
							1 位	2 位

7. 就労状況についておたずねします

問 35 主な収入はどれですか。金額の一番大きいものを選んでください。(○は1つ)

主な収入源については、「自分の年金や諸手当」が50.8%と最も多く、次いで「家族の年金や給料」が23.6%、「自分の給料」が16.3%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「自分の年金や諸手当」が62.7%、「知的」では、「家族の年金や給料」が47.0%となっています。



問 36 平日の日中をどのように過ごしていますか。あなたが選択した回答に従って、以下の問 36-1 から問 36-6 までの設問にお進みください。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方については、「自宅で過ごしている」が 36.9%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」が 20.6%、「専業主婦（夫）をしている」が 8.1%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援 A 型も含む）」、「精神」「その他難病」では、「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」が 3割となっています。

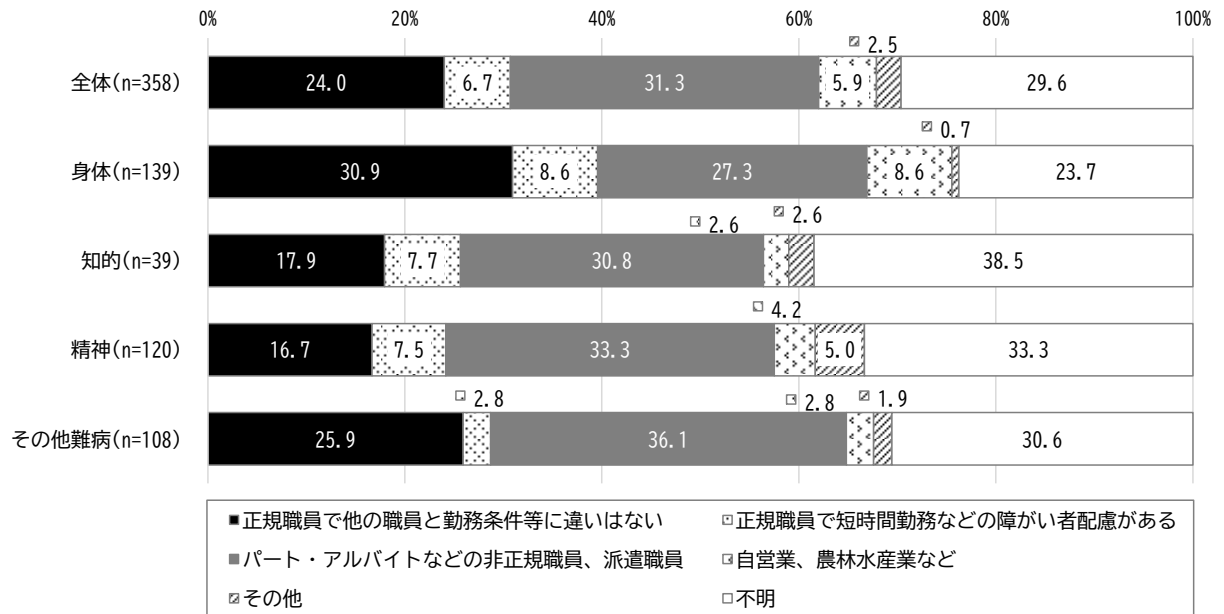
単位：％

	会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている	福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援 A 型も含む）	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校（小中高等部）に通っている	小学校、中学校、高等学校（「特別支援学校（小中高等部）」に通っていない）	幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	リハビリテーションを受けている
全体(n=1,735)	20.6	6.9	0.6	2.6	2.6	0.7	0.5	2.4
身体(n=982)	14.2	2.7	0.4	0.7	0.4	0.4	0.8	3.1
知的(n=230)	17.0	29.6	0.0	18.3	13.5	3.5	0.0	0.9
精神(n=359)	33.4	10.3	1.1	0.0	2.2	0.0	0.0	0.3
その他難病(n=348)	31.0	4.3	1.7	1.1	1.7	1.1	0.3	1.7
	病院などのデイケアに通っている	専業主婦（夫）をしている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院などで過ごしている	その他	不明	合計	
全体(n=1,735)	2.8	8.1	36.9	5.9	5.7	3.5	100.0	
身体(n=982)	3.2	10.0	44.6	6.8	7.2	5.5	100.0	
知的(n=230)	0.4	0.4	9.6	3.9	1.7	1.3	100.0	
精神(n=359)	3.9	7.2	31.5	3.9	5.3	0.8	100.0	
その他難病(n=348)	3.4	7.8	35.1	4.6	5.5	0.6	100.0	

【問36で「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」を回答された方】**問36-1 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つ)**

勤務形態については、「パート・アルバイトなどの非正規職員、派遣職員」が31.3%と最も多く、次いで「正規職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が24.0%、「正規職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある」が6.7%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「正規職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が30.9%となっています。「知的」「精神」「その他難病」では、「パート・アルバイトなどの非正規職員、派遣職員」が3割を超えています。



【問36で「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」を回答された方】**問36-2 仕事をする上で、困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)**

仕事をする上で、困っていることについては、「給料が少ない」が27.9%と最も多く、次いで「人間関係が難しい」が15.6%、「通勤が大変」が12.3%となっています。

障がい別でみると、すべての障がいで「給料が少ない」が最も多くなっています。

また、「精神」では、「人間関係が難しい」が25.0%となっています。

単位：％

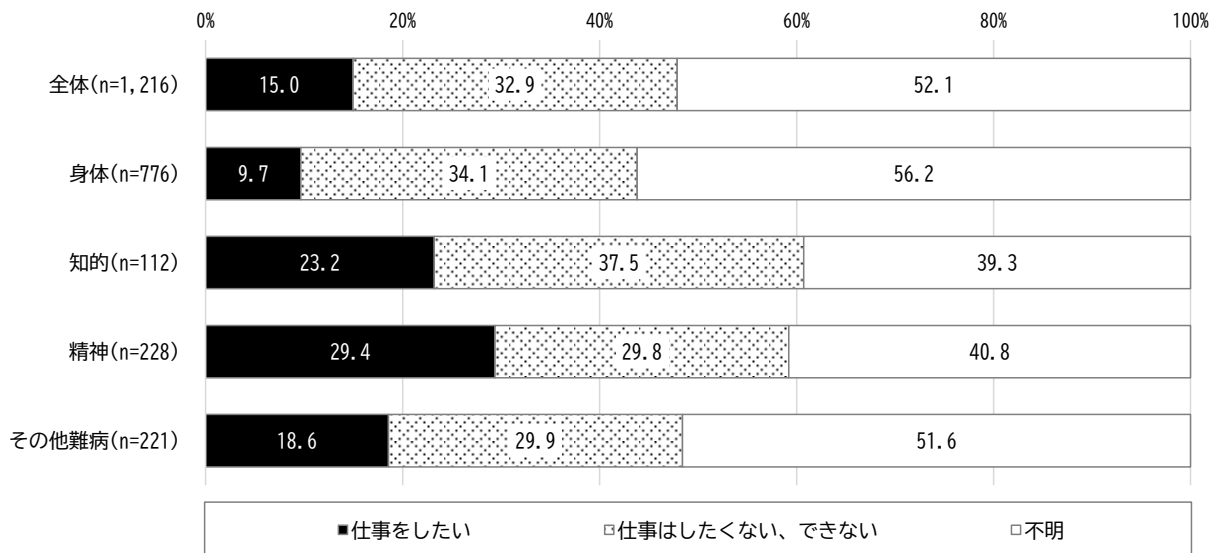
	給料が 少ない	仕事 の内容が 難しい	身分が 不安定	人間 関係が 難しい	トイレ などの 設備が 不十分	職場に や機器 がない ある人 用の	昇進が いがある ため に昇給 や
全体(n=358)	27.9	5.3	8.7	15.6	2.0	2.2	5.3
身体(n=139)	19.4	5.8	3.6	10.8	5.0	5.8	4.3
知的(n=39)	23.1	0.0	12.8	12.8	0.0	0.0	7.7
精神(n=120)	35.0	6.7	15.8	25.0	0.0	0.0	8.3
その他難病(n=108)	32.4	5.6	8.3	16.7	0.9	0.9	2.8
	通勤が 大変	休みが とりに くい	障がい に対する 理解が ない	障がい がある ことを 開示	その他	困つて いるこ とはな い	不明
全体(n=358)	12.3	8.4	8.1	8.9	4.2	17.6	32.4
身体(n=139)	13.7	6.5	6.5	5.0	3.6	24.5	26.6
知的(n=39)	5.1	7.7	2.6	2.6	2.6	20.5	46.2
精神(n=120)	13.3	9.2	13.3	16.7	7.5	5.0	36.7
その他難病(n=108)	13.9	11.1	7.4	13.0	6.5	17.6	30.6
						1位	2位

【問 36 で「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」以外を回答された 18～64 歳の方】

問 36-3 あなた（宛名のご本人）は今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つ）

今後、収入を得る仕事をしたいと思うかについては、「仕事をしたい」が 15.0%、「仕事はしたくない、できない」が 32.9%となっています。

障がい別でみると、「知的」「精神」では、「仕事をしたい」が2割を超えています。

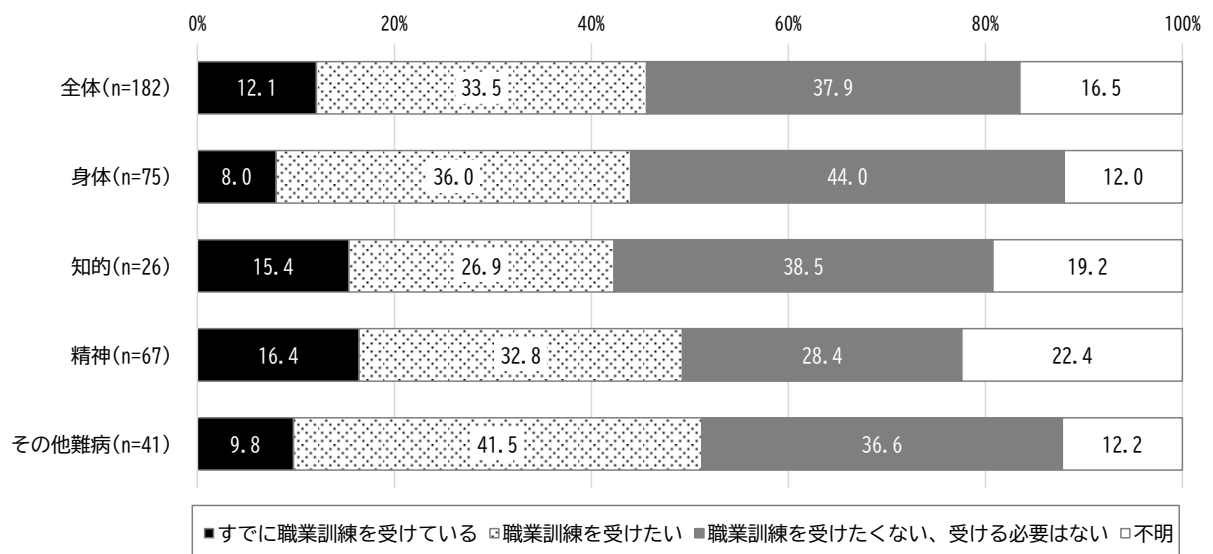


【問 36-3 で「仕事をしたい」を回答された方】

問 36-4 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。（○は1つ）

職業訓練などを受けたいと思うかについては、「すでに職業訓練を受けている」が 12.1%、「職業訓練を受けたい」が 33.5%、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 37.9%となっています。

障がい別でみると、「その他難病」では、「職業訓練を受けたい」が 41.5%となっています。



【問36-3で「仕事をしたい」を回答された方】

問36-5 どのような仕事の形態を希望しますか。(○は1つ)

仕事の形態については、「正職員での短時間勤務などの障がい者に配慮のある勤務」が20.9%と最も多く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が18.7%、「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない就労形態」が15.9%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が21.3%となっています。「精神」では、「就労移行支援、就労継続支援を利用」が16.4%となっています。

単位：％

	正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない就労形態	正職員での短時間勤務などの障がい者に配慮のある勤務	自営業	臨時、日雇い、パート、嘱託等	就労移行支援、就労継続支援を利用	地域活動支援センター	その他	不明
全体(n=182)	15.9	20.9	6.0	18.7	12.1	1.6	3.8	20.9
身体(n=75)	16.0	14.7	8.0	21.3	13.3	1.3	8.0	17.3
知的(n=26)	15.4	30.8	3.8	15.4	7.7	3.8	0.0	23.1
精神(n=67)	14.9	22.4	6.0	13.4	16.4	0.0	1.5	25.4
その他難病(n=41)	17.1	24.4	9.8	17.1	12.2	0.0	4.9	14.6
							1位	2位

【問36で「大学、専門学校、職業訓練校などに通っている」～「幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている」のいずれかを回答された方】

問36-6 通園・通学して困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

通園・通学して困ることについては、「通うのが大変」が14.2%と最も多く、次いで「先生の理解や配慮が足りない」が9.7%、「友だちができない」が8.0%となっています。

障がい別でみると、「精神」では、「友だちができない」が33.3%となっています。

単位：％

	通うのが大変	トイレなどの施設が整っていない	介助体制が十分でない	先生の理解や配慮が足りない	まわりの生徒たちの理解が得られない	友だちができない
全体(n=113)	14.2	1.8	1.8	9.7	5.3	8.0
身体(n=19)	26.3	0.0	5.3	10.5	5.3	0.0
知的(n=81)	14.8	1.2	1.2	6.2	4.9	4.9
精神(n=12)	33.3	8.3	0.0	25.0	16.7	33.3
その他難病(n=20)	20.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	通常の学級に入れてもらえない	医療的なケアが受けられない	スクールカウンセラーなどの相談体制が十分でない	その他	特に困っていることはない	不明
全体(n=113)	0.9	1.8	3.5	4.4	34.5	38.1
身体(n=19)	0.0	10.5	5.3	5.3	42.1	26.3
知的(n=81)	1.2	0.0	3.7	3.7	32.1	42.0
精神(n=12)	0.0	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0
その他難病(n=20)	0.0	0.0	5.0	0.0	40.0	35.0
					1位	2位

問37 障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

障がい者の就労支援として必要だと思うことについては、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が36.4%と最も多く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できる」が29.4%、「通勤手段の確保」が26.9%となっています。

障がい別でみると、すべての障がいで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も多くなっています。「身体」「知的」では、「通勤手段の確保」が3割、「精神」「その他難病」では、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できる」が4割となっています。

単位：％

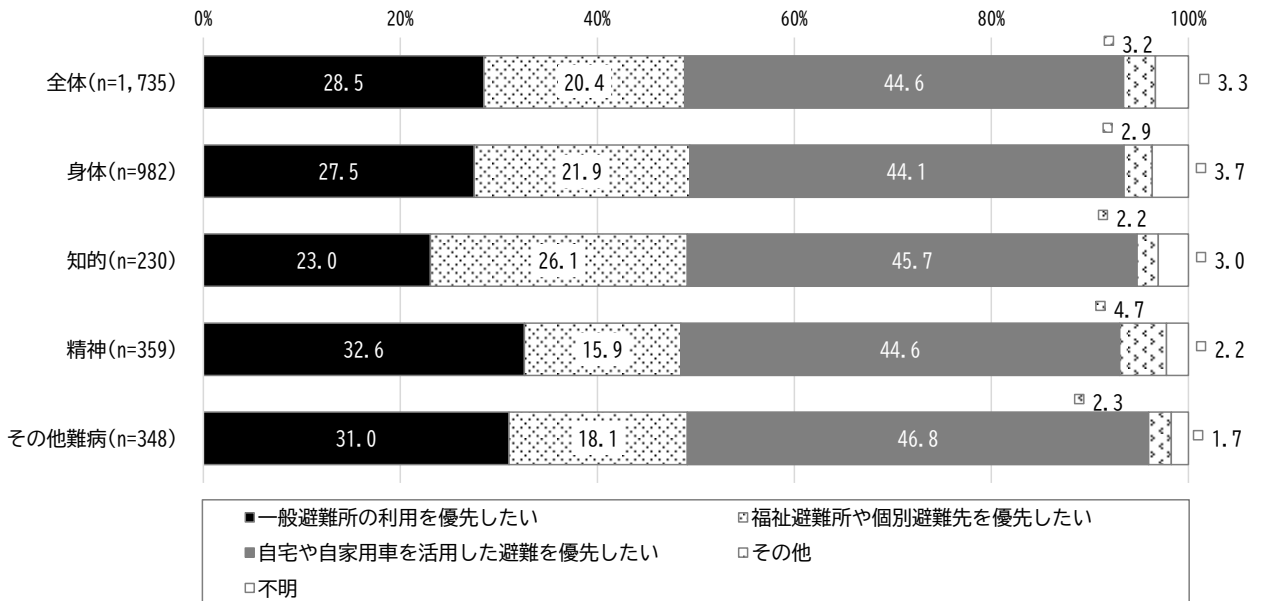
	通勤手段の確保	通勤先におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数の配慮	勤務時間や日数が体調に合わせて変更できる	在宅勤務の充実	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助が受けられること
全体(n=1,735)	26.9	11.9	25.5	29.4	17.9	36.4	14.0
身体(n=982)	28.7	15.5	19.8	24.5	16.9	30.0	12.7
知的(n=230)	35.7	8.3	25.2	26.1	9.6	52.2	26.5
精神(n=359)	18.9	4.5	42.1	44.3	25.9	48.5	11.7
その他難病(n=348)	26.1	10.3	31.9	39.9	25.0	41.7	13.2
	など通院時間の確保や服薬管理	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外の相談対応、支援	その他	不明	
全体(n=1,735)	10.3	13.0	5.9	9.1	6.0	18.6	
身体(n=982)	10.3	6.6	4.6	6.3	6.5	25.1	
知的(n=230)	8.3	31.7	9.1	14.3	3.0	10.0	
精神(n=359)	10.6	20.9	8.6	14.8	5.6	6.7	
その他難病(n=348)	14.4	12.1	7.8	9.2	4.6	10.9	
						1位	2位

8. 災害時の対応についておたずねします

問 38 災害が起きたときの行動について、望むことを選んでください。(○は1つ)

災害が起きたときの行動について、望むことについては、「自宅や自家用車を活用した避難を優先したい」が44.6%と最も多く、次いで「一般避難所の利用を優先したい」が28.5%、「福祉避難所や個別避難先を優先したい」が20.4%となっています。

障がい別でみると、「身体」「知的」では、「福祉避難所や個別避難先を優先したい」が2割を超えています。「精神」「その他難病」では、「一般避難所の利用を優先したい」が3割を超えています。

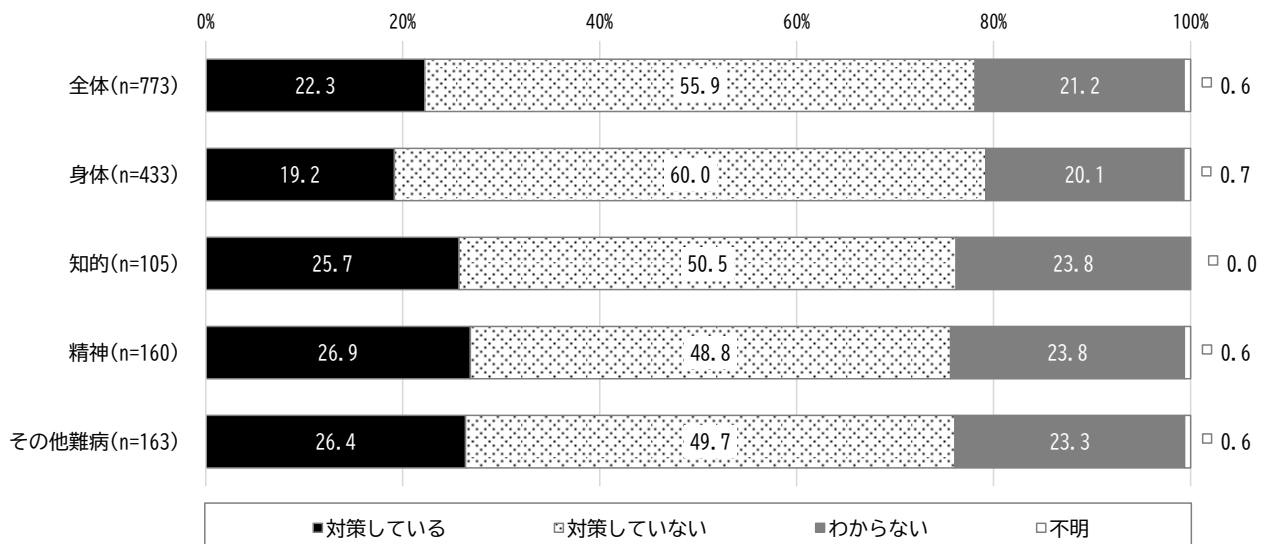


【問38で「自宅や自家用車を活用した避難を優先したい」を回答された方】

問 38-1 自宅や自家用車で避難生活をするようになった場合に備え、対策をしていますか？(○は1つ)

自宅や自家用車で避難生活をするようになった場合に備え、対策をしているかについては、「対策している」が22.3%、「対策していない」が55.9%、「わからない」が21.2%となっています。

障がい別でみると、「知的」「精神」「その他難病」では、「対策している」が2割を超えています。



問 39 災害対策として必要だと思うことと、現在行っていることをそれぞれ選んでください。（あてはまるものすべてに○）

【必要だと思うこと】

災害対策として必要だと思うことについては、「非常持ち出し袋の準備」が 61.5%と最も多く、次いで「自分に合った食料や飲料の備蓄」が 57.0%、「自宅の耐震対策（家具の転倒防止など）」、「いつも服用している薬の備蓄」が 56.7%となっています。

障がい別でみると、「身体」「精神」「その他難病」では、「非常持ち出し袋の準備」、「知的」では、「家族や支援者の事前取り決め」が最も多くなっています。

単位：％

	自宅の耐震対策（家具の転倒防止など）	防災マップ、ハザードマップの確認	非常持ち出し袋の準備	家族や支援者の事前取り決め	地域の防災訓練への参加	避難行動要支援者名簿への登録	災害伝言ダイヤルの使い方を確認する	ヘルプカードの作成
全体(n=1,735)	56.7	52.2	61.5	55.6	41.6	41.9	50.4	38.6
身体(n=982)	52.5	47.5	57.3	51.5	38.3	40.4	45.0	37.1
知的(n=230)	61.3	57.4	63.9	64.8	45.2	49.6	53.0	50.0
精神(n=359)	68.5	61.6	70.8	62.7	48.7	42.9	62.4	41.2
その他難病(n=348)	64.7	60.6	68.7	58.0	48.3	45.1	60.3	38.8
	前指定避難所、福祉避難所の事前確認	移動に必要な器具の準備	移送サービスの登録	お風呂等常備品を十分にしておく	自分に合った食料や飲料の備蓄	いつも服用している薬の備蓄	介助に必要な医療機器の準備	不明
全体(n=1,735)	56.4	38.0	33.8	41.3	57.0	56.7	35.0	7.4
身体(n=982)	54.7	37.3	33.9	37.6	54.2	53.8	36.2	8.5
知的(n=230)	63.9	36.1	39.6	48.7	60.9	52.2	35.2	5.7
精神(n=359)	60.2	38.4	32.0	45.7	66.9	65.5	31.8	5.8
その他難病(n=348)	57.5	42.5	34.8	46.6	61.2	64.4	36.8	4.6
							1位	2位

【現在行っていること】

災害対策として現在行っていることについては、「いつも服用している薬の備蓄」が34.8%と最も多く、次いで「自宅の耐震対策（家具の転倒防止など）」が28.2%、「非常持ち出し袋の準備」が27.8%となっています。

障がい別でみると、「身体」「精神」「その他難病」では、「いつも服用している薬の備蓄」、「知的」では、「非常持ち出し袋の準備」が、最も多くなっています。

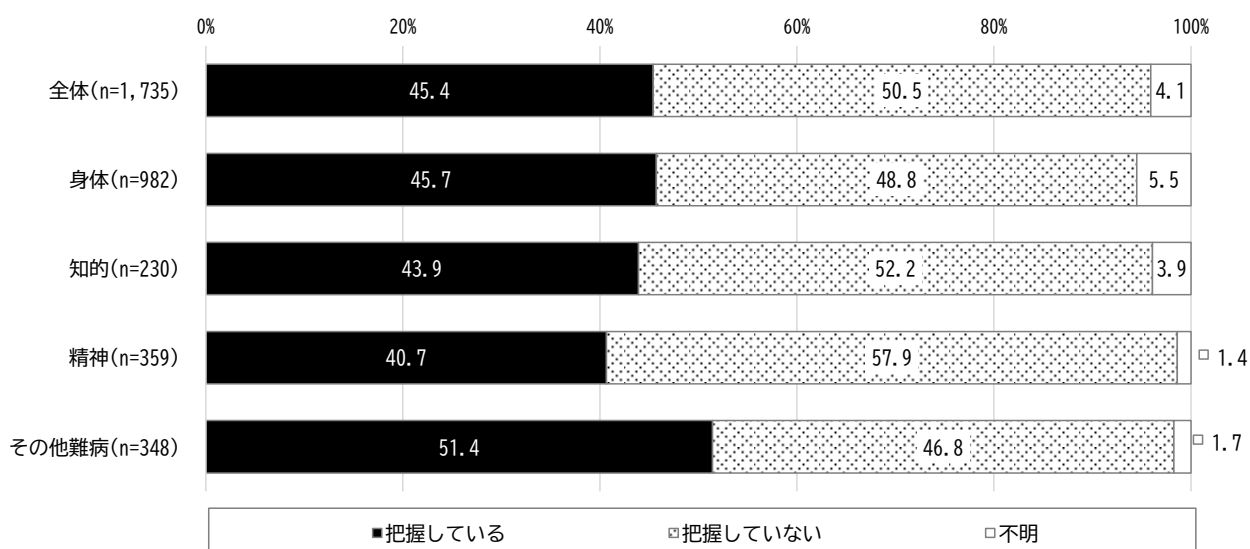
単位：％

	自宅の耐震対策（家具の転倒防止など）	防災マップ、ハザードマップの確認	非常持ち出し袋の準備	家族や支援者の事前取り決め	地域の防災訓練への参加	避難行動要支援者名簿への登録	災害伝言ダイヤルの使い方を確認する	ヘルプカードの作成
全体(n=1,735)	28.2	25.4	27.8	13.5	7.2	5.4	7.1	9.9
身体(n=982)	27.2	23.8	25.6	12.5	6.8	6.6	6.0	7.7
知的(n=230)	32.6	30.0	36.1	18.3	7.0	8.3	9.1	13.5
精神(n=359)	25.3	25.6	27.6	13.1	5.6	1.4	8.1	11.1
その他難病(n=348)	29.9	29.6	27.9	14.9	9.5	5.2	7.5	13.2
	前指定避難所、福祉避難所の事前確認	移動に必要な器具の準備	移送サービスの登録	お風呂等を利用する際の事前確認	蓄えに合った食料や飲料の備蓄	いつも服用している薬の備蓄	介助に必要な医療機器の準備	不明
全体(n=1,735)	15.4	6.6	1.7	21.0	27.1	34.8	6.5	7.4
身体(n=982)	12.6	7.1	1.5	20.7	24.4	34.7	8.4	8.5
知的(n=230)	19.6	6.5	1.7	26.1	34.8	30.4	5.2	6.1
精神(n=359)	17.5	7.0	1.9	16.7	25.9	34.3	3.9	5.8
その他難病(n=348)	21.3	4.9	1.7	23.9	32.5	43.1	6.6	4.6
							1位	2位

問 40 ご自身の指定避難所や福祉避難所の場所は把握していますか。(○は1つ)

指定避難所や福祉避難所の場所を把握しているかについては、「把握している」が45.4%、「把握していない」が50.5%となっています。

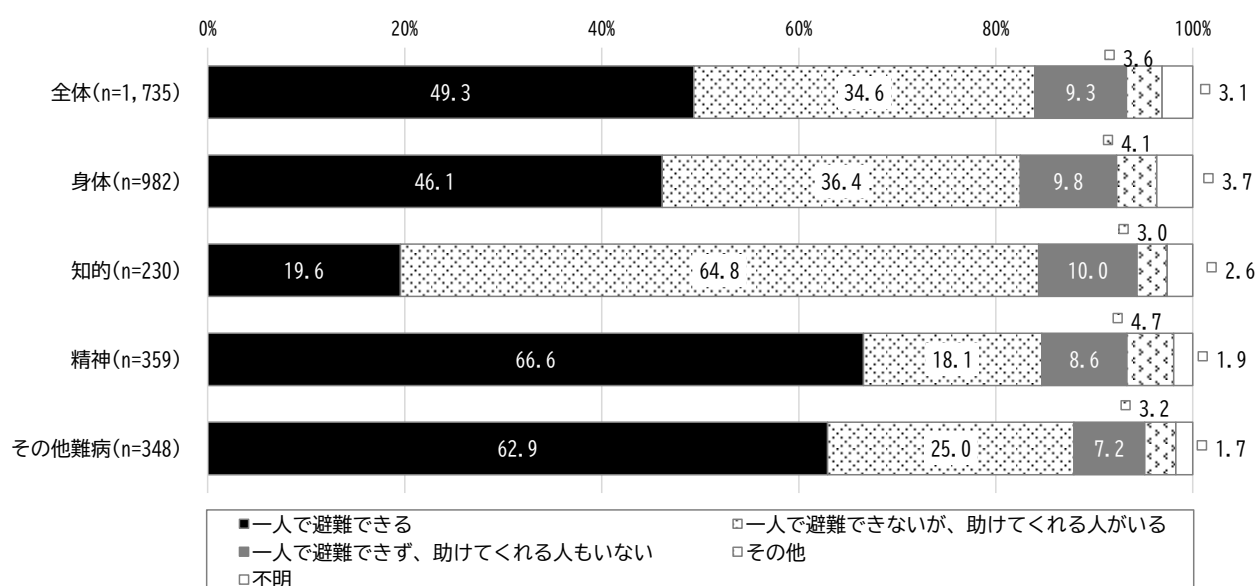
障がい別でみると、「その他難病」では、「把握している」が5割を超えています。



問 41 火事や地震、豪雨等の災害時に、あなた（宛名のご本人）は一人で避難できますか。(○は1つ)

火事や地震、豪雨等の災害時に、一人で避難できるかについては、「一人で避難できる」が49.3%と最も多く、次いで「一人で避難できないが、助けてくれる人がいる」が34.6%、「一人で避難できず、助けてくれる人もいない」が9.3%となっています。

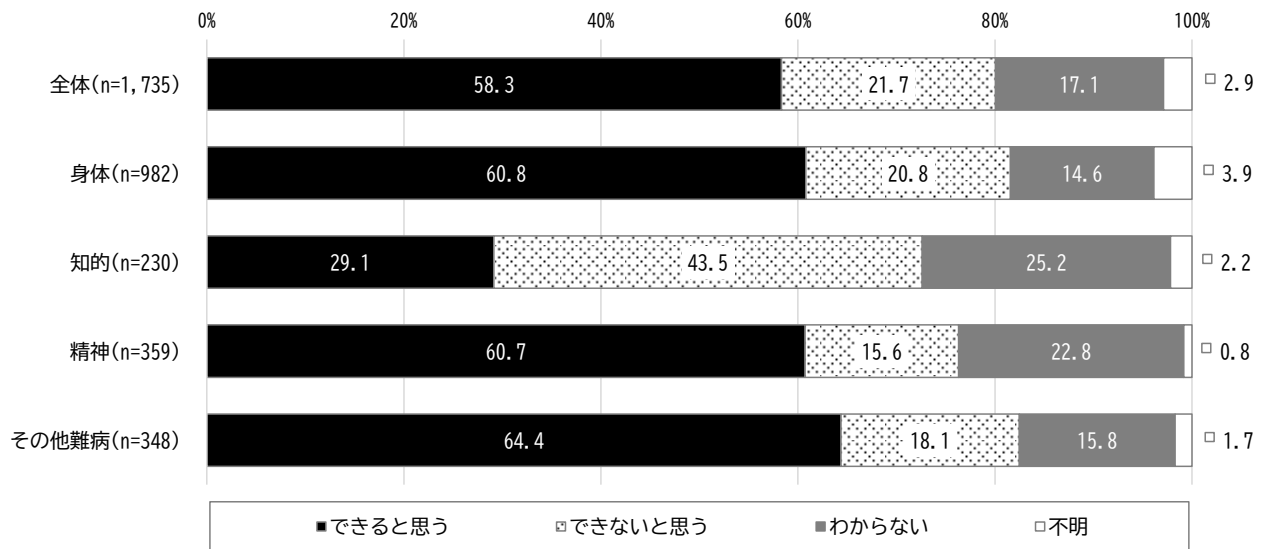
障がい別でみると、「精神」「その他難病」では、「一人で避難できる」が6割を超えています。



問 42 火事などの非常時に、あなた（宛名のご本人）は周囲の人に知らせることができますか。（○は1つ）

火事などの非常時に、周囲の人に知らせることができるかについては、「できると思う」が58.3%、「できないと思う」が21.7%、「わからない」が17.1%となっています。

障がい別でみると、「精神」「その他難病」では、「できると思う」が6割を超えています。



問 43 災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に困ることについては、「投薬や治療が受けられない」が 56.8%と最も多く、次いで「安全なところまで迅速に避難することができない」が 36.4%、「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」が 23.3%となっています。

障がい別でみると、「周囲とコミュニケーションが取れない」では、「知的」で 53.5%、「精神」で 33.7%となっています。

単位：％

	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手がなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない
全体(n=1,735)	56.8	8.2	10.3	15.5	36.4	23.3
身体(n=982)	57.3	11.7	14.2	13.4	42.6	23.1
知的(n=230)	32.2	6.5	7.0	40.9	49.1	37.4
精神(n=359)	67.4	1.7	5.0	12.5	20.1	21.2
その他難病(n=348)	70.4	4.3	7.2	11.2	26.7	20.1
	ない周囲とコミュニケーションが取れない	介護者がいない	その他	特にな	不明	
全体(n=1,735)	22.1	8.5	4.3	11.6	4.3	
身体(n=982)	14.0	9.6	3.3	10.3	5.6	
知的(n=230)	53.5	12.2	4.8	10.9	3.5	
精神(n=359)	33.7	5.8	8.9	12.0	1.7	
その他難病(n=348)	15.2	7.2	4.6	13.2	1.7	
					1 位	2 位

問 44 避難所での生活で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

避難所での生活で困ることについては、「人が多い場所が苦手なこと」が36.8%と最も多く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうかもしれないこと」が33.9%、「一般のトイレが利用できないこと」が28.8%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「移動や歩行が困難であること」が39.8%、「知的」では、「情報の入手や意思疎通が難しいこと」が52.6%、「精神」では、「人が多い場所が苦手なこと」が66.0%となっています。

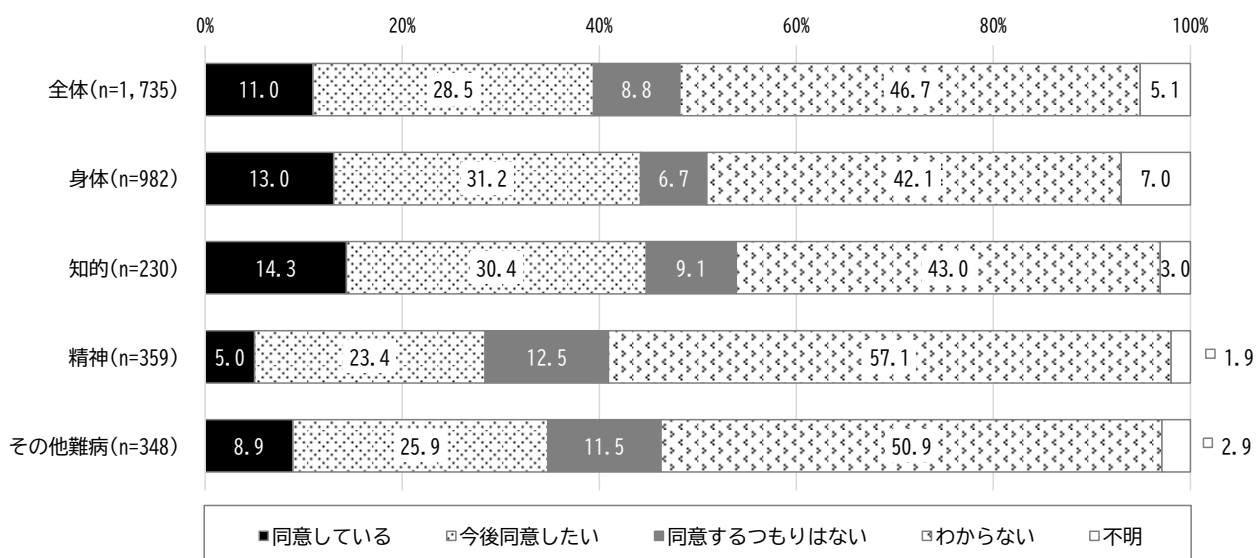
単位：％

	一般の トイレが 利用でき ないこと	ベッ ドがない と生活で きないこ と	人 が多 い場所 が苦手な こと	情 報の 入手 や意 思疎 通が 難し いこ と	通 常の 食 事 が で き な い こ と	移 動 や 歩 行 が 困 難 で あ る こ と	身 体 の 清 潔 保 持 が 難 し い こ と	し れ な い こ と 周 囲 に 迷 惑 を か け て し ま う か も	そ の 他	不 明
全体(n=1,735)	28.8	19.9	36.8	21.7	21.0	27.9	26.4	33.9	7.0	11.5
身体(n=982)	34.1	27.5	25.6	16.4	20.0	39.8	29.5	34.0	5.5	12.6
知的(n=230)	19.1	6.5	47.8	52.6	23.5	13.0	21.3	43.0	6.5	6.5
精神(n=359)	22.0	8.9	66.0	25.3	22.0	5.8	20.3	34.5	9.7	8.1
その他難病(n=348)	25.9	15.2	42.0	17.2	28.2	23.6	29.9	27.6	10.6	12.1
									1位	2位

問 45 自宅で生活し、災害が発生した時や発生する恐れがある時に自分や家族だけの力で避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。本人の個人情報に関係者に提供することに同意した方に、個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。あなたは、この個人情報の提供に同意していますか。(○は1つ)

個人情報の提供に同意しているかについては、「同意している」が 11.0%、「今後同意したい」が 28.5%「同意するつもりはない」が 8.8%となっています。

障がい別でみると、「身体」「知的」では、「同意している」が1割を超えています。

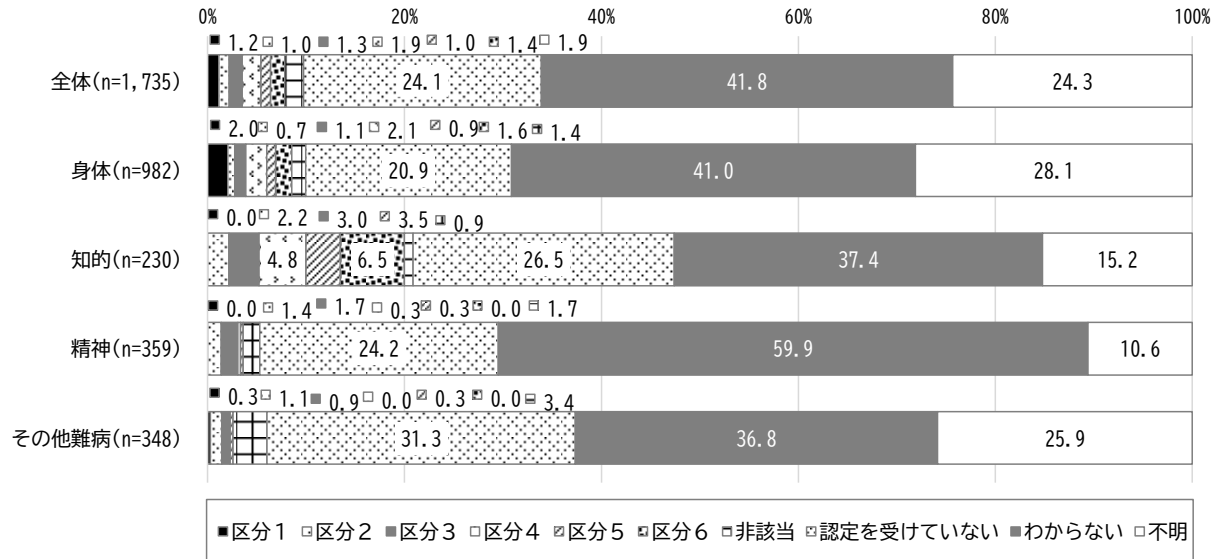


9. 障がい福祉サービスについておたずねします

問 46 障害支援区分の認定を受けている方は該当する区分に○をつけてください。(○は1つ)

障害支援区分の認定については、「認定を受けていない」が24.1%と最も多く、次いで「区分4」が1.9%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「区分6」が6.5%となっています。

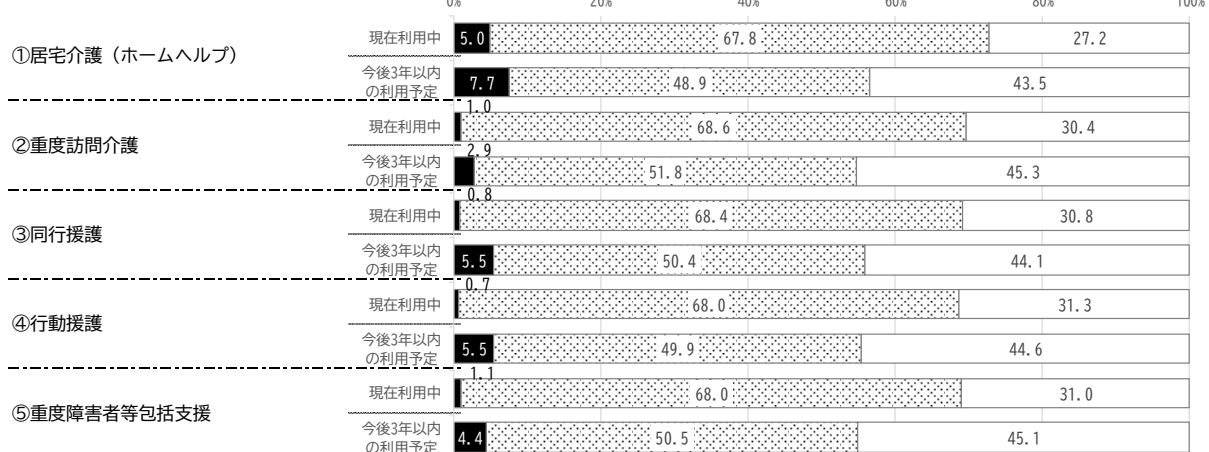


問 47 次の①～⑫のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

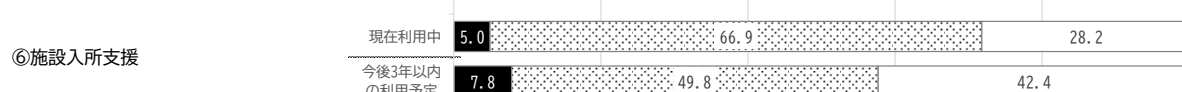
現在利用中の状況については、「⑩計画相談支援」「⑫自立訓練（機能訓練、生活訓練）」が多くなっています。

今後3年以内の利用予定については、すべてのサービスにおいて現在利用中の人数を上回っています。

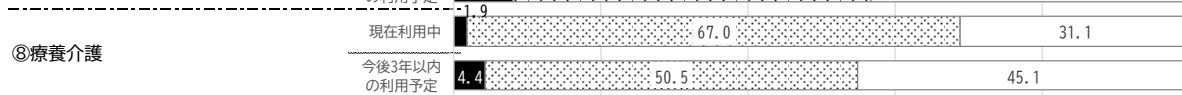
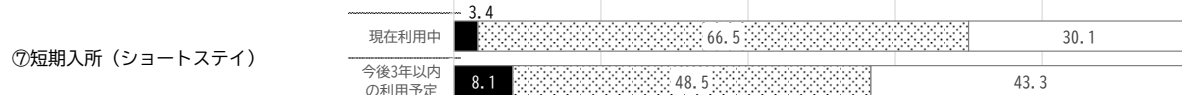
■訪問による支援



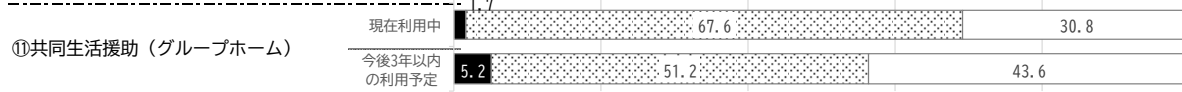
■入所者の支援



■昼間の生活の支援

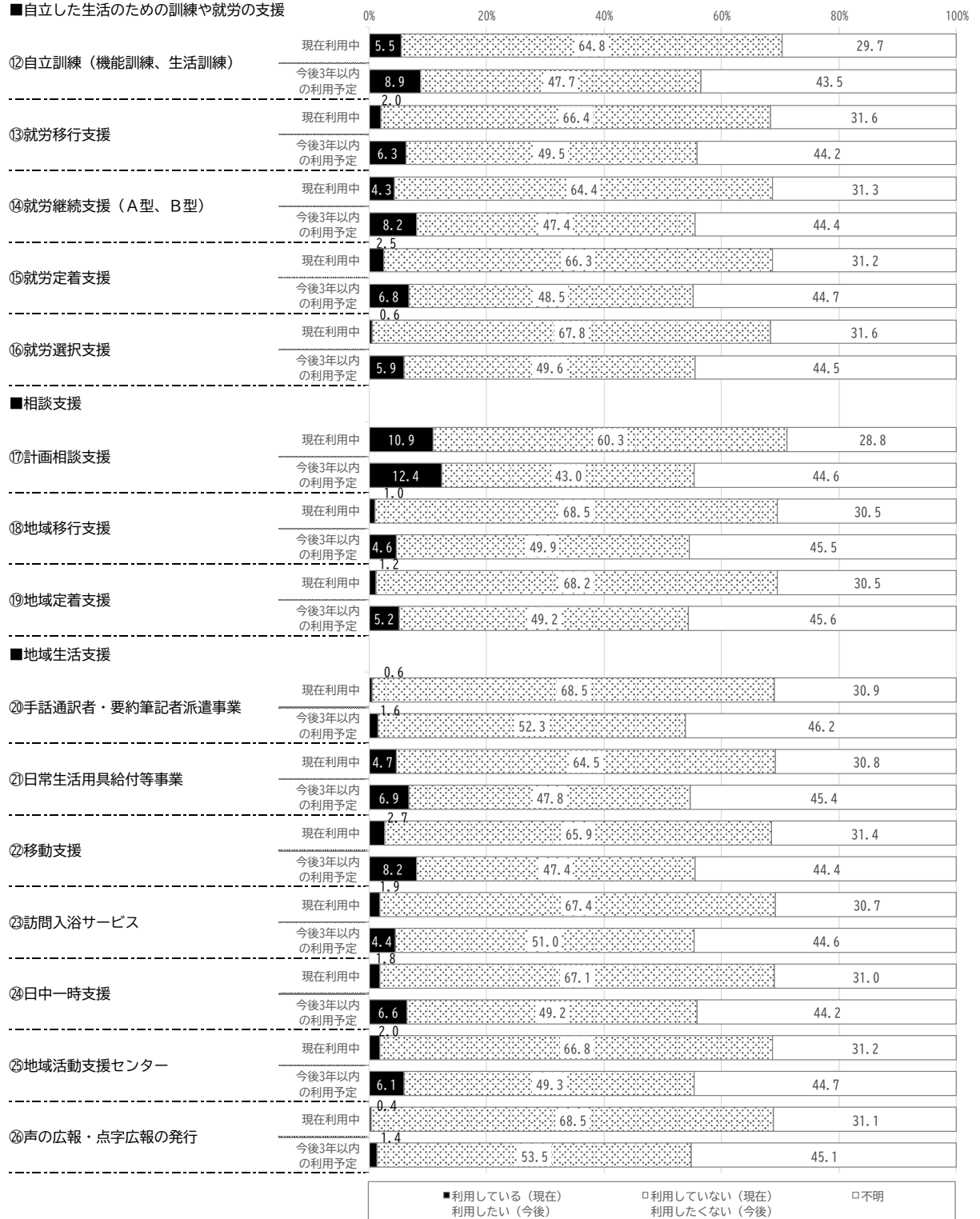


■自立した生活のための支援



■利用している（現在）
□利用していない（現在）
□不明

■自立した生活のための訓練や就労の支援



障がい別

	全体(n=1735)				身体(n=982)				知的(n=230)				精神(n=359)				その他難病(n=348)			
	現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
■訪問による支援																				
①居宅介護（ホームヘルプ）	86	5.0	133	7.7	69	7.0	93	9.5	5	0.5	13	1.3	10	1.0	21	2.1	11	1.1	18	1.8
②重度訪問介護	17	1.0	50	2.9	13	1.3	37	3.8	0	0.0	2	0.2	2	0.2	8	0.8	4	0.4	9	0.9
③同行援護	14	0.8	95	5.5	9	0.9	64	6.5	3	0.3	19	1.9	1	0.1	12	1.2	2	0.2	15	1.5
④行動援護	12	0.7	96	5.5	2	0.2	47	4.8	9	0.9	32	3.3	0	0.0	16	1.6	1	0.1	17	1.7
⑤重度障害者等包括支援	19	1.1	77	4.4	15	1.5	53	5.4	1	0.1	10	1.0	1	0.1	11	1.1	1	0.1	13	1.3
■入所者の支援																				
⑥施設入所支援	86	5.0	136	7.8	51	5.2	89	9.1	11	1.1	17	1.7	15	1.5	17	1.7	13	1.3	17	1.7
■昼間の生活の支援																				
⑦短期入所（ショートステイ）	59	3.4	141	8.1	39	4.0	87	8.9	18	1.8	44	4.5	4	0.4	11	1.1	9	0.9	18	1.8
⑧療養介護	33	1.9	76	4.4	19	1.9	53	5.4	3	0.3	7	0.7	3	0.3	9	0.9	10	1.0	13	1.3
⑨生活介護	82	4.7	135	7.8	44	4.5	85	8.7	22	2.2	26	2.6	7	0.7	21	2.1	15	1.5	20	2.0
■自立した生活のための支援																				
⑩自立生活援助	59	3.4	148	8.5	24	2.4	69	7.0	3	0.3	17	1.7	27	2.7	51	5.2	23	2.3	36	3.7
⑪共同生活援助（グループホーム）	29	1.7	90	5.2	8	0.8	36	3.7	9	0.9	29	3.0	7	0.7	21	2.1	5	0.5	12	1.2
■自立した生活のための訓練や就労の支援																				
⑫自立訓練（機能訓練、生活訓練）	95	5.5	154	8.9	65	6.6	86	8.8	11	1.1	26	2.6	14	1.4	37	3.8	17	1.7	25	2.5
⑬就労移行支援	35	2.0	109	6.3	9	0.9	25	2.5	6	0.6	24	2.4	24	2.4	60	6.1	8	0.8	30	3.1
⑭就労継続支援（A型、B型）	75	4.3	142	8.2	12	1.2	28	2.9	34	3.5	46	4.7	35	3.6	71	7.2	14	1.4	33	3.4
⑮就労定着支援	43	2.5	118	6.8	7	0.7	24	2.4	11	1.1	27	2.7	27	2.7	65	6.6	8	0.8	28	2.9
⑯就労選択支援	10	0.6	103	5.9	5	0.5	27	2.7	1	0.1	21	2.1	5	0.5	52	5.3	4	0.4	29	3.0
■相談支援																				
⑰計画相談支援	189	10.9	215	12.4	80	8.1	90	9.2	91	9.3	77	7.8	30	3.1	49	5.0	24	2.4	27	2.7
⑱地域移行支援	18	1.0	80	4.6	8	0.8	38	3.9	2	0.2	17	1.7	7	0.7	21	2.1	2	0.2	16	1.6
⑲地域定着支援	21	1.2	90	5.2	11	1.1	37	3.8	2	0.2	18	1.8	7	0.7	32	3.3	2	0.2	17	1.7
■地域生活支援																				
㉑手話通訳者・要約筆記者派遣事業	11	0.6	27	1.6	10	1.0	22	2.2	1	0.1	2	0.2	0	0.0	1	0.1	0	0.0	3	0.3
㉒日常生活用具給付等事業	81	4.7	119	6.9	73	7.4	96	9.8	13	1.3	15	1.5	1	0.1	9	0.9	13	1.3	17	1.7
㉓移動支援	47	2.7	142	8.2	26	2.6	86	8.8	21	2.1	40	4.1	3	0.3	17	1.7	2	0.2	19	1.9
㉔訪問入浴サービス	33	1.9	77	4.4	26	2.6	64	6.5	3	0.3	8	0.8	1	0.1	3	0.3	9	0.9	11	1.1
㉕日中一時支援	32	1.8	114	6.6	15	1.5	72	7.3	14	1.4	30	3.1	4	0.4	13	1.3	6	0.6	12	1.2
㉖地域活動支援センター	34	2.0	105	6.1	21	2.1	60	6.1	5	0.5	15	1.5	9	0.9	25	2.5	5	0.5	23	2.3
㉗声の広報・点字広報の発行	7	0.4	24	1.4	6	0.6	19	1.9	1	0.1	2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	0.4

10. 障がい児福祉についておたずねします

【障がい児（18歳未満）を養育している方のみお答えください。】

問 48 お子さんの障がいや発達課題などに気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

障がいや発達課題などに気づいたきっかけについては、「あなたを含む家族による気づき」が53.6%と最も多く、次いで「病院などの医療機関による受診・健診」が36.1%、「蓮田市が実施する健診」が13.4%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「病院などの医療機関による受診・健診」が61.5%となっています。「精神」では、「あなたを含む家族による気づき」が85.7%となっています。

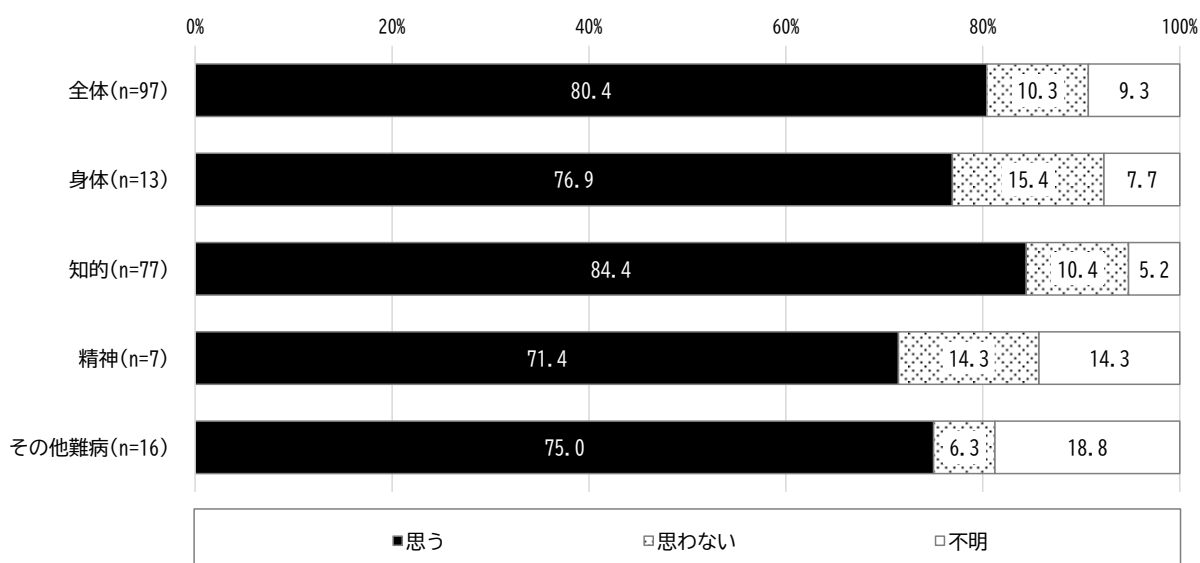
単位：％

	受診・健診 病院などの医療機関による	蓮田市が実施する健診	小学校で実施する就学時健康診断	保育園・幼稚園の助言	学校の助言	あなたを含む家族による気づき	その他	不明
全体(n=97)	36.1	13.4	1.0	12.4	2.1	53.6	4.1	10.3
身体(n=13)	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	15.4	7.7
知的(n=77)	40.3	15.6	0.0	14.3	2.6	55.8	2.6	6.5
精神(n=7)	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	14.3
その他難病(n=16)	50.0	6.3	6.3	0.0	0.0	25.0	6.3	18.8
							1位	2位

問 49 お子さんの障がいや発達課題などには早く気づけたと思いますか。(○は1つ)

障がいや発達課題などには早く気づけたと思うかについては、「思う」が 80.4%、「思わない」が 10.3%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「思う」が 84.4%となっています。



【障がい児（18歳未満）を養育している方のみお答えください。】

問 50 幼稚園・学校などに望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園・学校などに望むことについては、「能力や障がいの状況にあった指導」が 72.2%と最も多く、次いで「障がいなどへの、教師や児童・生徒の理解と配慮」が 69.1%、「福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携」が 54.6%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「能力や障がいの状況にあった指導」が 76.6%となっています。

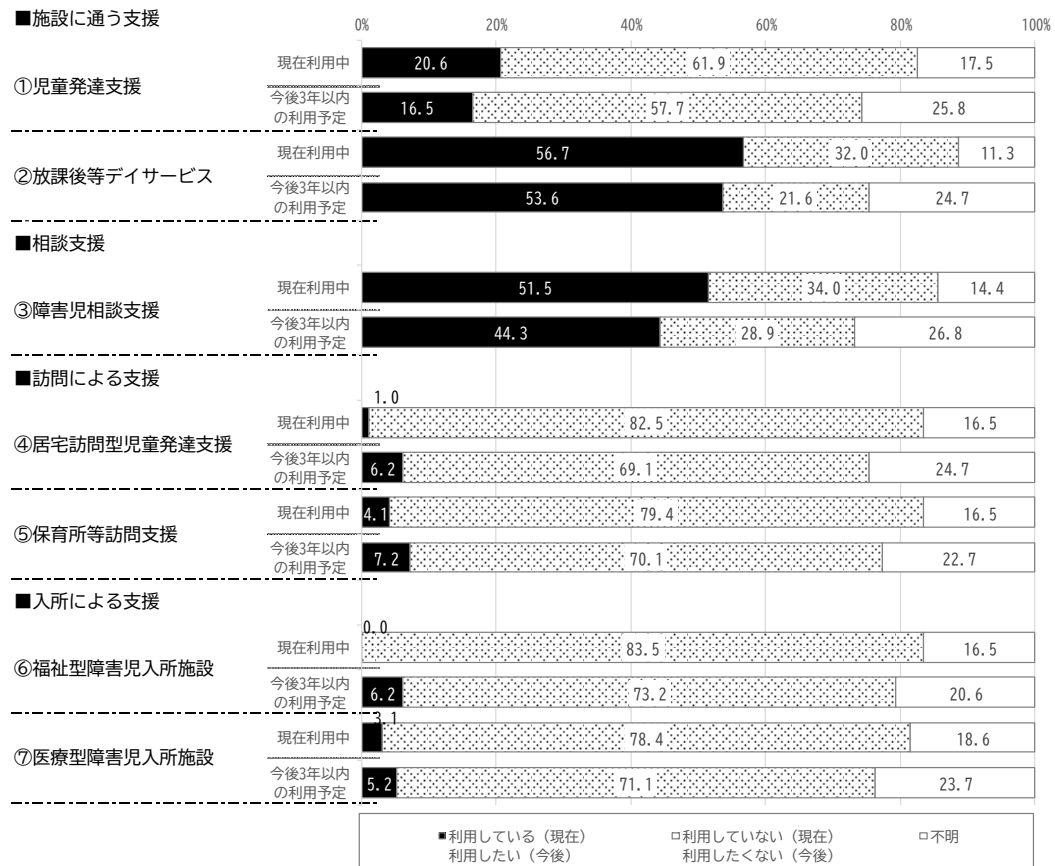
単位：％

	送迎など、通園・通学のサポート	能力や障がいの状況にあった指導	生活訓練や職業訓練など、専門的な指導	授業や喀痰吸引など、医療的なケア	福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携	障がいの理解と配慮、教師や児童・生徒	特に望むことはない	その他	不明
全体(n=97)	28.9	72.2	47.4	7.2	54.6	69.1	0.0	2.1	9.3
身体(n=13)	61.5	76.9	76.9	38.5	46.2	61.5	0.0	0.0	7.7
知的(n=77)	31.2	76.6	53.2	5.2	61.0	71.4	0.0	2.6	5.2
精神(n=7)	28.6	71.4	14.3	0.0	57.1	85.7	0.0	0.0	14.3
その他難病(n=16)	50.0	62.5	37.5	25.0	37.5	68.8	0.0	0.0	18.8
								1位	2位

問 51 次の①～⑦のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

現在利用中の状況については、「②放課後等デイサービス」「③障害児相談支援」が多くなっています。

今後3年以内の利用予定については、現在利用のない「福祉型障害児入所施設」において、利用意向が見受けられます。一方で、「②放課後等デイサービス」「③障害児相談支援」においては減少傾向です。



障がい別

	全体(n=97)				身体(n=13)				知的(n=77)				精神(n=7)				その他難病(n=16)			
	現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定		現在利用中		今後3年以内の利用予定	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
■施設に通う支援																				
①児童発達支援	20	20.6	16	16.5	6	46.2	4	30.8	15	19.5	10	13.0	0	0.0	0	0.0	5	31.3	3	18.8
②放課後等デイサービス	55	56.7	52	53.6	6	46.2	7	53.8	50	64.9	45	58.4	3	42.9	3	42.9	4	25.0	5	31.3
■相談支援																				
③障害児相談支援	50	51.5	43	44.3	9	69.2	6	46.2	42	54.5	35	45.5	2	28.6	2	28.6	7	43.8	6	37.5
■訪問による支援																				
④居宅訪問型児童発達支援	1	1.0	6	6.2	1	7.7	2	15.4	0	0.0	4	5.2	0	0.0	1	14.3	1	6.3	3	18.8
⑤保育所等訪問支援	4	4.1	7	7.2	0	0.0	2	15.4	4	5.2	6	7.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.3
■入所による支援																				
⑥福祉型障害児入所施設	0	0.0	6	6.2	0	0.0	3	23.1	0	0.0	6	7.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.3
⑦医療型障害児入所施設	3	3.1	5	5.2	2	15.4	4	30.8	2	2.6	3	3.9	0	0.0	0	0.0	3	18.8	3	18.8

問 52 お子さんを主にサポートしている保護者の方自身が、特に支援して欲しいことは何ですか。(〇は3つまで)

特に支援して欲しいことについては、「経済的支援」「学校卒業後も生涯を通じて学習ができる環境・機会の整備」がともに 48.5%、「保護者や家族（兄弟姉妹など）が急な病気などにより、介助・支援できないときの一時的な見守りや介助」が 35.1%となっています。

障がい別でみると、「身体」では、「保護者や家族（兄弟姉妹など）が急な病気などにより、介助・支援できないときの一時的な見守りや介助」が 61.5%となっています。

単位：％

	サポート センター リング など、 家族の 心理的	兄弟姉妹の 託児・通 所時にお ける、	経済的 支援	保護者の 就労に関 する支援	レスパイト ケア※在宅 で介護する 家族が一時的 に介護から解 放され、休息 がとれるよう にする支援	障がいや発 達に関するこ と、福祉サ ービスなど について学 び考える機 会
全体(n=97)	21.6	12.4	48.5	15.5	15.5	22.7
身体(n=13)	23.1	7.7	53.8	38.5	23.1	15.4
知的(n=77)	20.8	13.0	50.6	14.3	18.2	22.1
精神(n=7)	57.1	0.0	71.4	28.6	0.0	28.6
その他難病(n=16)	31.3	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0
	保護者や家族（兄弟姉妹など）が急 な病気などの一時的な見守りや介助 がないとき	学校卒業後も生涯を通じて学習が できる環境・機会の整備	特 に な い	そ の 他	不 明	
全体(n=97)	35.1	48.5	2.1	3.1	12.4	
身体(n=13)	61.5	38.5	0.0	0.0	7.7	
知的(n=77)	39.0	53.2	2.6	2.6	9.1	
精神(n=7)	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	
その他難病(n=16)	31.3	43.8	0.0	0.0	25.0	
					1 位	2 位

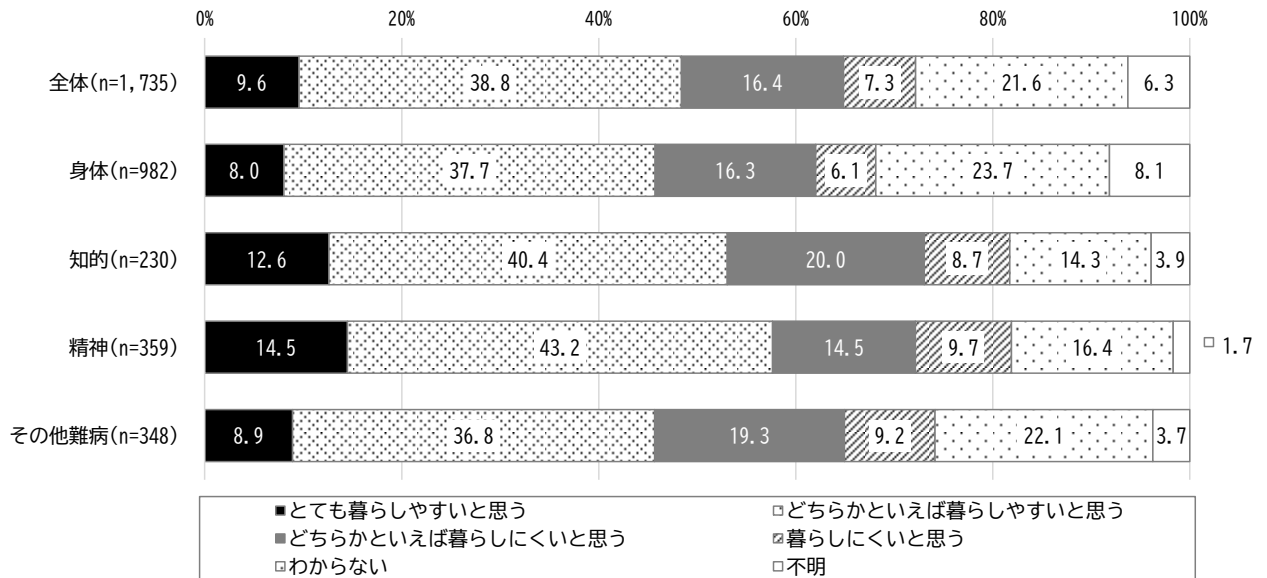
11. 蓮田市の障がい者施策等についておたずねします

問 53 蓮田市は暮らしやすいですか。(○は1つ)

蓮田市は暮らしやすいかについては、「とても暮らしやすいと思う」「どちらかといえば暮らしやすいと思う」を合わせた『暮らしやすいと思う』(以下同様)が48.4%となっています。

一方、「どちらかといえば暮らしにくいと思う」「暮らしにくいと思う」を合わせた『暮らしにくいと思う』が23.7%となっています。

障がい別でみると、「知的」「精神」では、『暮らしやすいと思う』が5割を超えています。



【問53で「どちらかといえば暮らしにくいと思う」または「暮らしにくいと思う」を回答された方】

問53-1 どういったところが暮らしにくいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

暮らしにくいと感じるところでは、「交通機関が利用しにくい」が48.5%と最も多く、次いで「買物や外での食事が不便」が34.7%、「公共施設が利用しにくい」が32.5%となっています。

障がい別でみると、「身体」「その他難病」では、「交通機関が利用しにくい」が5割を超えています。

単位：％

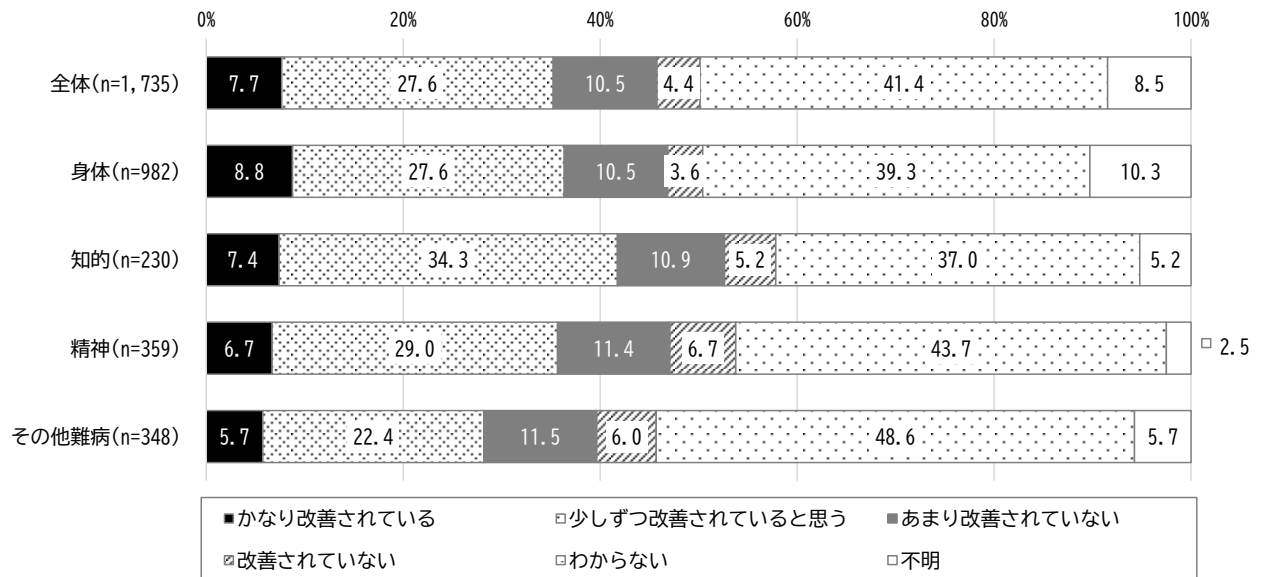
	地域住民の理解や協力が ない	公共施設が利用しに くい	福祉施設・医療機関が 利用しにくい	交通機関が利用しに くい	段差や道幅の問題で 外出しにくい	買物や外での食事が 不便	在宅サービスが少 ない
全体(n=412)	15.8	32.5	25.0	48.5	27.2	34.7	10.4
身体(n=220)	10.0	34.1	22.7	52.3	35.9	39.1	12.3
知的(n=66)	27.3	24.2	34.8	33.3	19.7	15.2	16.7
精神(n=87)	26.4	31.0	29.9	41.4	13.8	34.5	8.0
その他難病(n=99)	15.2	33.3	18.2	53.5	23.2	37.4	8.1
	リハビリ施設が少 ない	通所できる施設が 少ない	相談できる施設が 少ない	障がいのある方の 働く場所が少ない	生活費や医療費など にお金がかかる	その他	不明
全体(n=412)	18.4	23.5	24.5	29.1	31.6	9.2	2.2
身体(n=220)	21.8	15.9	18.2	15.9	28.2	8.6	1.8
知的(n=66)	21.2	60.6	42.4	66.7	10.6	12.1	1.5
精神(n=87)	10.3	24.1	35.6	44.8	50.6	13.8	1.1
その他難病(n=99)	22.2	22.2	21.2	23.2	37.4	7.1	3.0
						1位	2位

問 54 およそ5～10年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは改善されていると思いますか。(○は1つ)

行政の取り組みは改善されていると思うかについては、「かなり改善されている」「少しずつ改善されていると思う」を合わせた『改善されている』(以下同様)が35.3%となっています。

一方、「あまり改善されていない」「改善されていない」を合わせた『改善されていない』が14.9%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、『改善されている』が4割を超えています。



問 55 障害福祉サービス（ホームヘルプ、施設や福祉作業所の利用など）を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

障害福祉サービス（ホームヘルプ、施設や福祉作業所の利用など）を利用しやすくするために、必要なことについては、「どのようなサービスがあるのか詳しい情報を知りたい」が46.1%と最も多く、次いで「申請や手続きの方法をわかりやすくしてほしい」が36.4%、「必要なときにすぐに利用できるようにしてほしい」が30.7%となっています。

障がい別でみると、「知的」では、「必要なときにすぐに利用できるようにしてほしい」が46.1%となっています。

単位：％

	かどの 詳しい 情報サ ービス を知り たいの	や申 す請 くや 手続 きし の方 法を わか り	情障 報が をい の状 態に 応じ たい 方法 で	バ自 イ分 スに 適切 なサ ービ スを アド	る必 要な とき にす ぐに 利用 でき い	しサ ービ スの 回数 や時 間を 増や し	受身 け近 らな 場所 によ う通 に所 しサ ービ スが
全体(n=1,735)	46.1	36.4	26.9	30.1	30.7	9.2	15.8
身体(n=982)	44.6	32.1	24.0	24.5	27.5	8.8	14.1
知的(n=230)	49.6	42.6	37.0	37.4	46.1	11.7	30.4
精神(n=359)	53.5	49.9	37.6	46.2	33.4	10.3	16.4
その他難病(n=348)	50.3	44.8	26.7	37.1	32.5	9.2	14.4
	識施 を設 向上 の職 員な ど、 技術・ 知	をサ ービ ス増 やし て提 供事 業所 など の数	てサ ービ スの 費用 負担 を軽 減し	が自 分に 合っ た必 要な サー ビス	そ 他	特 に ない	不 明
全体(n=1,735)	10.3	12.5	18.8	7.4	3.2	14.3	12.1
身体(n=982)	7.8	10.6	16.2	6.2	3.0	15.2	15.2
知的(n=230)	19.6	28.7	21.7	7.8	4.8	10.9	7.0
精神(n=359)	11.7	13.1	23.1	12.5	3.3	12.5	4.2
その他難病(n=348)	12.1	10.1	25.0	7.5	4.0	13.5	7.8
						1位	2位

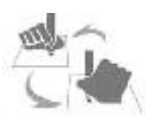
問 56 次の①～⑭の項目で、マークの意味を知っているものについて、記入欄に○をご記入ください。また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見をご記入ください。

マークの意味を知っているものについては、「①障害者のための国際シンボルマーク」が75.8%と最も多く、次いで「②身体障害者標識（身体障害者マーク）」が52.2%、「⑪ヘルプマーク」が51.1%、「④盲人のための国際シンボルマーク」が48.2%となっています。

障がい別でみると、すべての障がいでは「①障害者のための国際シンボルマーク」が最も多くなっています。

単位：％

	① 障害者のための国際シンボルマーク	② 身体障害者標識（身体障害者マーク）	③ 聴覚障害者標識	④ 盲人のための国際シンボルマーク	⑤ 耳マーク	⑥ ヒアリンググループマーク	⑦ ほじょ犬マーク	⑧ オストメイトマーク
全体(n=1,735)	75.8	52.2	23.2	48.2	14.3	3.7	41.2	25.9
身体(n=982)	75.6	55.8	22.2	48.4	12.8	3.8	36.6	22.9
知的(n=230)	79.6	51.7	26.1	47.0	13.0	4.8	48.3	30.9
精神(n=359)	75.5	44.0	27.9	47.9	21.2	5.0	48.7	33.1
その他難病(n=348)	81.6	56.3	26.7	54.0	17.5	3.4	48.3	30.2
	⑨ ハート・プラスマーク	⑩ 普及啓発シンボルマーク	⑪ ヘルプマーク	⑫ 手話マーク	⑬ 筆談マーク	⑭ 障害者雇用支援マーク	不明	
全体(n=1,735)	17.9	5.3	51.1	12.3	7.0	10.7	15.6	
身体(n=982)	20.0	4.8	42.5	12.3	7.1	9.1	17.4	
知的(n=230)	12.6	5.7	60.9	14.3	8.3	14.3	13.5	
精神(n=359)	15.3	8.4	66.9	12.5	8.1	14.2	11.4	
その他難病(n=348)	18.7	7.2	64.1	13.5	8.0	13.8	9.5	
							1位	2位

①障害者のための国際シンボルマーク	「すべての障がい者を対象」に障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表しています。	
②身体障害者標識（身体障害者マーク）	危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通	
③聴覚障害者標識	危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定	
④盲人のための国際シンボルマーク	視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。	
⑤耳マーク	聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。	
⑥ヒアリングループマーク	補聴器や人工内耳に内蔵されているTコイルを使って利用できる施設・機器であることを表示する	
⑦ほじょ犬マーク	身体障害者補助犬同伴の啓発のため、お店や公共施設等の入口などで掲示されるマークです。	
⑧オストメイトマーク	人工肛門・人工膀胱を造設している人のための設備があることを表しています。トイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。	
⑨ハート・プラスマーク	「身体内部に障がいがある方」を表しています。	
⑩「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク	白杖を頭上に掲げてSOSのシグナルを示している「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマー	
⑪ヘルプマーク	内部障がいや難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の	
⑫手話マーク	耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「手話で対応をお願いします」の意味、窓口等が掲示している場合は「手話で対応します」等の意味になります。	
⑬筆談マーク	耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「筆談で対応をお願いします」の意味、窓口等が掲示している場合は「筆談で対応します」等の意味に	
⑭障害者雇用支援マーク	障がい者の社会参加を促進し、企業と障がいのある求職者との橋渡しをする役割を担っています。	

問 57 障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために、行政にはどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(〇は5つまで)

障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりをするために行政に力を入れてほしいことについては、「何でも相談できる窓口を充実してほしい」が48.1%と最も多く、次いで「福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい」が39.5%、「在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい」が25.9%となっています。

障がい別でみると、「精神」「その他難病」では、「何でも相談できる窓口を充実してほしい」5割を超えています。

単位：％

	何でも相談できる窓口を充実してほしい	福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい	情報のバリアフリー化（手話や音声など）を推進してほしい	保護や福祉に関わる専門的な人材を増やしてほしい	在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい	医師や専門職員による訪問指導を充実してほしい	リハビリ、生活訓練などができる通所施設を充実してほしい	重度の障がいがある人のための入所施設を充実してほしい	障がいのある人に対する医療を充実してほしい	個性を伸ばす保育・教育を充実してほしい	障がいのある人の働く場所を充実してほしい
全体(n=1,735)	48.1	39.5	5.2	14.1	25.9	10.5	13.1	9.7	17.6	6.1	20.1
身体(n=982)	46.7	36.5	6.5	11.1	31.4	10.6	16.3	10.2	15.8	2.0	11.3
知的(n=230)	44.8	46.1	3.0	20.0	18.7	4.3	11.3	21.3	17.8	20.4	42.6
精神(n=359)	54.3	45.1	4.2	21.2	18.9	10.0	7.0	4.2	24.2	9.5	38.2
その他難病(n=348)	51.1	44.8	2.6	14.1	23.6	12.4	11.5	10.1	20.1	6.6	20.1
不明(n=48)	41.7	29.2	10.4	18.8	25.0	22.9	18.8	14.6	20.8	8.3	10.4
	障がいのある人が集まり情報交換できる場を充実してほしい	電車やバスなどの公共交通機関のバリアフリー化を推進してほしい	道路・建物などのバリアフリー化を推進してほしい	利用しやすい公共施設の整備をしてほしい	グループホームの整備など、生活の場を充実してほしい	障がい者スポーツ教室などを充実してほしい	障がいのある人でも、ない人と一緒に通える文化教室などを充実してほしい	障がいのある人でも、ない人と一緒に楽しめるスポーツ教室などを充実してほしい	差別や偏見をなくするための教育や広報活動を充実してほしい	その他	不明
全体(n=1,735)	7.9	14.9	15.6	11.8	9.2	4.4	5.1	5.8	16.3	3.6	14.4
身体(n=982)	6.9	18.5	21.3	12.1	6.0	2.7	4.6	5.4	8.7	3.3	16.7
知的(n=230)	11.7	7.4	7.8	10.0	28.3	13.5	8.3	10.0	29.6	4.3	9.6
精神(n=359)	10.9	8.9	5.0	11.1	8.1	4.5	5.3	4.2	29.2	5.0	8.9
その他難病(n=348)	7.2	14.9	13.5	11.5	6.9	3.7	3.2	3.4	19.0	6.3	10.9
不明(n=48)	10.4	18.8	20.8	18.8	14.6	4.2	6.3	8.3	20.8	0.0	22.9
										1位	2位

問 58 蓮田市の障がい者施策について、日頃感じていることやご意見がありましたら自由に記入してください。

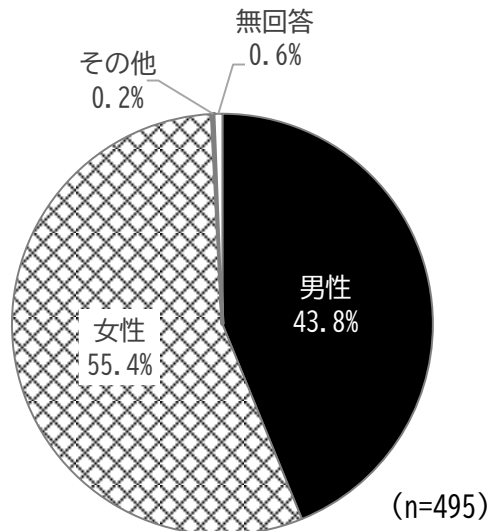
※調整中

2. その他の市民へのアンケート調査結果

1. あなたとご家族のことについておたずねします

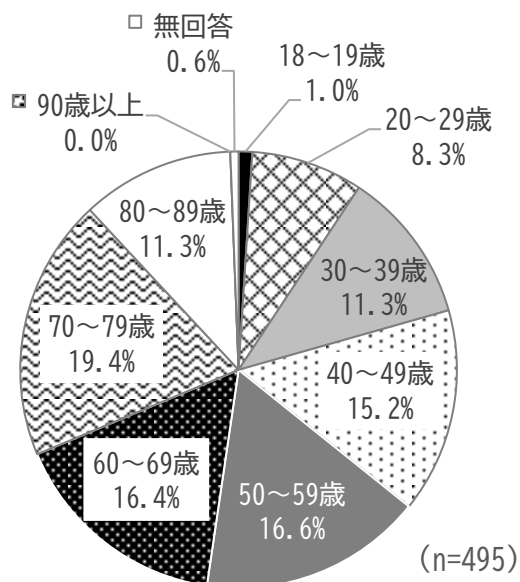
問1 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。（○は1つ）

性別については、「男性」が43.8%、「女性」が55.4%となっています。



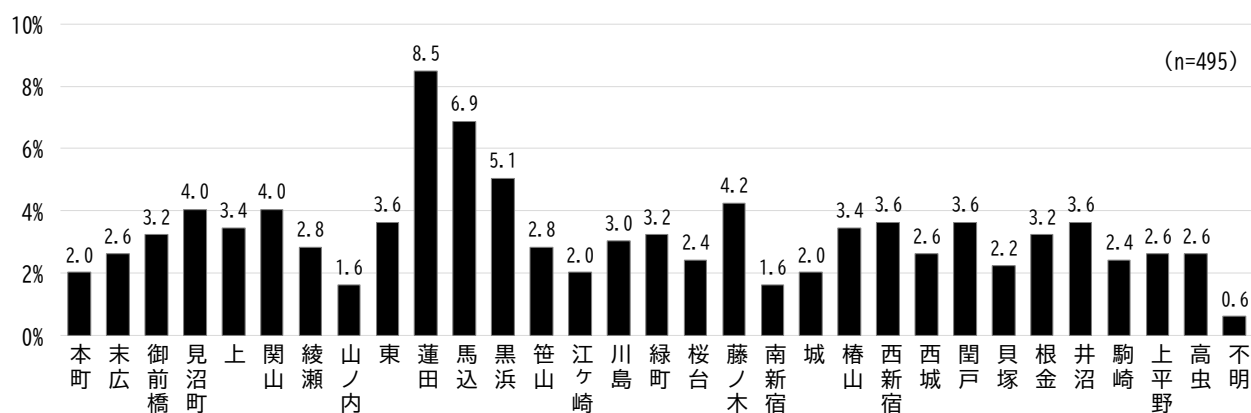
問2 年齢をお答えください。（○は1つ）

年齢については、「70～79歳」が19.4%と最も多く、次いで「50～59歳」が16.6%、「60～69歳」が16.4%となっています。



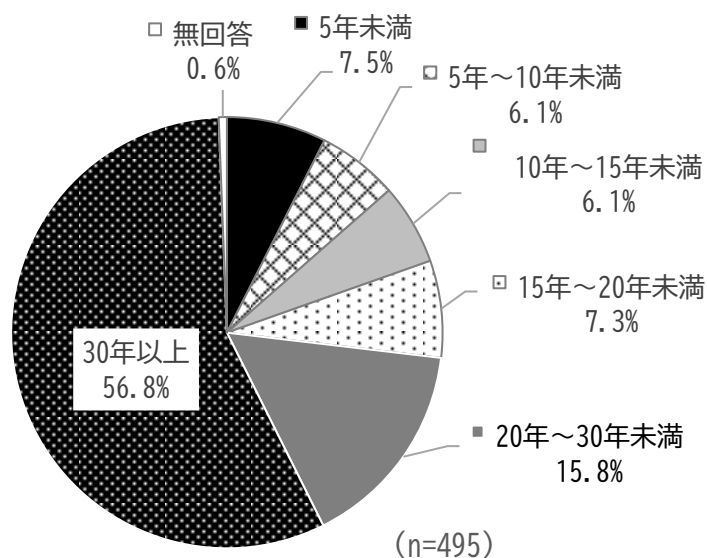
問3 お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

お住まいの地区については、「蓮田」が8.5%と最も多く、次いで「馬込」が6.9%、「黒浜」が5.1%となっています。



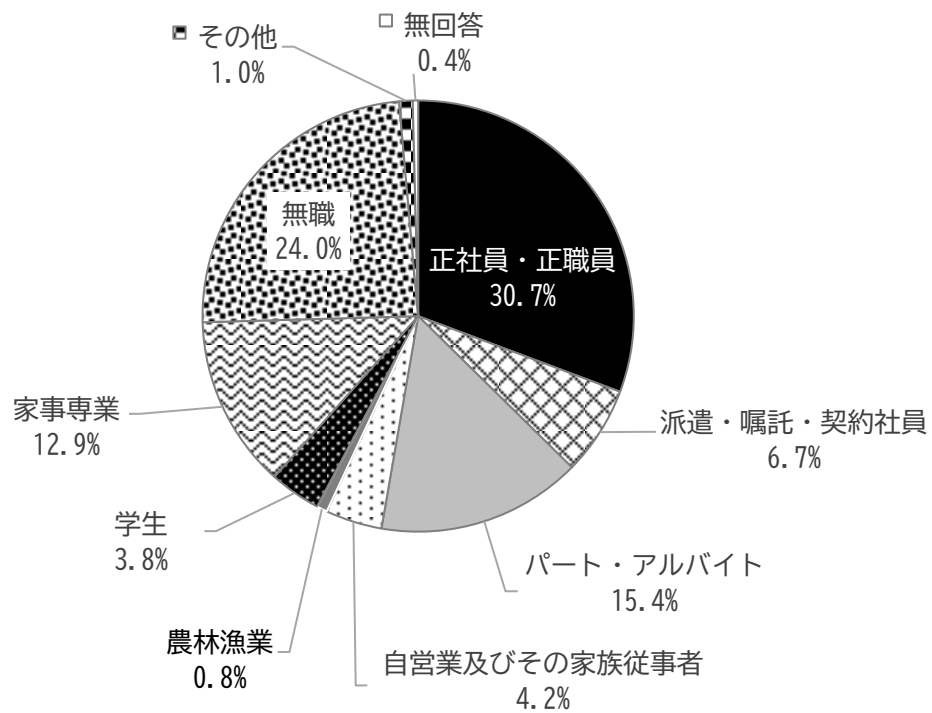
問4 蓮田市にお住まいの通算年数をお答えください。(〇は1つ)

蓮田市の居住年数については、「30年以上」が56.8%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が15.8%、「5年未満」が7.5%となっています。



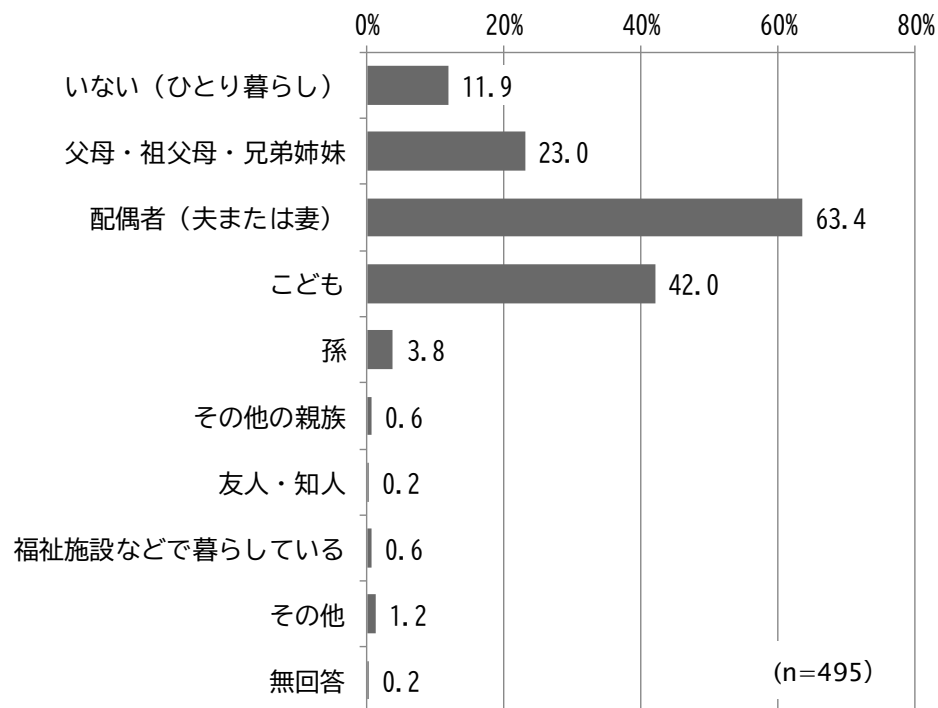
問5 現在の職業をお答えください。(○は1つ)

職業については、「正社員・正職員」が30.7%と最も多く、次いで「無職」が24.0%、「パート・アルバイト」が15.4%となっています。



問6 現在、一緒に暮らしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

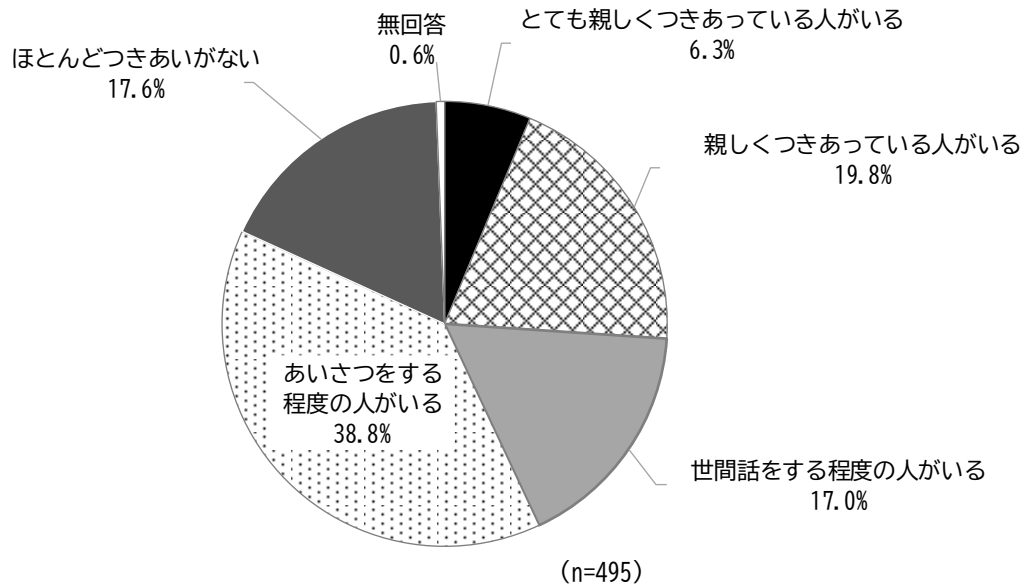
現在、一緒に暮らしている人については、「配偶者（夫または妻）」が63.4%と最も多く、次いで「こども」が42.0%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が23.0%となっています。



2. 障がいへの関心についておたずねします

問7 地域や隣近所の方々との日ごろのお付き合いは、どの程度ですか。(○は1つ)

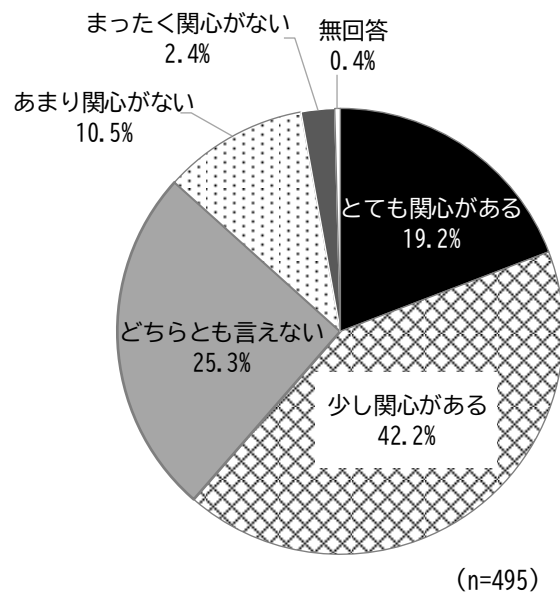
地域や隣近所の方々との日ごろのお付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がいる」が38.8%と最も多く、次いで「親しくつきあっている人がある」が19.8%、「ほとんどつきあいがいい」が17.6%となっています。



問8 あなたは障がいや障がいのある方の福祉について関心がありますか。(○は1つ)

障がいや障がいのある方の福祉への関心については、「とても関心がある」「少し関心がある」を合わせて『関心がある』が61.4%となっています。

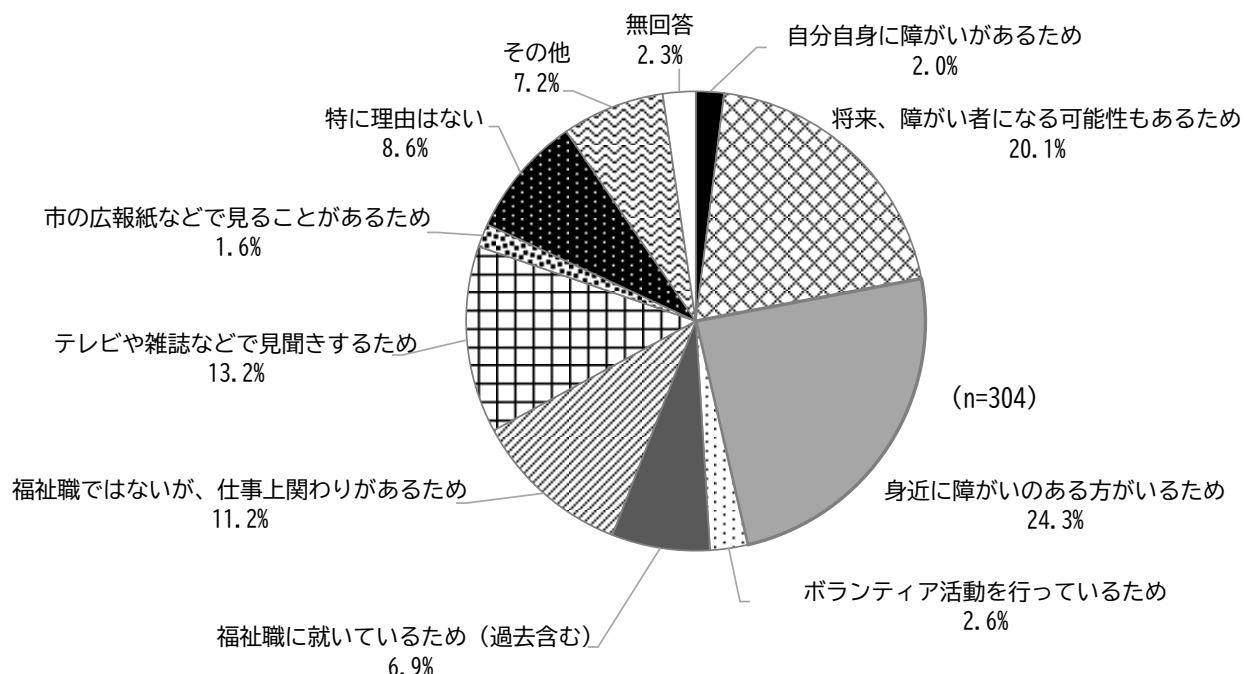
一方、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を合わせて『関心がない』が12.9%となっています。



【問8で「とても関心がある」または「少し関心がある」を回答された方】

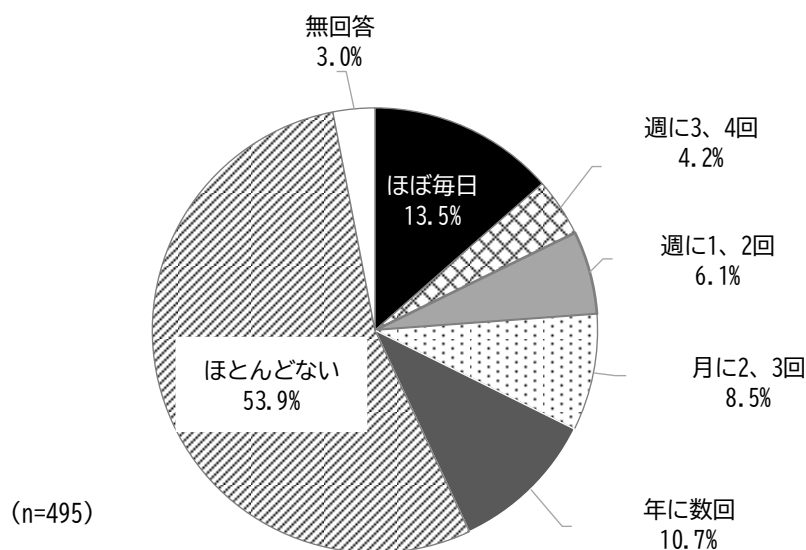
問8-1 関心がある最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

関心がある最も大きな理由については、「身近に障がいのある方がいるため」が24.3%と最も多く、次いで「将来、障がい者になる可能性もあるため」が20.1%、「テレビや雑誌などで見聞きするため」が13.2%となっています。



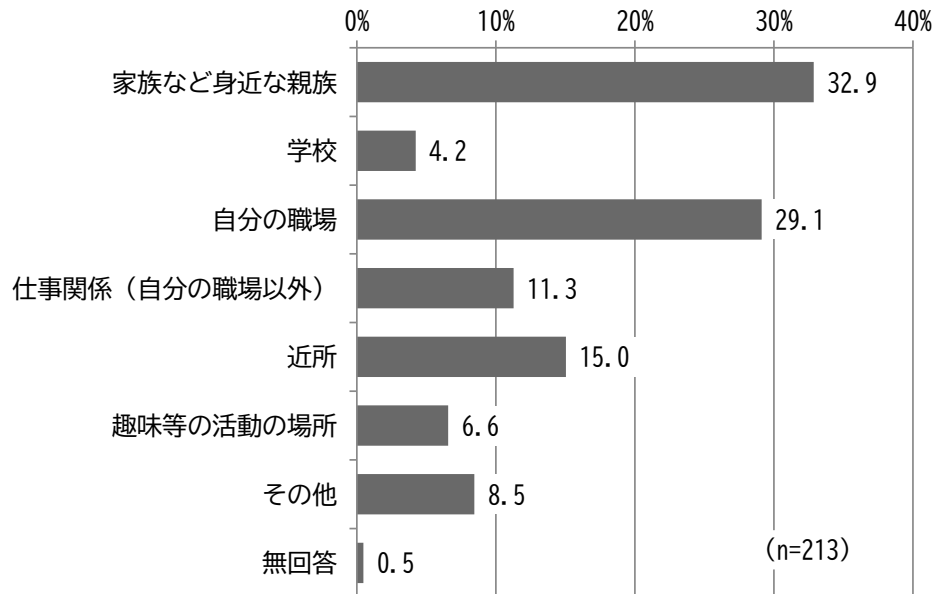
問9 あなたは障がいのある方と接する機会はどのくらいありますか。（○は1つ）

障がいのある方と接する機会の頻度については、「ほとんどない」が53.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が13.5%、「年に数回」が10.7%となっています。

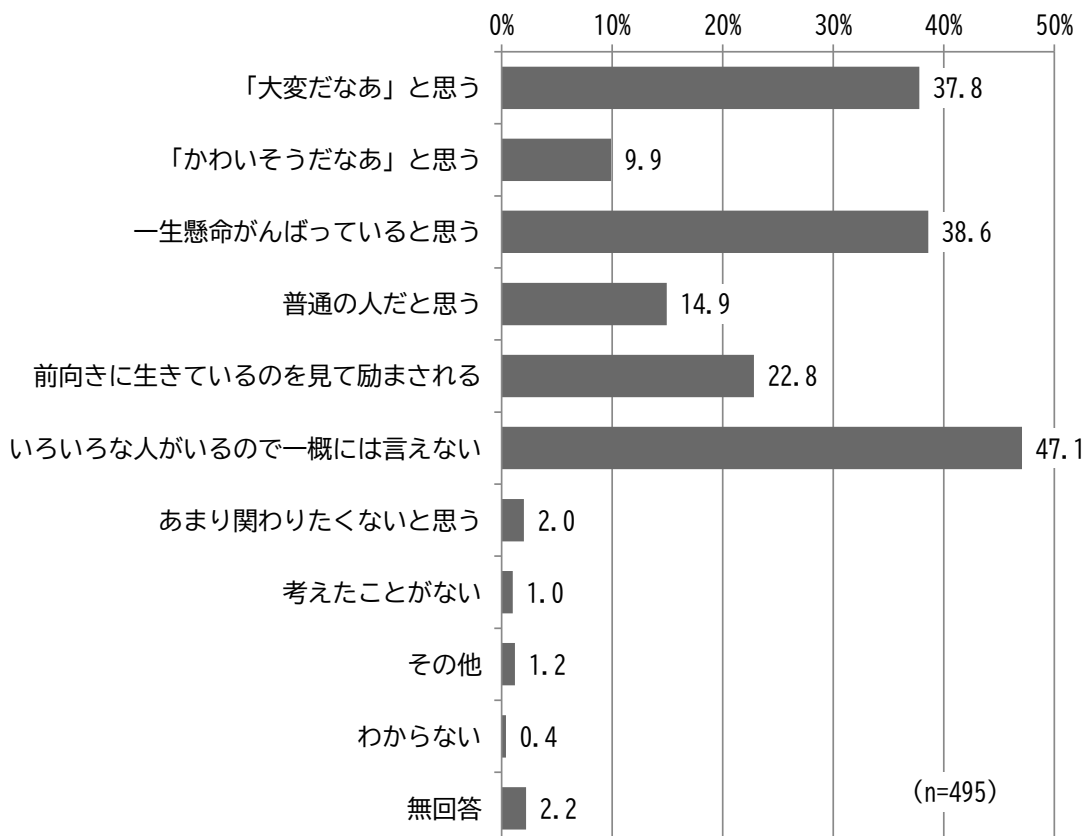


【問9で「ほぼ毎日」～「年に数回」のいずれかを回答された方】**問9-1 どういった機会ですか。(あてはまるものすべてに○)**

障がいのある方と接する機会の場については、「家族など身近な親族」が32.9%と最も多く、次いで「自分の職場」が29.1%、「近所」が15.0%となっています。

**問10 障がいのある方に対するあなたのイメージは、次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)**

障がいのある方に対するイメージについては、「いろいろな人がいるので一概には言えない」が47.1%と最も多く、次いで「一生懸命がんばっていると思う」が38.6%、「大変だなあ」と思う」が37.8%となっています。

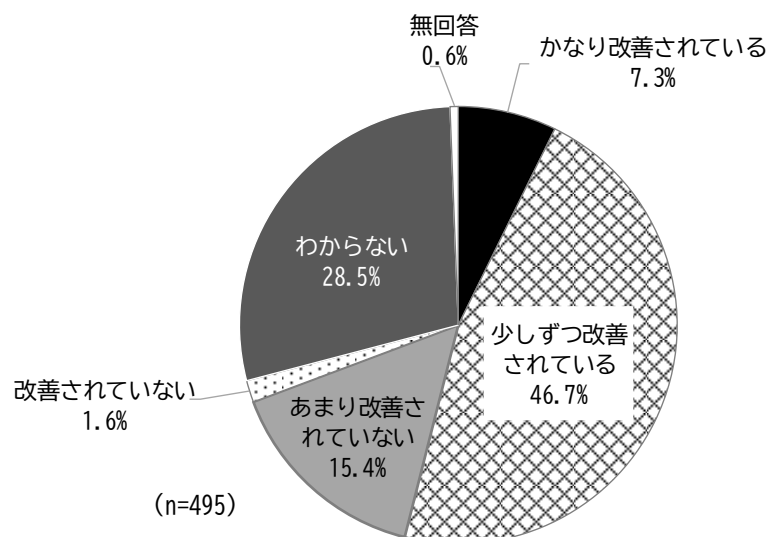


3. 障がいに対する理解についておたずねします

問11 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(○は1つ)

障がいのある方に対する差別や偏見については、「かなり改善されている」「少しずつ改善されている」を合わせた『改善されている』が54.0%となっています。

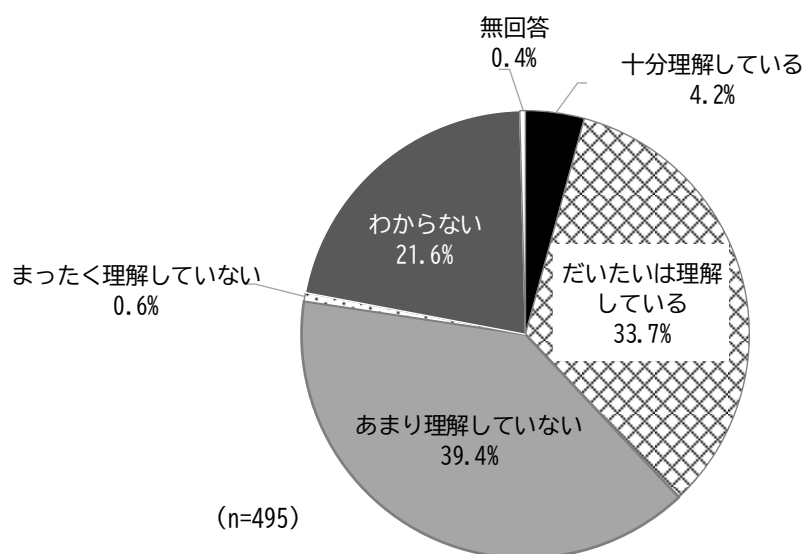
一方、「あまり改善されていない」「改善されていない」を合わせた『改善されていない』は、17.0%となっています。



問12 障がいに対するあなた自身の理解について、どのように思いますか。(○は1つ)

障がいに対する理解については、「十分理解している」「だいたい理解している」を合わせた『理解している』が37.9%となっています。

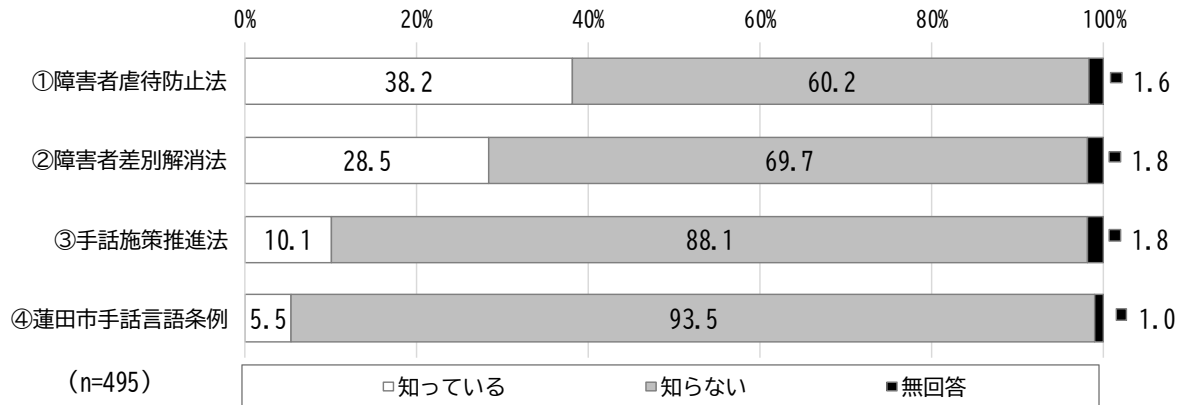
一方、「あまり理解していない」「まったく理解していない」を合わせた『理解していない』は、40.0%となっています。



問13 次の①～④の項目を知っていますか（それぞれ○は1つ）

制度・条例の認知度についての「知っている」では、「①障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）」が38.2%と多く、「②障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が28.5%となっています。

一方、「知らない」では、「④蓮田市手話言語条例（手話が言語であることを認め、手話で誰もが安心して暮らせるまちを目指す条例）」が93.5%と最も多く、「③手話施策推進法（手話に関する施策の推進に関する法律）」が88.1%となっています。



①障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）

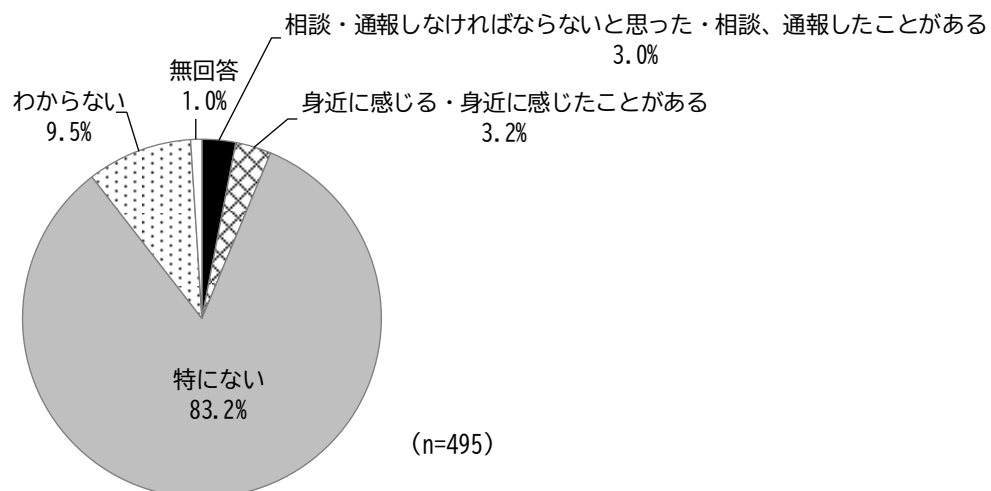
②障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

③手話施策推進法（手話に関する施策の推進に関する法律）

④蓮田市手話言語条例（手話が言語であることを認め、手話で誰もが安心して暮らせるまちを目指す条例）

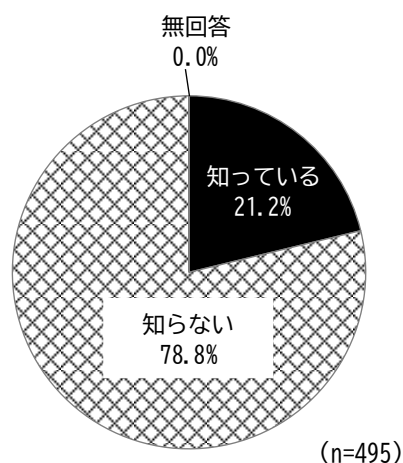
問14 あなたは、障がいのある方への虐待を相談・通報しなければならないと思ったり、身近に感じることはありますか。（○は1つ）

障がいのある方への虐待を相談・通報しなければならないと思ったり、身近に感じるがあったかについては、「特にない」が83.2%と最も多くなっていますが、感じるについては、「身近に感じる・身近に感じたことがある」が3.2%、次いで「相談・通報しなければならないと思ったり」が3.0%となっています。



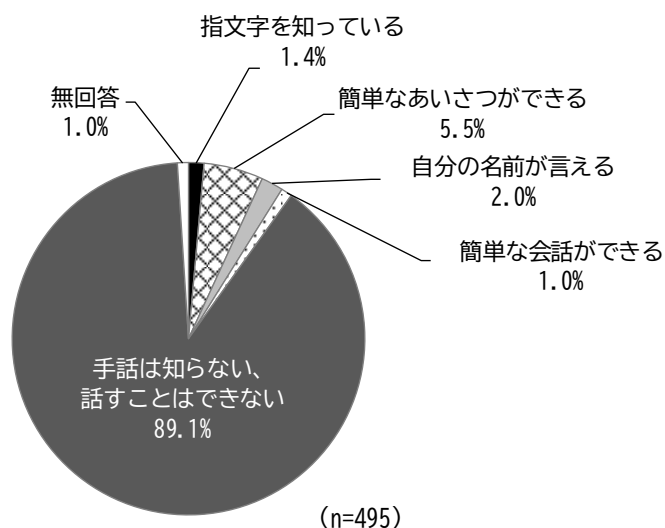
問 15 2024 年（令和 6 年）4 月 1 日から、事業者による障がいのある人への「合理的配慮の提供が義務化された」ことを知っていますか。（○は 1 つ）※合理的配慮の提供：障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

事業者による障がいのある人への「合理的配慮の提供が義務化された」ことの認知については、「知っている」が 21.2%、「知らない」が 78.8%となっています。



問 16 手話でどの程度お話ができますか。（○は 1 つ）

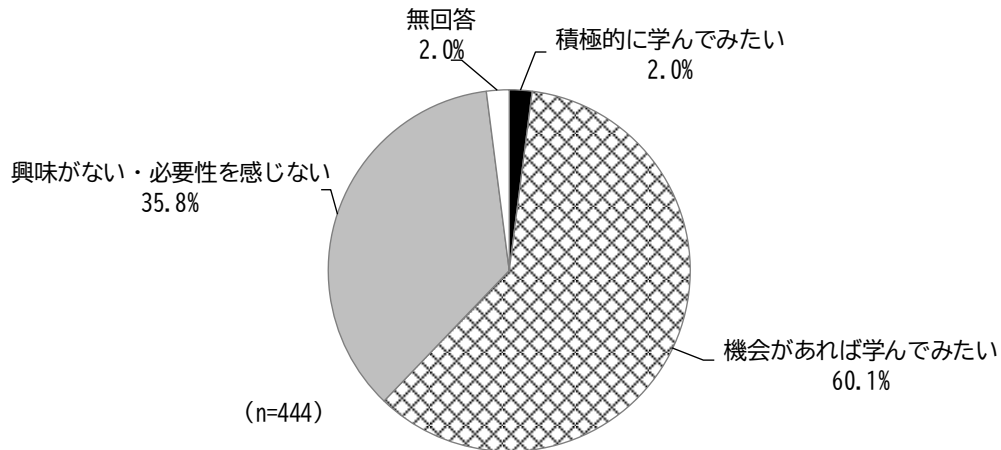
手話による会話の程度については、「手話は知らない・話すことはできない」が 89.1%と最も多く、次いで「簡単なあいさつができる」が 5.5%、「自分の名前が言える」が 2.0%となっています。



【問16で「手話は知らない、話すことはできない」を回答された方】

問16-1 手話を学んでみたいと思いますか。(○は1つ)

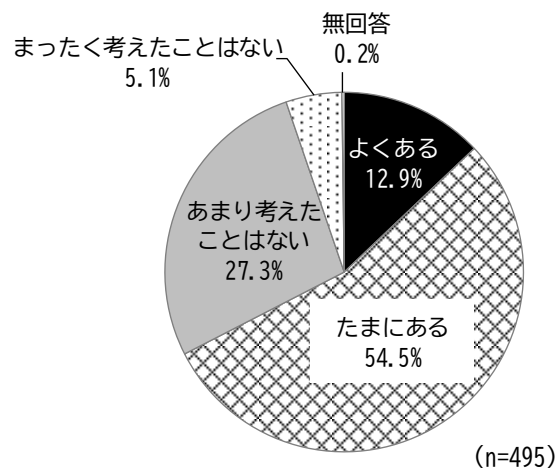
手話を学んでみたいと思うかについては、「機会があれば学んでみたい」が60.1%と最も多く、次いで「興味がない・必要性を感じない」が35.8%、「積極的に学んでみたい」が2.0%となっています。



問17 あなた自身が、病気や事故などで将来障がい者になるかもしれないと考えることがありますか。(○は1つ)

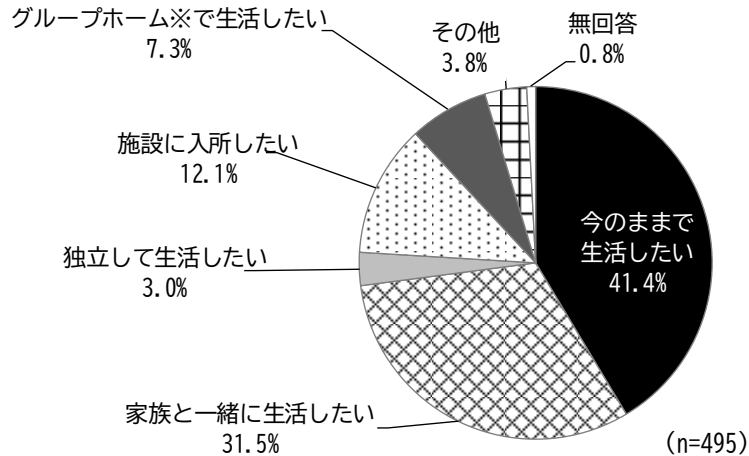
病気や事故などで将来障がい者になるかもしれないと考えることがあるかについては、「よくある」「たまにある」を合わせた『ある』が67.4%となっています。

一方、「あまり考えたことはない」「まったく考えたことはない」を合わせた『考えたことはない』は、32.4%となっています。



問 18 今後、障害者手帳を所持することになった時、あなたはどのように生活したいと思いますか。(〇は1つ)

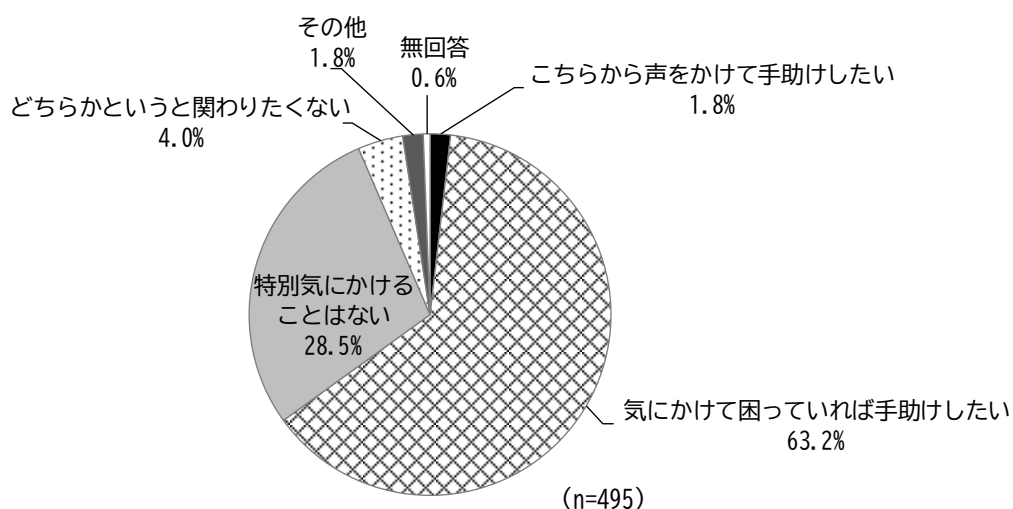
今後、障害者手帳を所持することになった時の生活については、「今のままで生活したい」が41.4%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が31.5%、「施設に入所したい」が12.1%となっています。



※グループホーム：共同生活を営む住居において、主に夜間に相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行い、地域での少人数の共同生活を支援するサービスです。

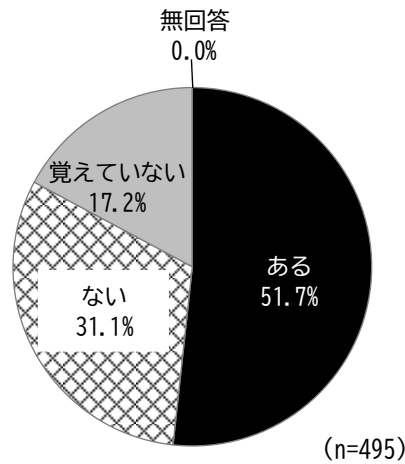
問 19 もし、あなたのすぐ近所に障がいのある方が引っ越してきた場合、または、障がい者施設ができて、障がいのある方が近くで生活されるようになったら、どう思いますか。(〇は1つ)

障がいのある方が近くで生活されるようになった時の対応については、「気にかけて困っていれば手助けしたい」が63.2%と最も多く、次いで「特別気にかけることはない」が28.5%、「どちらかというに関わりたくない」が4.0%となっています。



問20 あなたはこれまで、障がいのある方に手助けをしたことがありますか。(○は1つ)

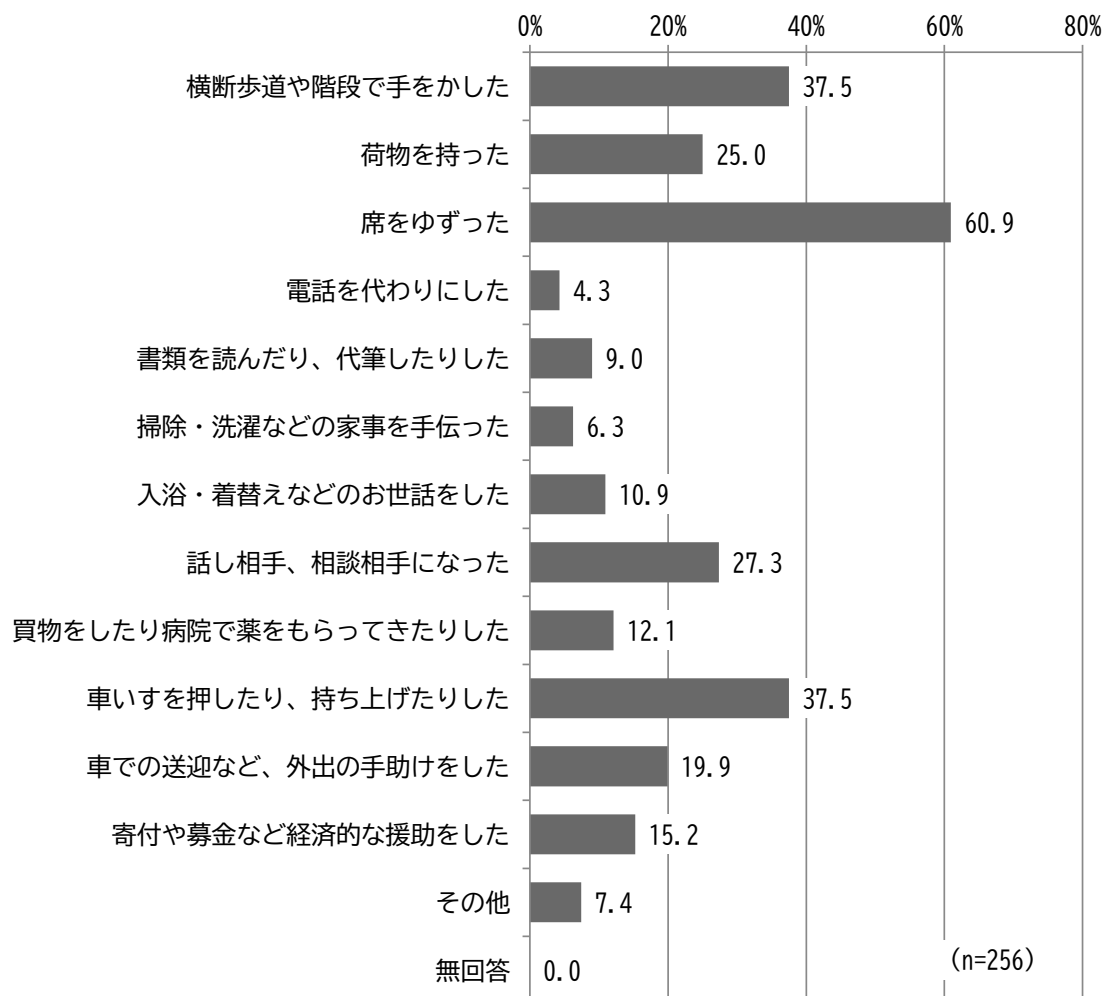
障がいのある方に手助けをしたことがあるかについては、「ある」が51.7%、「ない」が31.1%となっています。



【問20で「ある」を回答された方】

問20-1 どのような手助けでしたか。(あてはまるものすべてに○)

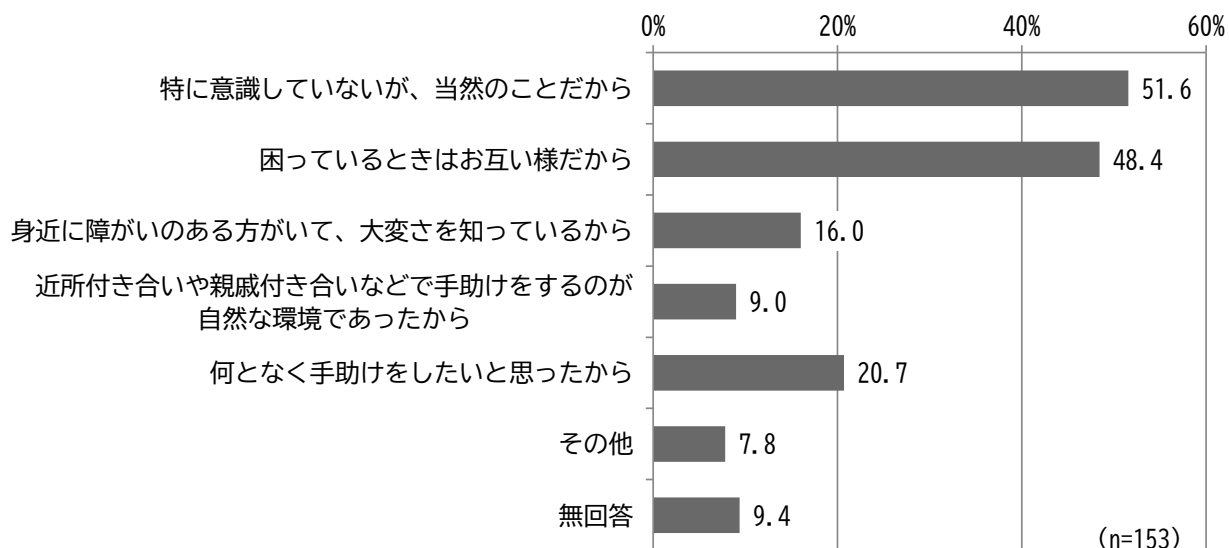
障がいのある方に手助けをした内容については、「席をゆずった」が60.9%と最も多く、次いで「横断歩道や階段で手をかした」「車いすを押したり、持ち上げたりした」がともに37.5%となっています。



【問20で「ある」を回答された方】

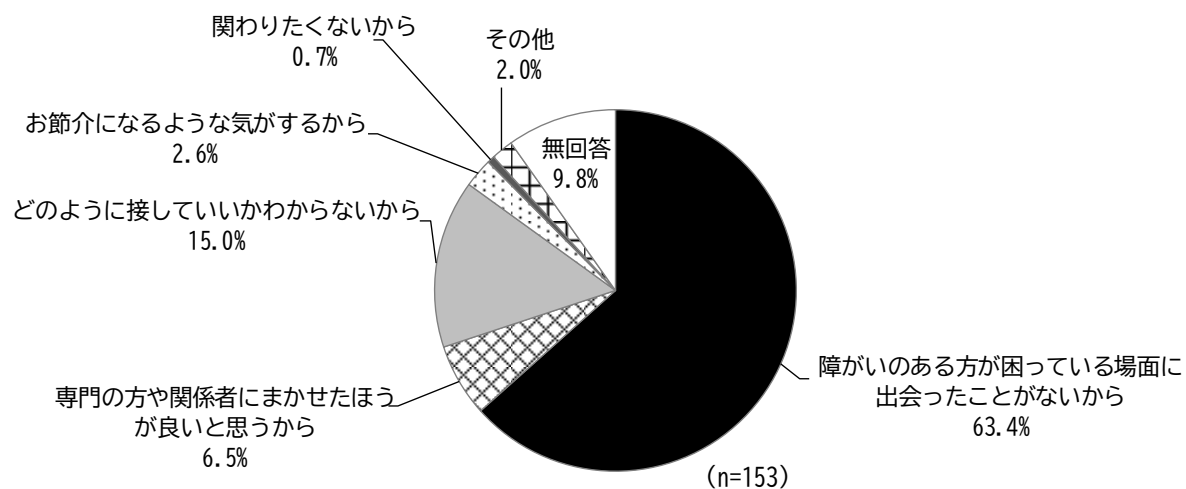
問20-2 どのような理由で手助けしましたか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方に手助けをした理由については、「特に意識していないが、当然のことだから」が51.6%と最も多く、次いで「困っているときはお互い様だから」が48.4%、「何となく手助けをしたいと思ったから」が20.7%となっています。

**【問20で「ない」を回答された方】**

問20-3 手助けをしたことがない主な理由は何ですか。(○は1つ)

障がいのある方に手助けをしたことがない理由については、「障がいのある方が困っている場面に会ったことがないから」が63.4%と最も多く、次いで「どのように接していいかわからないから」が15.0%、「専門の方や関係者にまかせたほうが良いと思うから」が6.5%となっています。

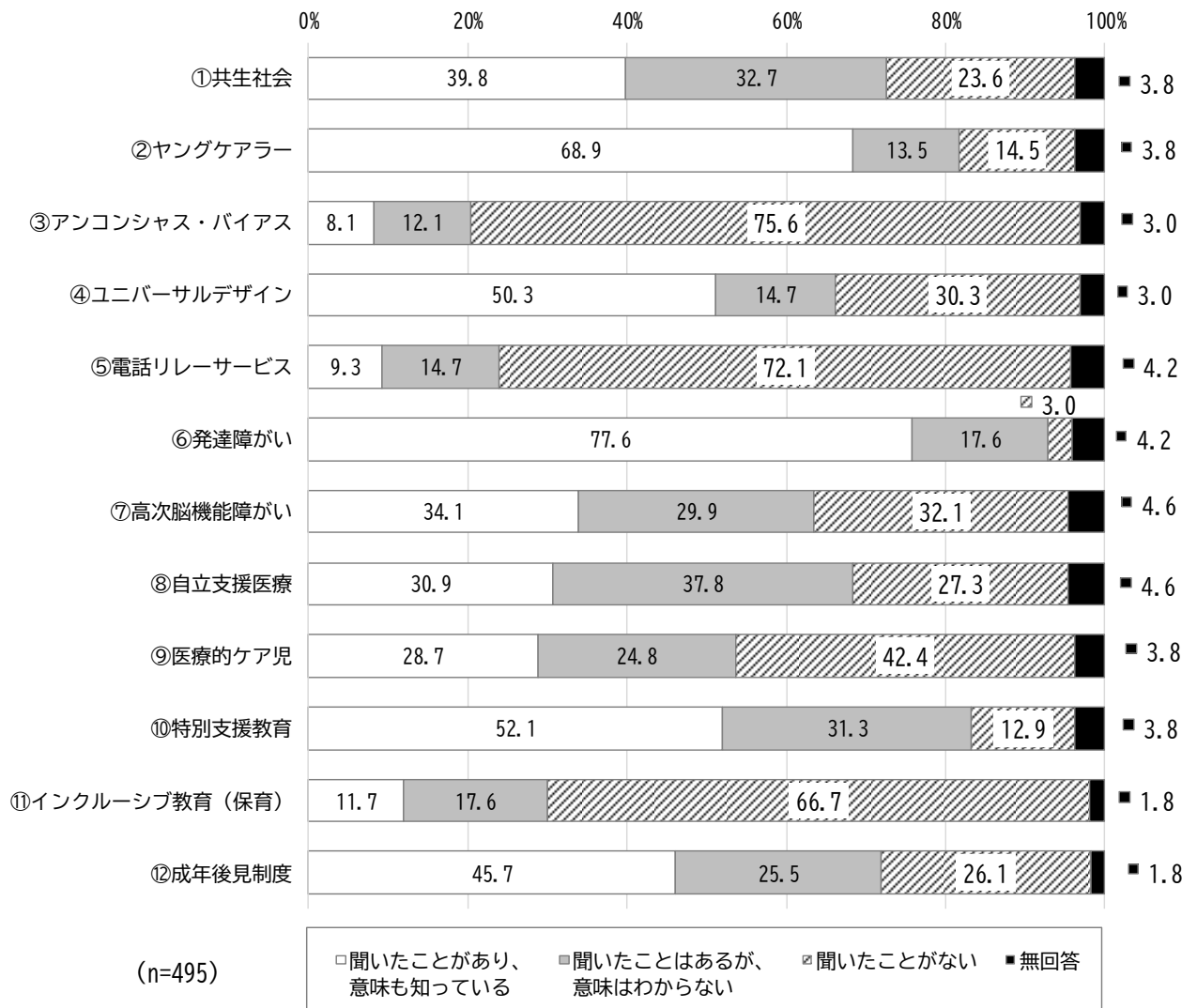


4. 障がいの周知啓発についておたずねします

問 21 次の①～⑫の項目で、それぞれあてはまる番号を選んでください。(それぞれに○は1つ)

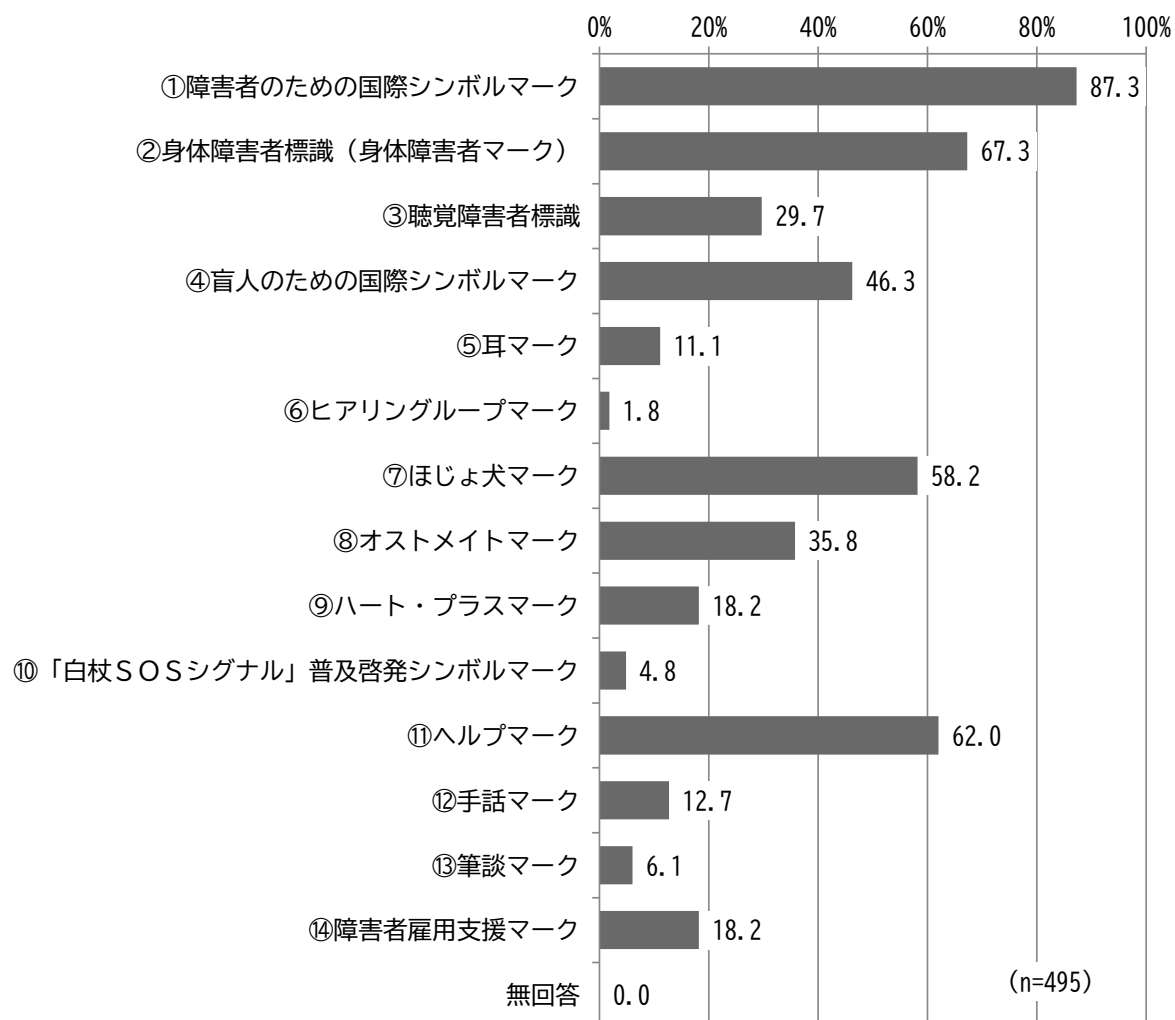
障がいに関する周知啓発の認知状況について、「聞いたことがあり、意味も知っている」「聞いたことはあるが、意味はわからない」を合わせた『知っている』では、「⑥発達障がい」が 95.2%と最も多く、次いで「⑩特別支援教育」が 83.4%、「②ヤングケアラー」が 82.4% となっている。

一方で、「聞いたことがない」では、「③アンコンシャス・バイアス」が 75.6%と最も多く、次いで「⑤電話リレーサービス」が 72.1%、「⑪インクルーシブ教育（保育）」が 66.7% となっています。



問 22 次の①～⑭の項目で、マークの意味を知っているものについて、記入欄に○をご記入ください。また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見をご記入ください。

マークの意味を知っているものについては、「①障害者のための国際シンボルマーク」が 87.3%と最も多く、次いで「②身体障害者標識（身体障害者マーク）」が 67.3%、「⑪ヘルプマーク」が 62.0%となっています。

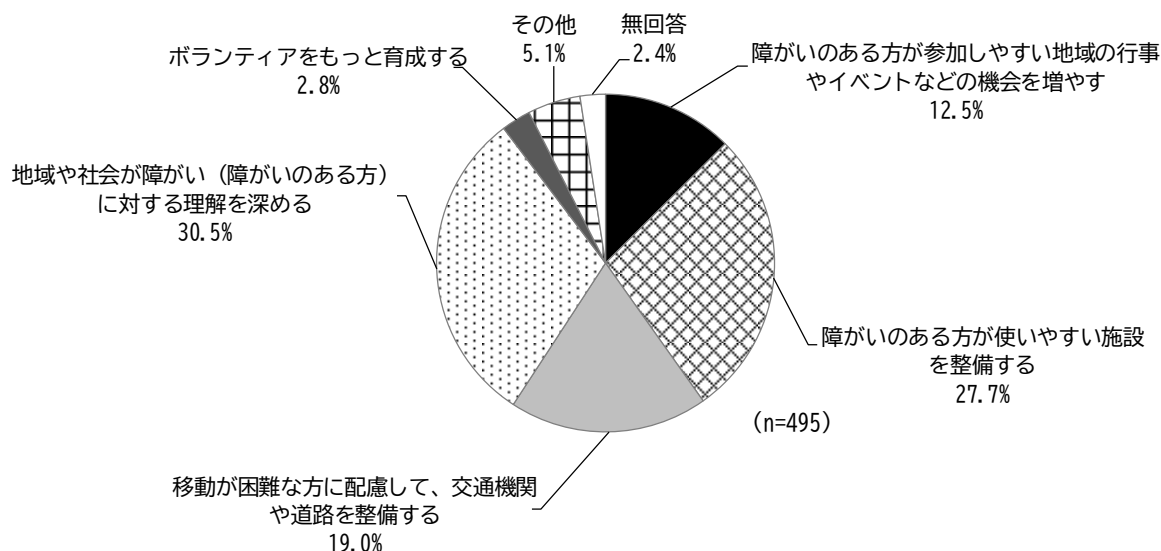


①障害者のための 国際シンボルマーク	「すべての障がい者を対象」に障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表しています。	
②身体障害者標識 (身体障害者マーク)	危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通	
③聴覚障害者標識	危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定	
④盲人のための国際 シンボルマーク	視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。	
⑤耳マーク	聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。	
⑥ヒアリングループマーク	補聴器や人工内耳に内蔵されているTコイルを使って利用できる施設・機器であることを表示する	
⑦ほじょ犬マーク	身体障害者補助犬同伴の啓発のため、お店や公共施設等の入口などで掲示されるマークです。	
⑧オストメイトマーク	人工肛門・人工膀胱を造設している人のための設備があることを表しています。トイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。	
⑨ハート・プラスマーク	「身体内部に障がいがある方」を表しています。	
⑩「白杖SOSシグナル」 普及啓発シンボルマーク	白杖を頭上に掲げてSOSのシグナルを示している「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマーク	
⑪ヘルプマーク	内部障がいや難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の	
⑫手話マーク	耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「手話で対応をお願いします」の意味、窓口等が掲示している場合は「手話で対応します」等の意味になります。	
⑬筆談マーク	耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「筆談で対応をお願いします」の意味、窓口等が掲示している場合は「筆談で対応します」等の意味に	
⑭障害者雇用支援マーク	障がい者の社会参加を促進し、企業と障がいのある求職者との橋渡しをする役割を担っています。	

5. 社会参加・ボランティアについておたずねします

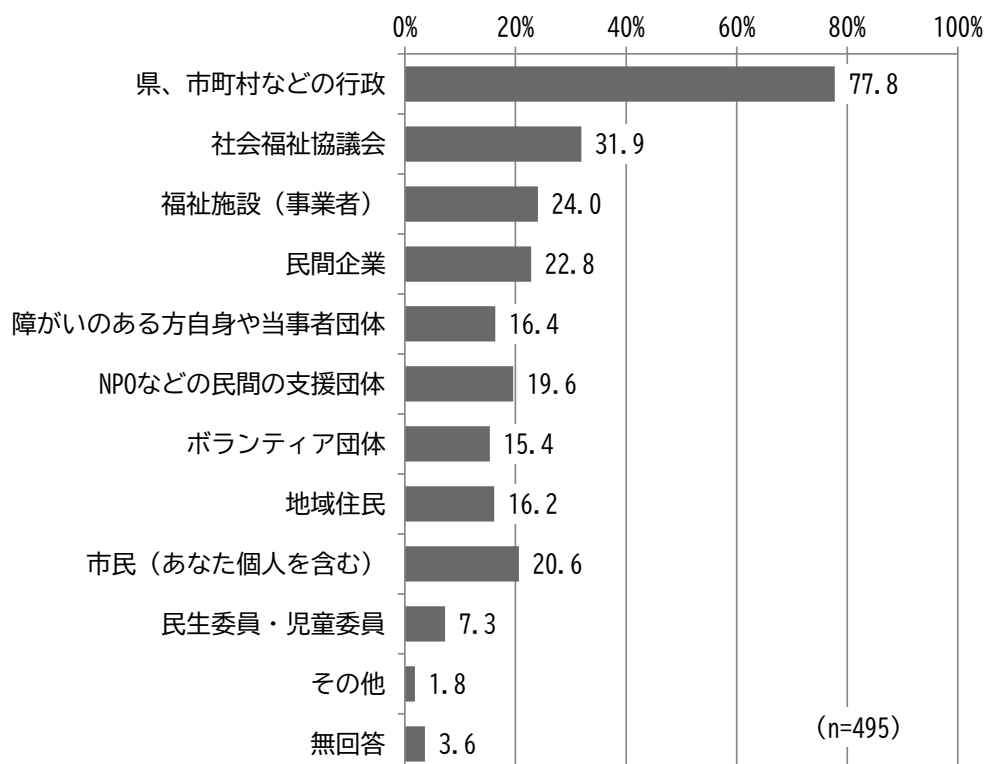
問 23 障がいのある方が社会に積極的に参加するために最も重要だと思うことはどれですか。(〇は1つ)

障がいのある方が社会に積極的に参加するために最も重要だと思うことについては、「地域や社会が障がい（障がいのある方）に対する理解を深める」が30.5%と最も多く、次いで「障がいのある方が使いやすい施設を整備する」が27.7%、「移動が困難な方に配慮して、交通機関や道路を整備する」が19.0%となっています。



問 24 障がいのある方の社会参加を進めるために、もっと活動・取り組みを充実してほしいと思う組織・主体はどこですか。(あてはまるものすべてに〇)

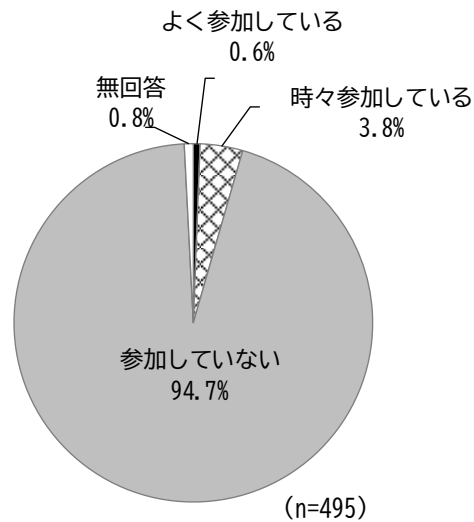
障がいのある方の社会参加を進めるために、もっと活動・取り組みを充実してほしいと思う組織・主体については、「県、市町村などの行政」が77.8%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が31.9%、「福祉施設（事業者）」が24.0%となっています。



問 25 あなたは、障がいのある方に対するボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

障がいのある方に対するボランティア活動への参加については、「よく参加している」「時々参加している」を合わせた『参加している』が4.4%となっています。

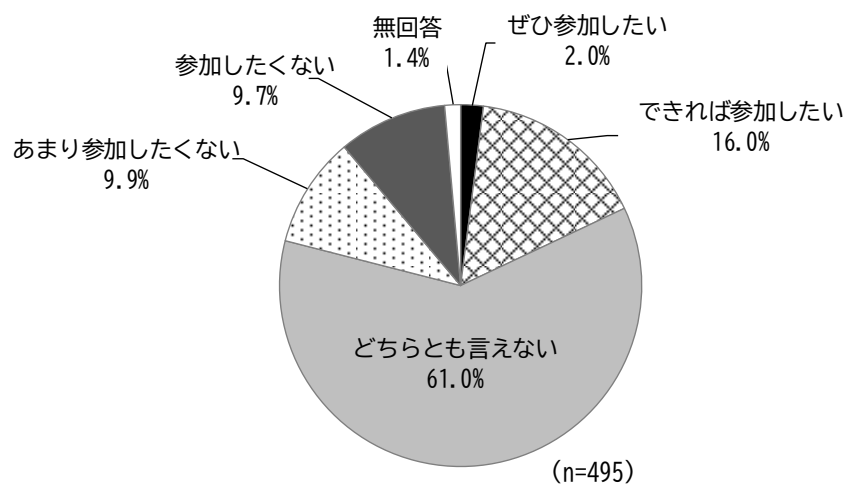
一方、「参加していない」が94.7%となっています。



問 26 今後、障がいのある方に対するボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

今後、障がいのある方に対するボランティア活動に参加してみたいと思うかについては、「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」を合わせた『参加したい』が18.0%となっています。

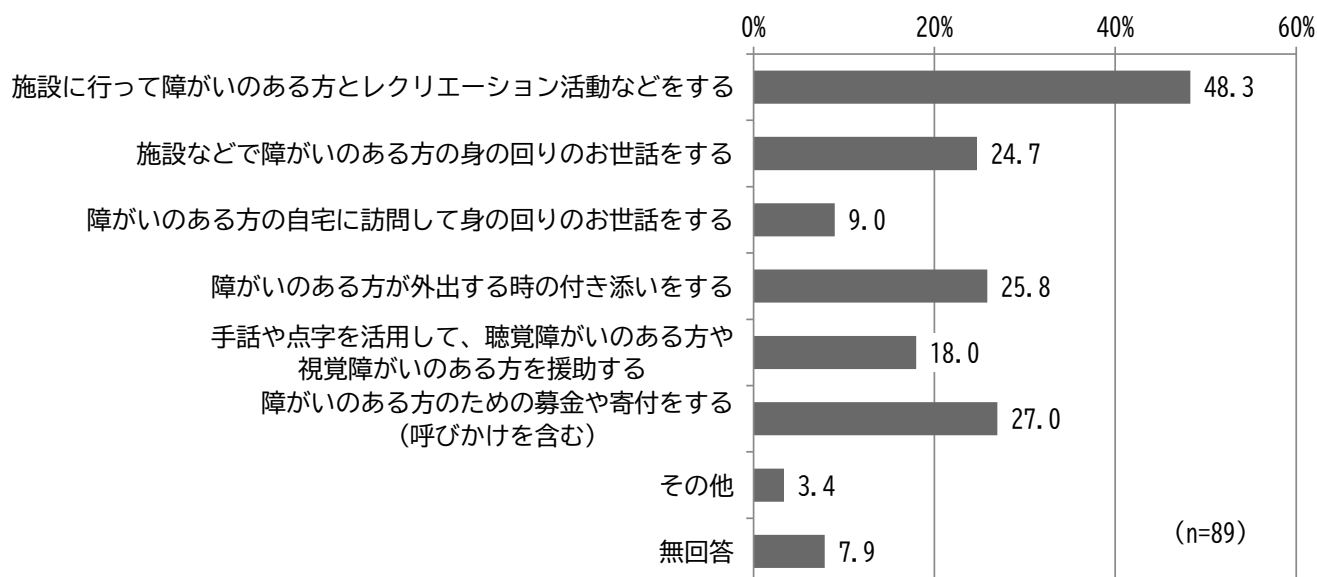
一方、「あまり参加したくない」「参加したくない」を合わせた『参加したくない』は、19.6%となっています。



【問26で「ぜひ参加したい」または「できれば参加したい」を回答された方】

問26-1 具体的にどのような活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

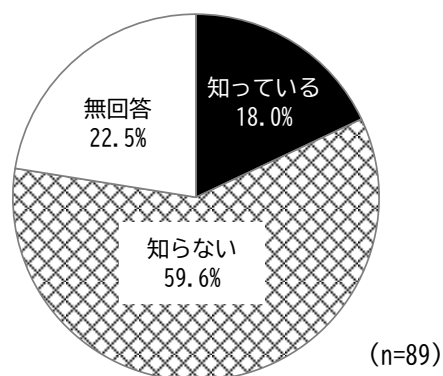
参加したい活動については、「施設に行って障がいのある方とレクリエーション活動などをする」が48.3%と最も多く、次いで「障がいのある方のための募金や寄付をする（呼びかけを含む）」が27.0%、「障がいのある方が外出する時の付き添いをする」が25.8%となっています。



【問26で「ぜひ参加したい」または「できれば参加したい」を回答された方】

問26-2 ボランティアへの参加方法は知っていますか。(○は1つ)

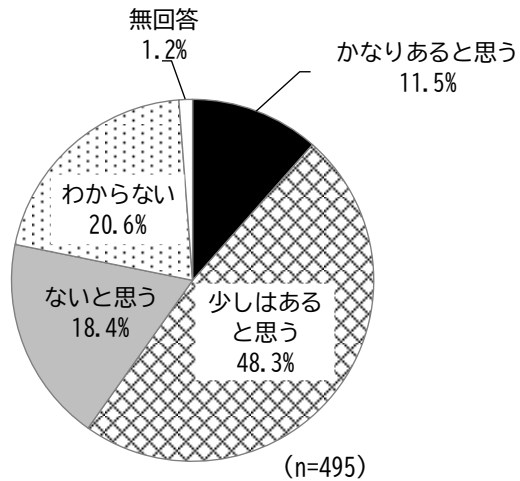
ボランティアへの参加方法を知っているかについては、「知っている」が18.0%、「知らない」が59.6%となっています。



6. 障がいのある方の人権についておたずねします

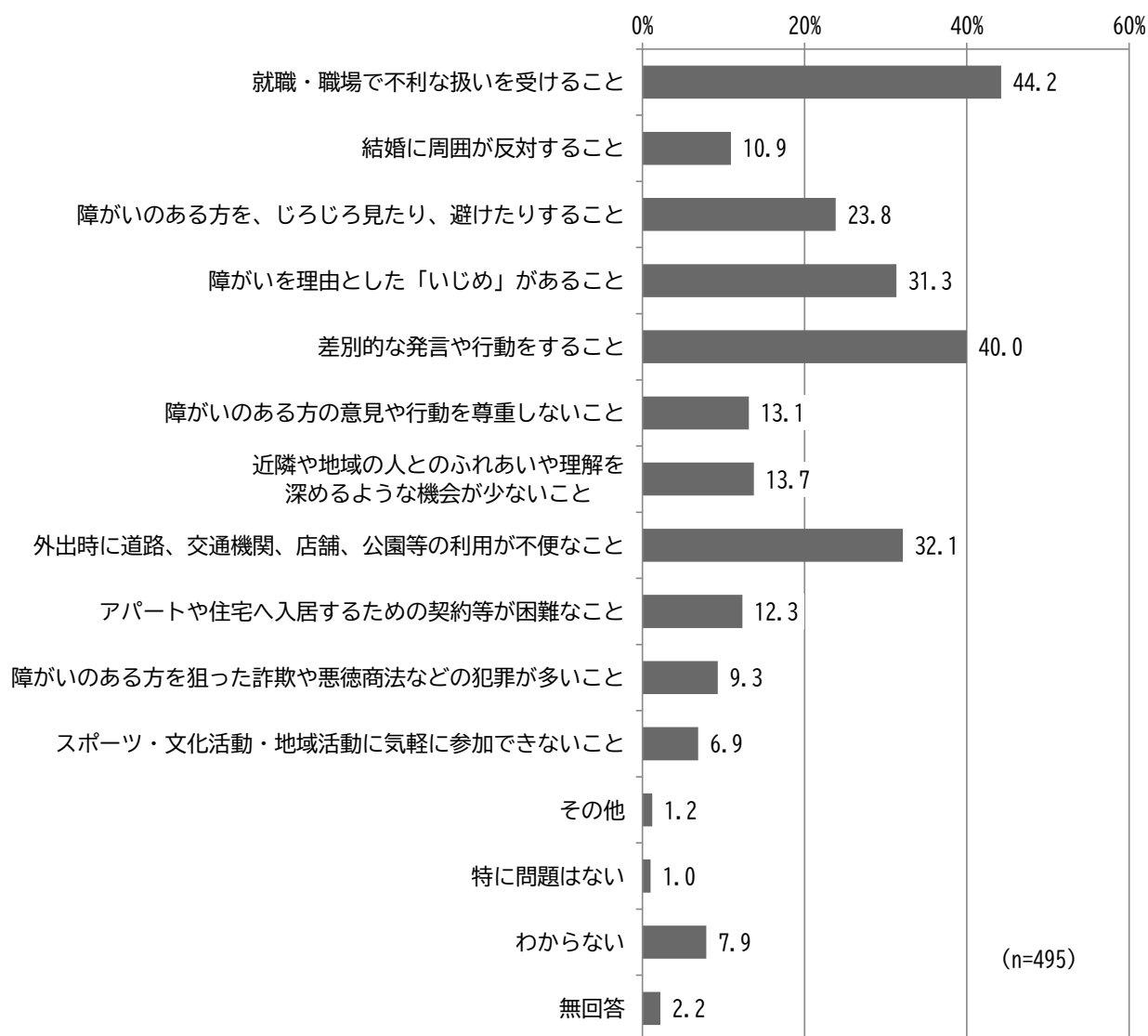
問 27 あなたの周りには、障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思うかについては、「かなりあると思う」「少しはあると思う」を合わせた『ある』が59.8%となっています。
一方、「ないと思う」は18.4%となっています。



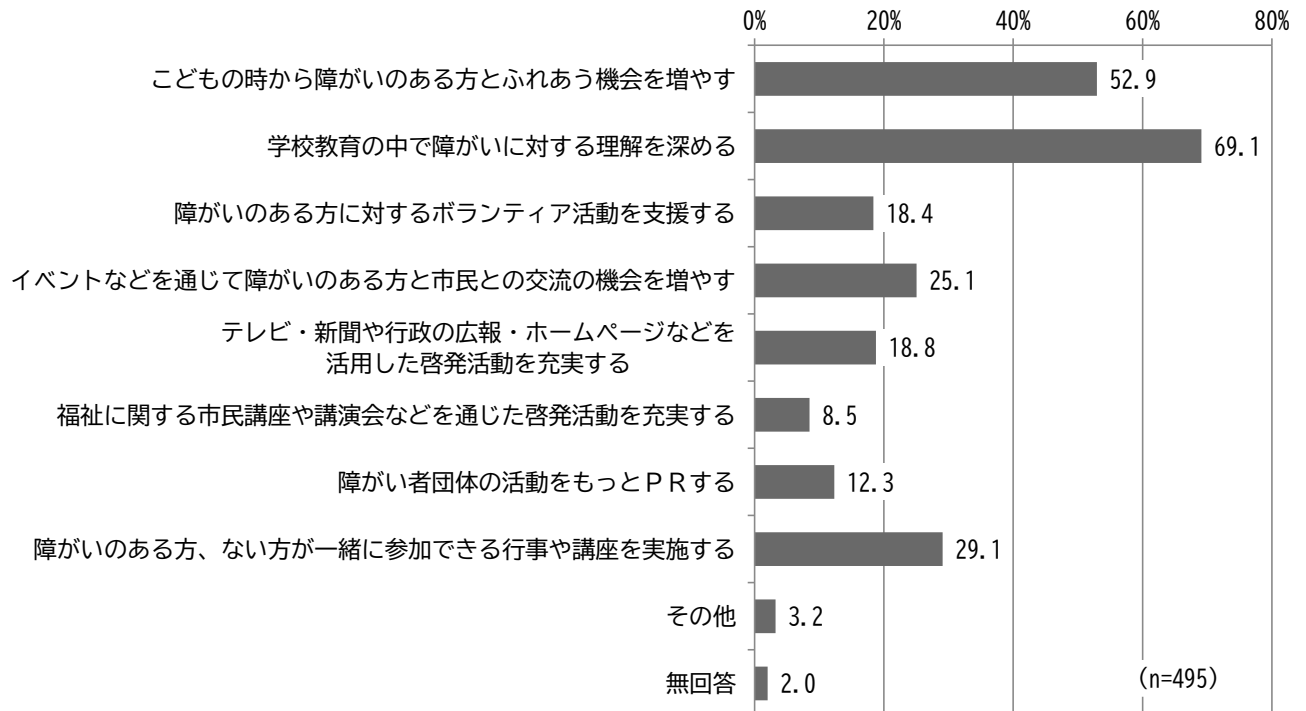
問 28 障がいのある方が地域で生活するとき、特に人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

障がいのある方が地域で生活するとき、特に人権上問題があると思うことについては、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が44.2%と最も多く、次いで「差別的な発言や行動をすること」が40.0%、「外出時に道路、交通機関、店舗、公園等の利用が不便なこと」が32.1%となっています。



問 29 障がいのある方に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

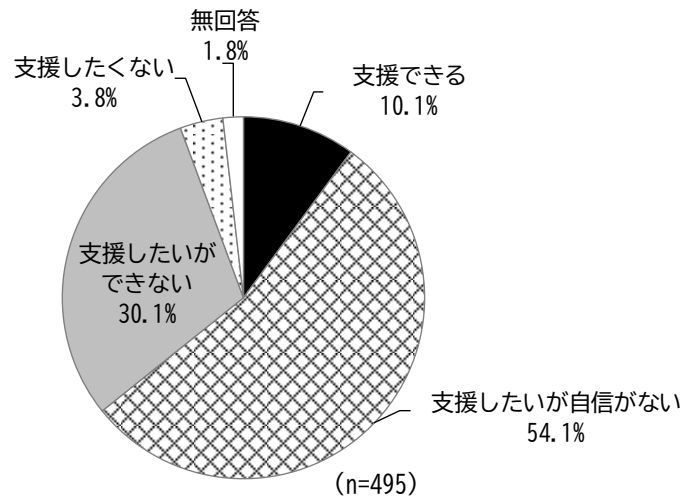
障がいのある方に対する理解を深めるために、今後、必要だと思う取り組みについては、「学校教育の中で障がいに対する理解を深める」が69.1%と最も多く、次いで「こどもの時から障がいのある方とふれあう機会を増やす」が52.9%、「障がいのある方、ない方が一緒に参加できる行事や講座を実施する」が29.1%となっています。



7. 福祉のまちづくりについておたずねします

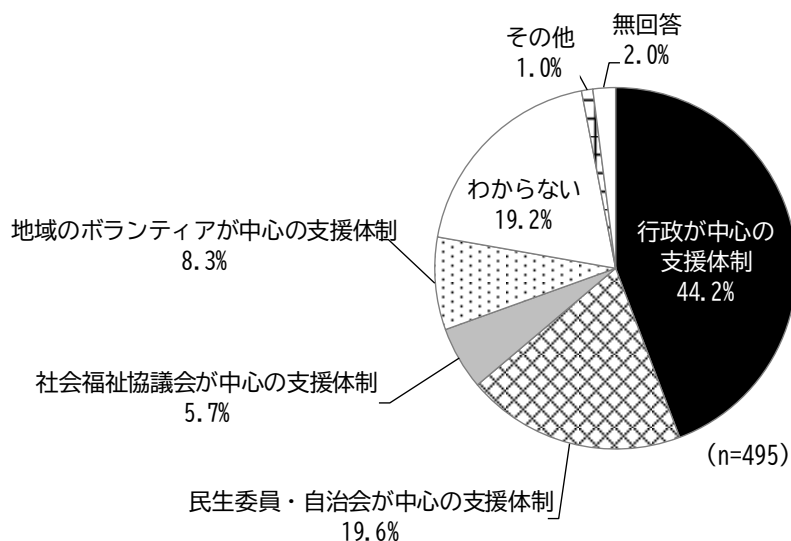
問 30 災害発生時や発生する恐れがある時に自分や家族だけの力で避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。この制度は、本人の個人情報に関係者に提供することに同意した方に個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。あなたは、災害発生時に要支援者の避難を支援できますか。
(○は1つ)

災害発生時に要支援者の避難を支援できるかについては、「支援できる」が10.1%、「支援したいが自信がない」が54.1%、「支援したいができない」が30.1%となっています。



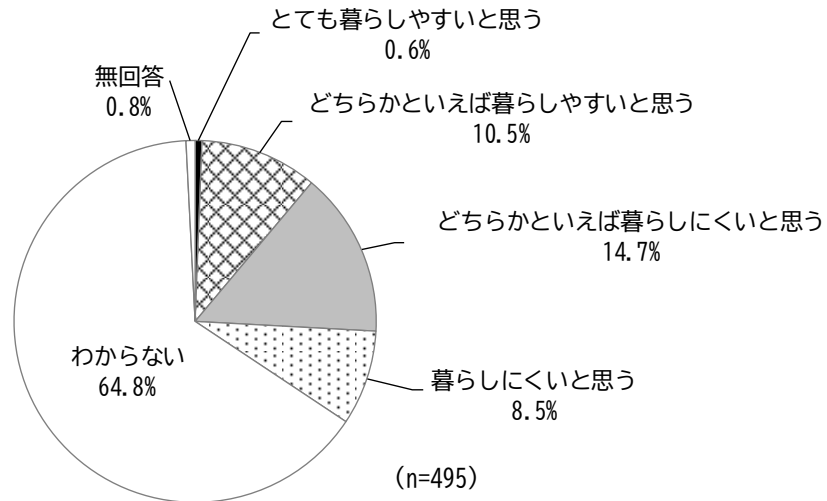
問 31 災害時や緊急時において、障がいのある方に対して避難支援や安否確認などの支援を行うためには、どのような体制をつくるのがよいと思いますか。(○は1つ)

災害時や緊急時において、支援を行うために必要だと思う体制については、「行政が中心の支援体制」が44.2%と最も多く、次いで「民生委員・自治会が中心の支援体制」が19.6%となっています。



問 32 蓮田市は、障がいのある方にとって暮らしやすいと思いますか。(○は1つ)

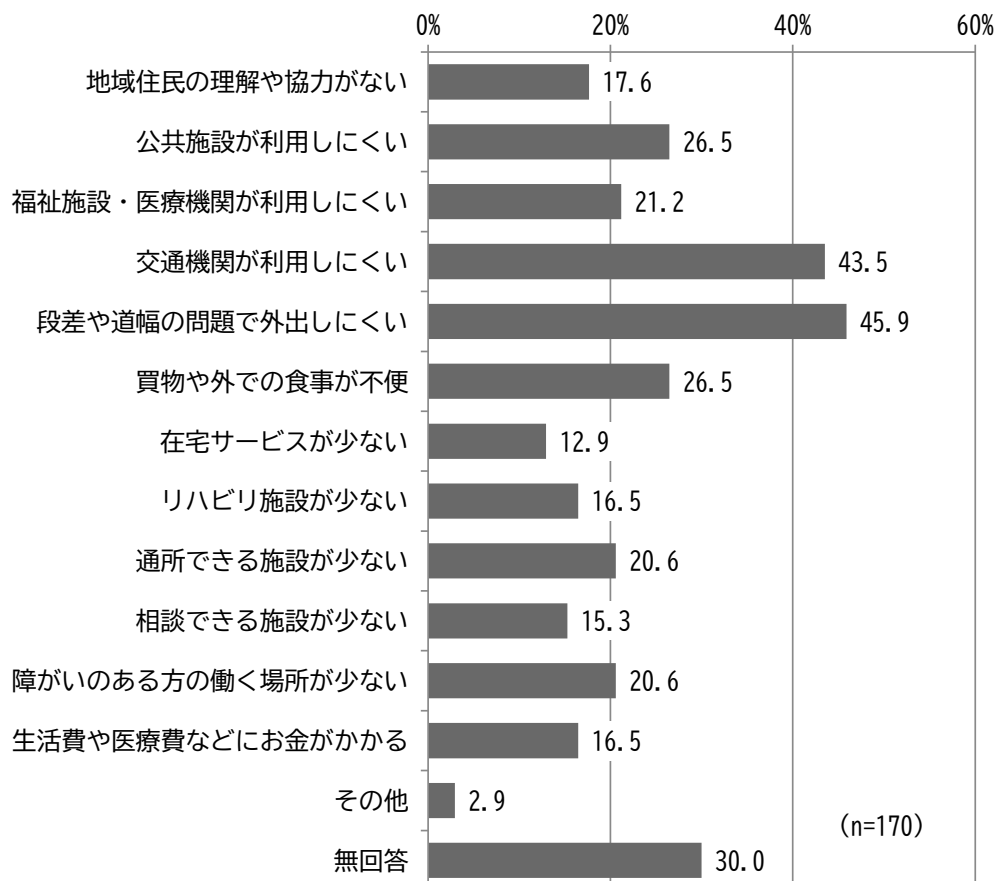
蓮田市は、障がいのある方にとって暮らしやすいと思うかについては、「とても暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』が11.1%となっています。一方、「どちらかといえば暮らしにくいと思う」「暮らしにくいと思う」を合わせた『暮らしにくい』は23.2%となっています。



【問32で「どちらかといえば暮らしにくいと思う」または「暮らしにくいと思う」を回答された方】

問 32-1 どういったところが暮らしにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

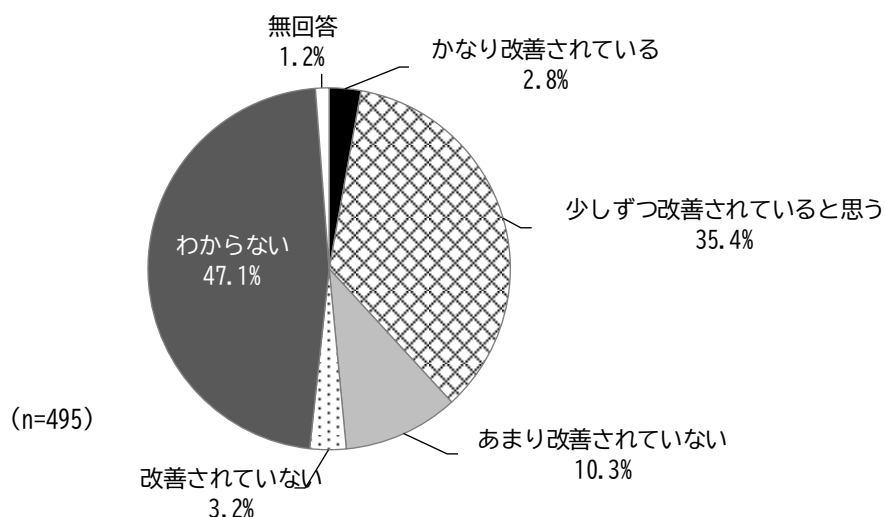
暮らしにくいと思う理由については、「段差や道幅の問題で外出しにくい」が45.9%と最も多く、次いで「交通機関が利用しにくい」が43.5%、「公共施設が利用しにくい」「買物や外での食事が不便」がともに26.5%となっています。



問 33 およそ5～10年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは改善されていると思いますか。(○は1つ)

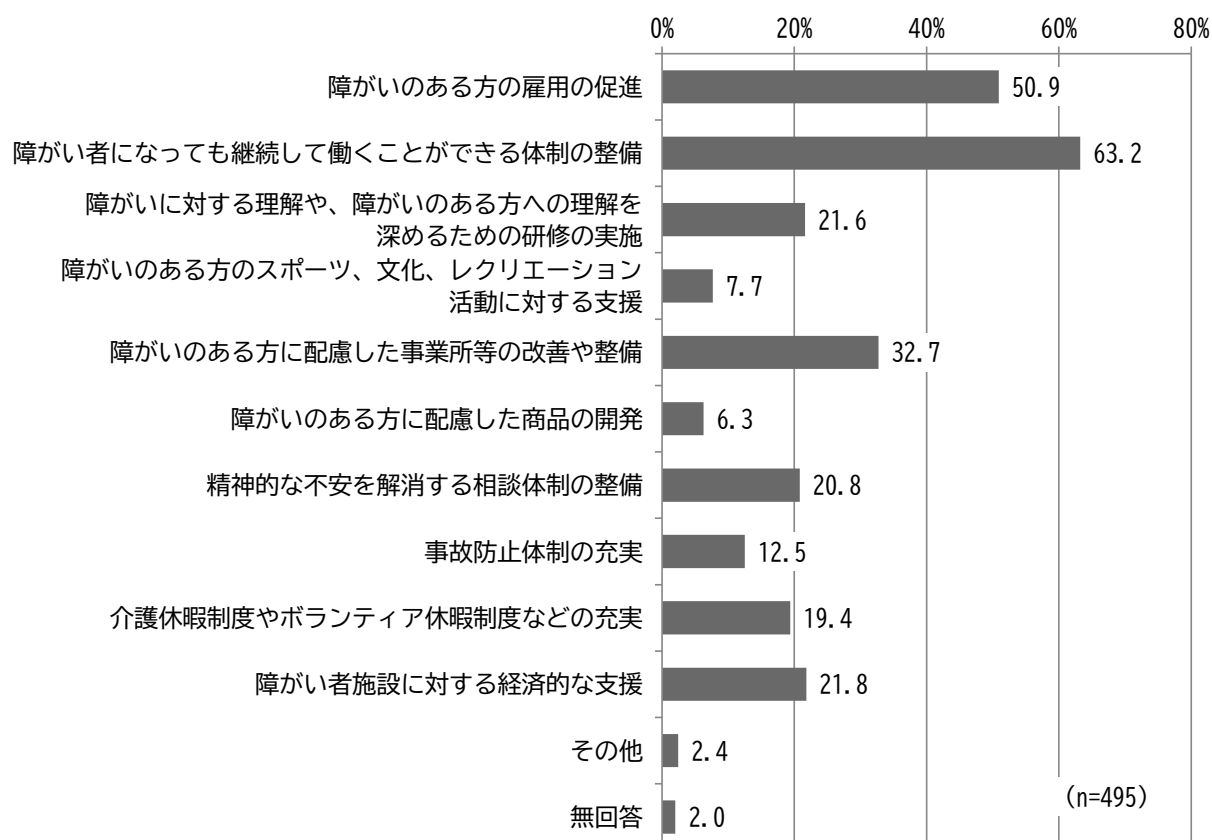
障がいのある方に対する行政の取り組みが改善されていると思うかについては、「かなり改善されていると思う」「少しずつ改善されていると思う」を合わせた『改善されていると思う』が38.2%となっています。

一方、「あまり改善されていない」「改善されていない」を合わせた『改善されていない』は13.5%となっています。



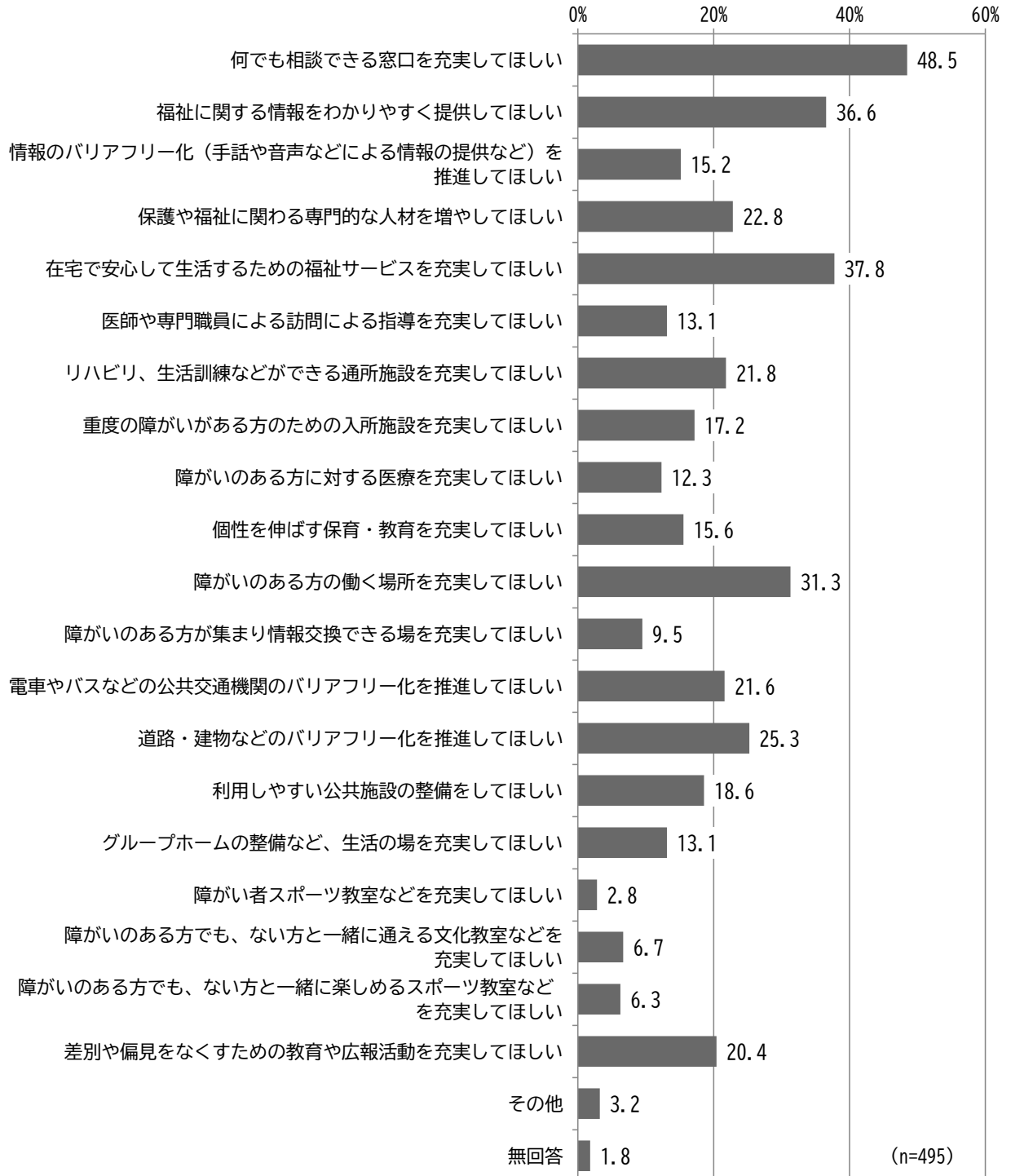
問 34 障がいのある方のために、企業など（会社や民間団体など）が行うべき活動について、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

企業など（会社や民間団体など）が行うべき活動で必要だと思うことについては、「障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備」が63.2%と最も多く、次いで「障がいのある方の雇用の促進」が50.9%、「障がいのある方に配慮した事業所等の改善や整備」が32.7%となっています。



問 35 障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために、行政にはどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（〇は5つまで）

障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために、行政に力を入れてほしいと思うことについては、「何でも相談できる窓口を充実してほしい」が48.5%と最も多く、次いで「在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい」が37.8%、「福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい」が36.6%となっています。



問 36 蓮田市の障がい者施策について、日頃感じていることやご意見がありましたら自由に記入してください。

※別紙参照

資料 調査票

1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査票

はすだし 蓮田市 しょう しゃふくし かん 障がい者福祉に関するアンケート調査 ちようさ

市民の皆さまには、日頃から福祉行政にご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、蓮田市では、「みんなで作る まち」を基本理念とする『かがやき はすだプラン（「蓮田市第3次障がい者基本計画」及び「蓮田市第7期障がい福祉計画・蓮田市第3期障がい者福祉計画」の計画期間が令和8年度末をもって終了することから、令和9年度以降に向けて新たな計画の策定に取り組んでいます）』

つきましては、蓮田市にお住まいの障害者手帳をお持ちの方々と対象に、生活の状況などをお伺いし、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施いたします。今回の調査実施にあたっては、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方と、難病等の対象疾病に該当する方（12月1日現在）から無作為に抽出し、あなただけに回答をお願いすることになりました。

このアンケートは、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の旨、趣意をご理解いただき、よろしくご協力をお願い申し上げます。

2026年（令和8年）2月 蓮田市長 山口 京子

記入にあたってのお願い

- 本人又は本人の意向を確認した家族の方などがご記入ください。
- 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
- ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に○は1つ（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
- 設問によっては、該当する設問の番号に○をつけた方だけに答えていただく設問などがありますので、その説明に従ってご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**3月6日（金）**までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）ポストへ投函してください。
- この調査の回答にあたり、何かしらの配慮が必要な場合（例：調査票の記入をお願いできる人がいない場合など）や、ご不明の点は、最終頁に記載の担当までご連絡下さい。

1 あなた（宛名のご本人）のことについておたずねします

問1 この調査票はどなたが記入されましたか。（○は1つ）

- 本人が記入
- 本人の意向を考えたが、家族や介護者が記入
- 本人の意向を考えたが、家族や介護者が記入

問2 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。（○は1つ）

- 男性
- 女性
- その他

問3 年齢をお答えください。（○は1つ）

- 17歳以下
- 18～19歳
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～79歳
- 80～89歳
- 90歳以上

問4 お住まいの地区はどこですか。（○は1つ）

- 1 本町
- 2 米沢
- 3 御前崎
- 4 児沼崎
- 5 上
- 6 関山
- 7 総瀬
- 8 山ノ内
- 9 栄
- 10 蓮田
- 11 馬込
- 12 黒根
- 13 竜山
- 14 江ヶ崎
- 15 川崎
- 16 緑町
- 17 板台
- 18 勝ノ木
- 19 南新田
- 20 城
- 21 椿山
- 22 西新田
- 23 西城
- 24 鏡戸
- 25 貞渡
- 26 根金
- 27 井沼
- 28 駒崎
- 29 上平野
- 30 高虫

問5 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 身体障害者手帳1級
- 2 身体障害者手帳2級
- 3 身体障害者手帳3級
- 4 身体障害者手帳4級
- 5 身体障害者手帳5級
- 6 身体障害者手帳6級
- 7 療育手帳A（重度）
- 8 療育手帳B（中度）
- 9 療育手帳C（軽度）
- 10 療育手帳D（軽度）
- 11 精神障害者保健福祉手帳1級
- 12 精神障害者保健福祉手帳2級
- 13 精神障害者保健福祉手帳3級
- 14 自立支援医療受給者証
- 15 指定難病医療受給者証
- 16 特定医療医療受給者証
- 17 指定医療医療受給者証
- 18 小児慢性特定医療医療受給者証

問6 どのような障がいがありますか。手帳の有無にかかわらず、現在診断を受けているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 視覚
- 2 聴覚
- 3 音声機能
- 4 音声・言語・しゃべり機能
- 5 肢体不自由（上肢）
- 6 肢体不自由（下肢）
- 7 内臓障がい（臓器、免疫機能）
- 8 高次脳機能障がい
- 9 知的障がい
- 10 精神障がい
- 11 難病等
- 12 その他



3 日常生活についておたずねします

問15 主な介護者はどなたですか。(○は1つ)

- 1 配偶者 (夫・妻)
- 2 父親
- 3 母親
- 4 ことち
- 5 ことちの配偶者
- 6 その他同居している家族
- 7 別居している家族や親族
- 8 近所の友人・知人
- 9 友人・知人
- 10 ホームヘルパー
- 11 家政婦 (夫)
- 12 ボランティア
- 13 給食や病院の職員
- 14 その他 ()

問16 いつも介助している方が介助できなくなるとき、どうされていますか(どうしたいとおもっていますか)。(あてはまるものすべてに○)

- 1 飼^かうしているほかの動物を飼^かむ
- 2 別^{べつ}居^いしている家族や姉妹に頼^{たの}む
- 3 野^の所^{じょ}の犬や猫・知^ち人に頼^{たの}む
- 4 ホームヘルパーなどを頼^{たの}む
- 5 施設に入^い所^{しょ}する（施設の利用も含む）
- 6 病^び院^{えん}に入院^{にゅういん}する
- 7 その他（ ）
- 8 何もあてがなく困^こっている

問17 日頃どのくらい外出をしますか。(通勤・通学も含む)(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|-------------------|---|-------------------|---|---------------|
| 1 | ほぼ毎日
ほぼ毎日 | 3 | 週に1、2回
1週間2回 | 5 | 年に数回
1年に数回 |
| 2 | 週に3、4回
1週間3、4回 | 4 | 月に2、3回
1ヶ月2、3回 | 6 | 外出はほとんどしない |

問18 外出する時の主な目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|---|-------------|---|------------|----|----------------|
| 1 | 運動・進学 | 5 | 訓練やハシリ | 9 | 趣味やスポーツ活動などの参加 |
| 2 | 姉妹への定期的な通所 | 6 | 買物・散歩 | 10 | 入所施設から自宅に帰る |
| 3 | 姉妹サービスを晴々利用 | 7 | 友人・知人宅への訪問 | 11 | その他（ ） |
| 4 | 娯楽 | 8 | 地場産品や行事 | | |

問19 外出する時に困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|-------------------------|----|-------------------|
| 1 | 公共交通機関が少ない、または、ない | 8 | 介護者が雇役できない |
| 2 | 切符の安い方や乗り換えるのがわかりにくい | 9 | 外 出にお金がかかる |
| 3 | 外出先の距離の設備が不備（通称、トイレなど） | 10 | 緊急連絡がわかりにくい |
| 4 | 持ち寄り、活用方法が不適切、高コスト傾向が多い | 11 | 周囲からどう聞かれているか気になる |
| 5 | 乗り場や駐車場が少ない、利用できない | 12 | 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 6 | 列車やバスの乗り場が不便 | 13 | 困ったときにどうすればいいか心配 |
| 7 | 通時や駅に階段や段差が多い | 14 | その他（ ） |

問20 地域や近所の方々とひごろあのお付き合いは、どのていどですか。(○は1つ)

- 1 とても親しくつきあっている人^{ひと}がいる
- 2 親しくつきあっている人^{ひと}がいる
- 3 世間話をする程度^{ていど}の人^{ひと}がいる
- 4 あいさつをする程度^{ていど}の人^{ひと}がいる
- 5 ほとんどつきあいがない

問題21 あなた(宛名のご本人)は地域の祭りなど、行事やイベントに参加していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1 参加している | 2 時々参加している | 3 参加していない |
|----------|------------|-----------|

問題22 あなた(宛名のご本人)は今後、地域の活動に参加してみたいですか。(○は1つ)

- 1 積極的に参加したい きせきてきにさんかしたいたい
- 2 内容によっては参加したい ないようによってはさんかしたいたい
- 3 なるべく参加したくない なるべくさんかしたくない
- 4 参加したくない さんかしたくない

4 健康と医療けんこう いりようについておたずねします

けんこう いりよう

問題23 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 近所^{きんじよ}に診^みてくれる医師^{いし}がない
- 2 専門^{せんもん}的な治療^{ちりょう}を行^{おこな}う医療機関^{いりょうきかん}がない
- 3 遠隔^{えんかく}や健康診断^{けんこうしん断}のときに付き添^{つきで}いがいがない
- 4 往診^{おうしん}を頼^{たの}める医師^{いし}がない
- 5 定期的^{てきどく}に健康診断^{けんこうしん断}を受け^うけられない
- 6 症状^{しんじょう}が正確^{せうさく}に伝わ^{たづな}らず、必要^{ひつやう}な治療^{ちりょう}が受け^うけられない
- 7 製薬^{せいやく}手続^{てつづ}きなどについて、薬剤^{じやくざい}や薬^{くすり}のある人^{ひと}への説明^{せうめい}が不十分^{ふじゅうぶん}
- 8 医療^{いりやう}スタッフ（医師^{いし}、看護^{かんご}師^しなど）の難^{がた}点^{てん}・障^{しょう}がれ^{がれ}に対する理解^{りかい}が不十分^{ふじゅうぶん}
- 9 建物^{たてもの}内の設備^{そくごう}（トイレや移動設備^{いどうそくごう}、案内^{あんない}など）に不備^{ふび}がある
- 10 医療費^{いりやうひ}の負担^{ふたん}が大きい
- 11 交通費^{かうたうひ}の負担^{ふたん}が大きい
- 12 医療^{いりやう}について相談^{さうだん}できる場所^{ばしょ}がない
- 13 適切な医療機関^{てきとうけんかん}を診断^{しん断}するための情報^{じょうほう}が不足^{ふそく}している
- 14 その他（ ）
- 15 特^{とく}に困^{こま}りたり不便^{ふびん}に思^{おも}うことはない

問題24 あなた(宛名のご本人)の健康状態を維持するために必要な支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|---|--------------------------------|---|---|---|------------------|---|-------------------------|---|----------------------------|---|-----|---|------|
| 1 | 訪問看護
びんくなんがく | 2 | 専門家による訪問指導
せんがくじやくによるびんくしうど | 3 | 健康に関する教室や講座の開催
けんこうにかんするけうしつやくわいさのかいさい | 4 | 医師の指導
いししのしうど | 5 | 運動施設の利用
うんどうしせつりのりよう | 6 | リハビリ施設の充実
りハビリしせつのちゆうじつ | 7 | その他 | 8 | 稀にない |
|---|-----------------|---|--------------------------------|---|---|---|------------------|---|-------------------------|---|----------------------------|---|-----|---|------|

5 障がいに対する理解についておたずねします

問25 成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- 1 名称も内容も知っている 3 名称も内容も知らない
2 名称を聞いたことがあるが、内容は知らない

問26 次の①～④の項目を知っていますか(それぞれ○は1つ)

	知っている	知らない
① 障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)	1	2
② 障害者差別解消法(障害者差別を理由とする差別の解消の推進に関する法律)	1	2
③ 手話通訳推進法(手話に際する施策の推進に関する法律)	1	2
④ 東京都手話言語条例(手話が言語であることを認め、手話で誰もが安心して暮らせるまちを自覚す条例)	1	2

問27 地域の人の障がいに対する理解について、あなた(宛名のご本人)はどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 十分理解している 4 まったく理解していない
2 だいたい理解している 5 わからない
3 あまり理解していない

問28 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別・偏見は改善されてきたと思いますか。(○は1つ)

- 1 かなり改善されている 4 改善されていない
2 多少改善されていると認む 5 わからない
3 あまり改善されていない

問29 あなた(宛名のご本人)は、障がいがあることで差別・偏見を受けたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある 2 少しある 3 ほとんどない

【問29で「1」または「2」を回答された方】

問29-1 どのような場面で差別・偏見を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 仕事や収入	6 スポーツや趣味の活動	11 公共施設の職員への対応や態度
2 障害者・幼稚園や学校	7 地域の行事やイベント	12 交通機関の利用
3 道路の建設	8 公共の場での人の増減	13 その他()
4 隣近所とのつきあい	9 店などでの対応や態度	
5 犯罪被害	10 市役所の職員への対応や態度	

問30 2024年(令和6年)4月1日から、事業者による障がいのある人の「合理的配慮の提供が義務化された」ことを知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている 2 知らない

※ 合理的配慮の提供：障がいのある人から、状況の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの働きかけが寄せられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

6 情報や相談についておたずねします

問31 障がい福祉に関する情報を、何で知りますか。(あてはまるものすべてに○)

1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	11 相談支援事業所などの民間の相談
2 行政機関の広報紙・ホームページ	12 行政機関の相談窓口
3 インターネット	13 その他()
4 家族や親せき、友人・知人	14 知らない
5 サービス事業所の人や施設職員	15 入手方法がわからない
6 障害者団体や家族会(団体の機関誌など)	
7 かかりつけの医師や看護師	
8 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	
9 民生委員・児童委員	
10 通達施設、通所施設や療育所、幼稚園、学校の先生	

問32 福祉に関する情報について満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している 3 どちらかといえば不満
2 どちらかといえば満足 4 不満である

問33 生活に関することで、どのような情報を知りたいですか。(○は3つまで)

1 相談窓口に関する事	6 施設などでの日中活動に関する事
2 障がい者にかかわる福祉制度などの事	7 ボランティア団体などの事
3 災害時の避難方法などの災害対策に関する事	8 就業や就労支援などに関する事
4 在宅福祉のサービスに関する事	9 その他()
5 余暇活動に関する事	10 知らない

問34 悩みや困ったことを相談するのは誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族や親せき	8 かかりつけの医師や看護師
2 友人・知人	9 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
3 近所の人	10 民生委員・児童委員
4 福祉の士や同僚	11 通達施設や療育所、幼稚園、学校の先生
5 施設の職員など	12 相談支援事業所などの民間の相談窓口
6 ホームヘルパーなどサービス事業所の人	13 行政機関の相談窓口
7 障害者団体や家族会	14 その他()

7 就労状況についておたずねします

問35 主な収入はどれですか。金額の一番大きいものを選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| 1 自分の年金や障害手当 | 3 家族の年金や給料 | 5 その他 () |
| 2 自分の給料 | 4 生活保護費 | |

問36 平日の日中をどのように過ごしていますか。あなたが選択した回答に従って、以下の問36-1 から問36-6 までの設問にお答えください。(○は1つ)

- 1 芸技活動や、習字などでお金を得る仕事をしている
- 2 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
- 3 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 4 特別支援学校(小・中・高専部)に通っている
- 5 小学校、中学校、高等学校(4を除く)に通っている
- 6 幼稚園、保育園、障がい児通園施設などに通っている
- 7 ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 8 リハビリテーションを受けている
- 9 病院などのデイケアに通っている
- 10 曹長玉縁(夫)をしている
- 11 自宅で過ごしている
- 12 又所している施設や病院などで過ごしている
- 13 その他 ()

【問36で「1」を回答された方】

問36-1 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つ)

- 1 正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 2 正社員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
- 3 パート・アルバイトなどの非正社員、派遣社員
- 4 自営業、農林水産業など
- 5 その他 ()

【問36で「1」を回答された方】

問36-2 仕事をす上で、困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 給料が少ない
- 2 仕事の内容が難しい
- 3 自分が不安定
- 4 又退職が難しい
- 5 トイレなど障がいのある人用の設備が不十分
- 6 帰りに障がいのある人用の設備や機がいない
- 7 障がいがあるために昇進や昇進に差がある
- 8 通勤が大変
- 9 休みがとりにくい
- 10 障がいに対する理解がない
- 11 障がいがあることを周知しづらい
- 12 その他 ()
- 13 困っていることはない



9

【問36で「1」以外を回答された18～64歳の方】

問36-3 あなた(あなたのご本人)は今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 仕事をしたい
- 2 仕事はしたくない、できない

【問36-3で「1」を回答された方】

問36-4 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたらいいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 すでに職業訓練を受けている
- 2 職業訓練を受けていない
- 3 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

【問36-3で「1」を回答された方】

問36-5 どのような仕事の形態を希望しますか。(○は1つ)

- 1 正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない就労形態
- 2 正社員で短時間勤務などの障がい者配慮のある勤務
- 3 自営業
- 4 臨時、日雇い、パート、嘱託等
- 5 就労移行支援、就労継続支援を利用
- 6 地域活動支援センター
- 7 その他 ()

【問36で「3」～「6」のいずれかを回答された方】

問36-6 通園・通学について困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 送迎の手配が大変
- 2 トイレなどの施設が整っていない
- 3 介助体制が十分でない
- 4 先生の理解や配慮が足りない
- 5 まわりの生徒たちの理解が得られない
- 6 友だちができない
- 7 通常の学級に入れてもらえない
- 8 医療的なケアが受けられない
- 9 スクールカウンセラーなど相談体制が十分でない
- 10 その他 ()
- 11 特につまっていることはない

【ここからはすべての方が回答してください】

問37 障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 通園・通学の確保
- 2 通勤先におけるバリアフリーなどの配慮
- 3 短時間勤務や勤務日数の配慮
- 4 勤務時間や日数が休日に合わせて調整できる
- 5 在宅勤務の充実
- 6 帰りの上りや降車に障がいの理解があること
- 7 職場で介助や補助が受けられること
- 8 通勤時間の確保や服装管理などへの配慮
- 9 就業後のフォローなど職場と支援機との連携
- 10 企業ニーズに合った就労訓練
- 11 仕事についての職場外の相談対応、支援
- 12 その他 ()



10

8 災害時の対応についておたずねします

問38 災害が起きたときの行動について、望むことを選んでください。(○は1つ)

- 1 一般避難所の利用を優先したい
- 3 自宅や自家用車を密着した避難を優先したい
- 2 福祉避難所や個別避難所を優先したい
- 4 その他 ()

【問38で「3」を回答された方】

問38-1 自宅や自家用車で避難生活することになった場合に備え、対策をしていますか？(○は1つ)

- 1 対策している
- 2 対策していない
- 3 わからない

【ここからはすべての方が回答してください】

問39 災害対策として必要だと感じること、現在行っていることをそれぞれ選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

いざ 起こ る 場 合	必要だと感じること	現在行っていること
自宅の耐震対策（家具の転倒防止など）		
防災マップ、ハザードマップの確認		
非常持ち出し袋の準備		
家族や支援者の事前取り決め		
地域の防災訓練への参加		
避難行動要支援者名簿への登録		
災害伝言ダイヤルの使い方を確認する		
ヘルプカードの作成		
指定避難所、福祉避難所の事前確認		
移動に必要な家具の準備		
移送サービスの登録		
ガソリン等を常に十分におく		
自分に合った食料や飲料の備蓄		
いつも服用している薬の備蓄		
介助に必要な連絡機会の準備		



11

問40 ご自身の指定避難所や福祉避難所の場所は把握していますか。(○は1つ)

- 1 把握している
- 2 把握していない

問41 火事や地震、豪雨等の災害時に、あなた（発表の本人）は一人で避難できますか。(○は1つ)

- 1 一人で避難できる
- 3 一人で避難できず、助けてくれる人はいない
- 2 一人で避難できないが、助けてくれる人がいる
- 4 その他 ()

問42 火事などの非常時に、あなた（発表の本人）は周囲の人に知らせることができますか。(○は1つ)

- 1 できると思う
- 2 できないと思う
- 3 わからない

問43 災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 被害や危険が受けられない
- 6 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 2 備蓄品の使用が困難になる
- 7 周囲とコミュニケーションが取れない
- 3 補食費や日常生活用品の入手ができなくなる
- 8 介護者がいない
- 4 救助を求めることができない
- 9 その他 ()
- 5 安全なところまで迅速に避難することができない
- 10 特になし

問44 避難所での生活で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 一般のトイレが利用できないこと
- 6 移動や歩行が困難であること
- 2 ベッドがないと生活できないこと
- 7 身体の不調維持が難しいこと
- 3 人が多い場所が苦手なこと
- 8 周囲に迷惑をかけてしまうかもしれないこと
- 4 情報の入手や意思疎通が難しいこと
- 9 その他 ()
- 5 通常の食事ができないこと

問45 自宅で生活し、災害が発生した時や発生する恐れがある時に自分や家族だけで避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。本人の個人情報に関係者に提供することに同意した方に、個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。あなたは、この個人情報の提供に同意していますか。(○は1つ)

- 1 同意している
- 3 同意するつもりはない
- 2 今後同意したい
- 4 わからない



12

問46 障害区分の認定を受けている方は該当する区分に○をつけてください。(○は1つ)

問47 次の①～⑥のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

※サービス内容は、別紙サービス内容説明書をご覧ください。

【障がい児(18歳未満)を養育している方のみお答えください。】

問48 お子さんの障がいや発達課題などに気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

問49 お子さんの障しょうがいや発達課題などには早く気きづけたと思おもいますか。(○は1つ)

いなか	2
いなか	1

【障がい児(18歳未満)を養育している方のお答えください。】

その他の方は、「16ページ」にお進みください。→

問50 幼稚園・学校などに望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1 送迎など、送達・送迎のサポート

2 能力や障がいの状況にあった指導

3 生活訓練や職業訓練など、専門的な指導

4 授業や授業吸引など、医療的ケア

5 福祉サービス事業所など、外部の支援施設との連携

6 障がい児への、新設や修繕・生徒の理解と配慮

7 特に望むことはない

8 その他()

問51 次の①～⑦のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

障がい福祉サービスの種類	(1) 現在の利用		(2) 今後3年以上の利用予定	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 児童発達支援	1	2	1	2
② 放課後等デイサービス	1	2	1	2
③ 障害児相談支援	1	2	1	2
④ 障害訪問型児童発達支援	1	2	1	2
⑤ 保育所等訪問支援	1	2	1	2
⑥ 福祉施設運営型入所施設	1	2	1	2
⑦ 医療型障害児入所施設	1	2	1	2

※サービス内容は、別紙サービス利用説明書をご覧ください。

問52 お子さんを主にサポートしている保護者の方自身が、特に支援して欲しいことは何ですか。(○は3つまで)

1 カウンセリングなど、家族の心理的サポート

2 お子さんの通達・通達所前における、兄弟姉妹の託児

3 経済的支援

4 保護者の就労に関する支援

5 レスパイトケア ※在宅で介護する家族が一時預けに介護から解放され、休養がとれるようによる支援

6 障がいや発達に関すること、福祉サービスなどについて学び考える機会

7 保護者や家族(兄弟姉妹など)が急な病気などにより、介護・支援できないときの一時的な預かりや介護

8 学校卒業後も生涯を通じて学習ができる環境・機会の整備

9 特にない

10 その他()

1 1 連田市の障がい者施策等についておたずねします

問53 連田市は暮らしやすいですか。(○は1つ)

1 とても暮らしやすいと思う

2 どちらかといえば暮らしやすいと思う

3 どちらかといえば暮らしにくいと思う

4 暮らしにくいと思う

5 わからない

【問53で「3」または「4」を回答された方】

問53-1 どういったところが暮らしにくいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1 地域住民の理解や協力が足りない	8 リハビリ施設が少ない
2 公共施設が利用しにくい	9 通所できる施設が少ない
3 福祉施設・医療機関が利用しにくい	10 相談できる施設が少ない
4 交通機関が利用しにくい	11 障がいのある方の働く場所が少ない
5 送迎や通達の困難で外出しにくい	12 生活費や医療費などにお金がかかる
6 買い物や外出の支障が大きい	13 その他()
7 在宅サービスが少ない	

問54 およそ5～10年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは改善されていると思いますか。(○は1つ)

1 かなり改善されている

2 少しずつ改善されている

3 あまり改善されていない

4 改善されていない

5 わからない

問55 障害福祉サービス(ホームヘルプ、施設や福祉作業所の利用など)を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 どのようなサービスがあるのか詳しい情報を知りたい

2 申請や手続きの方法をわかりやすくしてほしい

3 障がいの状態に合った方法で情報を提供してほしい

4 自分に適切なサービスをアドバイスしてほしい

5 必要なときにすぐに利用できるようにしてほしい

6 サービスの創設や前向きな検討してほしい

7 身近な通所で通所サービスが受けられるようにしてほしい

8 施設の職員などの、技術・知識を向上してほしい

9 サービス提供事業所などの数を増やしてほしい

10 サービスの費用負担を軽減してほしい

11 自分に合った必要なサービスがない

12 その他()

13 特にない

16

15

100

問56 次の①～⑭の項目で、マークの意味を知っているものについて、記入欄に○をご記入ください。また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見を記入ください。

自由記入欄 記入欄	項目	自由記入欄 (使用状況や効果など)
	① 障害者のための国際シンボルマーク 「すべての障がい者を対象」に 障がい者が利用できる建物、施設で あることを明確に表しています。	
	② 身体障害者標識 (身体障害者マーク) 施設防止のためやめやむを希望しない場合を 際、このマークを付けた車に障害者 や車いすを「停」った運転者は、道路 交通法の規定により罰せられます。	
	③ 聴覚障害者標識 施設防止のためやめやむを希望しない場合を 際、このマークを付けた車に障害者 や車いすを「停」った運転者は、道路 交通法の規定により罰せられます。	
	④ 盲人のための国際シンボルマーク 視覚障がい者の教室やバリアフリー に整備された建物、施設、乗車などに 付けられています。	
	⑤ 盲マーク 聞こえが不自由なことを表す、室内 で使用されているマークです。	
	⑥ ヒアリングループマーク 電話機や火立おしに設置されているT コイルを使って利用できる施設・乗車等 であることを表すマークです。	
	⑦ ほしよ次マーク 身体障害者補助犬法施行の啓発のた め、お庭や公共施設の入り口などで 掲出されるマークです。	

17

自由記入欄 記入欄	項目	自由記入欄 (使用状況や効果など)
	⑧ オストメイトマーク 人工肛門・人工膀胱を装着している 欠のための設備があることを表して います。トイレの入口・案内等プレ ートに張られています。	
	⑨ ハート・プラスマーク 「身体内部に障がいがある方」を表 しています。	
	⑩ 「白杖 SOS シングナル」普及啓発シンボルマーク 白杖を横立に横たえてSOSのシグナ ルを示している「白杖 SOS シングナル」 運動の普及啓発シンボルマークです。	
	⑪ ヘルプマーク 内部障がいや難病の方など、発見か ら分からなくても援助や配慮を必要と している方が、周囲の方に配慮を必要 としていることを表すマークです。	
	⑫ 手話マーク 盲が聞こえない方等がこのマークを 提示した場合は「手話で対応をお願いします」 の意味、窓口等が提示している 場合は「手話で対応します」等の意味に なります。	
	⑬ 筆談マーク 盲が聞こえない方等がこのマークを 提示した場合は「筆談で対応をお願いします」 の意味、窓口等が提示している 場合は「筆談で対応します」等の意味に なります。	
	⑭ 障害者雇用支援マーク 障がい者の就業機会を促進し、企業と 障がいのある従業員との関係性をす る役割を担っています。	

18

- 1 何でも相談できる窓口を充実してほしい
- 2 福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい
- 3 情報のバリアフリー化（手話や音声などによる情報の提供など）を推進してほしい
- 4 県庁や福祉に関わる専門的な人材を遣わしてほしい
- 5 在留者安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい
- 6 医師や専門職員による訪問指導を充実してほしい
- 7 リハビリ、生活訓練などができる通所施設を充実してほしい
- 8 重症の障がいがある人のための入所施設を充実してほしい
- 9 障がいのある人に対する医療を充実してほしい
- 10 個性を伸ばす障害・教育を充実してほしい
- 11 障がいのある人の働く場所を充実してほしい
- 12 障がいのある人が集まり情報交換できる場を充実してほしい
- 13 電車やバスなどの公共交通機関のバリアフリー化を推進してほしい
- 14 道路・建物などの公共施設等のバリアフリー化を推進してほしい
- 15 利用しやすい公共施設の整備をしてほしい
- 16 グループホームの整備など、生活の場を充実してほしい
- 17 障がい者スポーツ教室などを充実してほしい
- 18 障がいのある人でも、ない人と一緒に通える文化教室などを充実してほしい
- 19 障がいのある人でも、ない人と一緒に楽しめるスポーツ教室などを充実してほしい
- 20 差別や偏見をなくするための教育や広報活動を実施してほしい
- 21 その他（ ）

問58 蓮田市の障がい者施策について、日頃感じていることやご意見がありましたら自由に記入してください。

[illegible]

19



※障がい者施策に関する詳細につきましては、蓮田市のホームページをご覧ください。
(URL: <https://www.city.hasuda.saitama.jp/kenko/koresha/shogai/index.html>)

※前回実施いたしました同様の調査において、皆様から頂戴した貴重なご意見・要望につきましては、行政施策および事業の改善にも活用しています。

具体的な活用のご報告します。

例) 住まいや暮らしについてのアンケート調査にて、25.8%の方が希望する暮らしを送るために「相談対応などの充実」が必要だと回答しています。豊田市では、ケアワーカーのスキルアップや充実を図るとともに、新規の相談支援事業所が開設されるように働きかけを行いました。

この度は、調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。この度は、調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。この度は、調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

この調査に際するお問い合わせ、ご意見などは、お気軽に下記までご連絡ください。

〒460-0804 愛知県豊田市健康福祉部 障がい者支援課 障がい福祉担当
電話：(048) 768-3111 内線138 ファクス：(048) 769-0684

サービス内容説明書		サービス内容	
【障がい福祉サービス等】	サービス名	サービス内容	
①居宅介護（ホームヘルプ）		自宅での入浴や排泄、食事などの介助を行うサービスです。	
②車庫訪問介護		障がい者がいかに必要に介助が必要な方に、自宅で入浴や排泄、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	
③同行支援		障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の支援などを行うサービスです。	
④行動支援		知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要の方に、行動すると必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	
⑤重度障害者等居宅支援		常に介護が必要な方で、介護の必要の度合いがとて高い方に、居宅介護などをまとめて提供するサービスです。	
⑥施設入所支援		主として夜間、施設に入所する障がい者に対し、入浴、排泄、食事の介護などの支援を行うサービスです。	
⑦短期入所（ショートステイ）		自宅で介護する方が病気の療養などに、短期間、夜間も含めた施設に入所し、入浴、排泄、食事の介護などを行うサービスです。	
⑧療養介護		医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に量産に病棟等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	
⑨生活介護		常に介護を必要とする方に、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作活動などの療養を提供するサービスです。	
⑩自立生活援助		一人暮らしに必要な理解や生活方法を習得するため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な手助けを行うサービスです。	
⑪共同生活援助（グループホーム）		夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	
⑫自立訓練（機能訓練、生活訓練）		自立した日常生活や社会生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	
⑬就労移行支援		通常の事業所で働くために、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	
⑭就労継続支援（A型、B型）		通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	
⑮就労定着支援		通常の事業所で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を行うサービスです。	
⑯就労選択支援		障がい者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう支援を行うサービスです。	
⑰計画相談支援		サービス等利用計画策の作成や事業等と個別支援を行うほか、利用状況の確認を行うサービスです。	
⑱地域移行支援		住まいの確保や、施設での生活に移行するための活動に関する相談、各福祉サービス事業所への同行を行うサービスです。	
⑲地域定着支援		常に連絡体制を確保し、障がいの特性による緊急事態における相談や、サービス事業所との連絡調整などを支援するサービスです。	

【障がい福祉サービス】		サービス内容	
①児童発達支援	サービス名	サービス内容	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。 ※令和6年4月より児童発達支援は廃止され、児童発達支援に一元化されました。
②放課後等デイサービス			学校の放課後や休校日の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。
③障害児相談支援			障がい児の通所支援に関する計画策の作成や、事業等との連絡調整を行うサービスです。
④居宅訪問型児童発達支援			重度の障がいなどにより外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行うサービスです。
⑤障害所等訪問支援			保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。
⑥福祉型障害児入所施設			障害児入所施設に入所する障がい児に対して、保護や日常生活の指導や知識技能の伝達を行うサービスです。
⑦医療型障害児入所施設			障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護や日常生活の指導や知識技能の伝達や治療を行うサービスです。

2. その他の市民へのアンケート調査票

蓮田市

障がい者福祉に関するアンケート調査

市民の皆さまには、日頃から福祉行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。蓮田市では、「みんなでつくる みんなで暮らせるまち」を基本理念とする『かがやき はすだプラン（「蓮田市第3次障がい者基本計画」及び「蓮田市第7期障がい福祉計画・蓮田市第3期障がい児福祉計画」）の計画期間が令和8年度末をもって終了することから、令和9年度以降に向けて新たな計画の策定に取り組んでいます。

つきましては、蓮田市にお住まいの方を対象に、「障がい」に対する皆様のご理解、ご意見をうかがいし、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施いたします。

今回の調査実施にあたっては、18歳以上（12月1日現在）の市民1,000人の方を住民基本台帳から無作為に抽出し、あなた様に回答をお願いすることになりました。

このアンケートは、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の目的、趣意をご理解いただき、よろしくご協力をお願い申し上げます。

2026年（令和8年）2月

蓮田市長

山口 京子

記入にあたってのお願い

- 1. 本人又は本人の意向を確認した家族の方がご記入ください。
- 2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
- 3. ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に（○は1つ）（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
- 4. 設問によっては、該当する設問の番号に○をつけた方だけに答えていただく設問などがありますので、その説明に従いご記入ください。
- 5. ご記入いただいた調査票は、3月6日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）郵送してください。
- 6. ご不明の点は、最終頁に記載の担当課までご連絡ください。

1 あなたとご家族のことについておたずねします

問1 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 年齢をお答えください。（○は1つ）

1 18～19歳	4 40～49歳	7 70～79歳
2 20～29歳	5 50～59歳	8 80～89歳
3 30～39歳	6 60～69歳	9 90歳以上

問3 お住まいの地区はどちらですか。（○は1つ）

1 本町	6 関山	11 馬込	16 緑町	21 椿山	26 根金
2 末広	7 綾瀬	12 黒浜	17 桜台	22 西新宿	27 井沼
3 御前橋	8 山ノ内	13 菟山	18 藤ノ木	23 西城	28 駒崎
4 見沼町	9 東	14 江ヶ崎	19 南新宿	24 関戸	29 上平野
5 上	10 蓮田	15 川島	20 城	25 貝塚	30 高虫

問4 蓮田市にお住まいの通算年数をお答えください。（○は1つ）

1 5年未満	3 10年～15年未満	5 20年～30年未満
2 5年～10年未満	4 15年～20年未満	6 30年以上

問5 現在の職業をお答えください。（○は1つ）

1 正社員・正職員	4 自営業及びその家族従事者	7 家事専業
2 派遣・嘱託・契約社員	5 農林漁業	8 無職
3 パート・アルバイト	6 学生	9 その他（ ）

問6 現在、一緒に暮らしている人はいいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 いない（ひとり暮らし）	4 こども	7 友人・知人
2 父母・祖父母・兄弟姉妹	5 孫	8 福祉施設などで暮らしている
3 配偶者（夫または妻）	6 その他の親族	9 その他（ ）

問7 地域や隣近所の方々の日ごろのお付き合いは、どの程度ですか。(○は1つ)

- 問8 あなたは障がいや障がいのある方の福祉について関心がありますか。(○は1つ)

- 【問8で「1」または「2」を回答された方】

問8-1 関心がある最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

- 問9 あなたは障がいのある方と接する機会はどのくらいありますか。(○は1つ)

- 【問9で「1」～「5」のいずれかを回答された方】

問9-1 どういった機会ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 問 10 陳がいのある方に対するあなたのイメージは、次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

-

問 11 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(○は1つ)

- 問12 障がいに対するあなた自身の理解について、どのように思いますか。(Oは1つ)

- 問 13 次の①～④の項目を知っていますか(それぞれ○は1つ)

問 14 あなたは、陣がいのある方への虐待を相談・通報しなければならぬと感じ、身近に感じることがありますか。

(○は1つ)

- 問 15 2024 年(令和6年)4月1日から、事業者による障がいのある人の「合理的配慮」の提供が義務化されたことを知っていますか。(〇は1つ)

- ※ 合理的配慮の提供：障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が置すぎない範囲で対応すること。

- 問 16 手話でどの程度お話ができますか。(○は1つ)

- 【問16で「5」を回答された方】

問 16-1 手話を学んでみたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 積極的に学んでみたい 2 機会があれば学んでみたい 3 興味が無い・必要を感じない

問 17 あなた自身が、病気や事故などで将来障がい者になるかもしれないと考えますか。(○は1つ)

1 よくある	3 あまり考えたことはない
2 たまにある	4 まったく考えたことはない

問 18 今後、障害者手帳を所持することになった時、あなたはどのように生活したいと思いますか。(○は1つ)

1 今のままで生活したい	3 独立して生活したい	5 グループホーム*で生活したい
2 家族と一緒に生活したい	4 施設に入所したい	6 その他 ()

※ グループホーム：共同生活を営む住居において、主に就労に相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行い、地域での少人数の共同生活を支援するサービスです。

問 19 もし、あなたのすぐ近所に障がいのある方が引っ越してきた場合、または、障がい者施設ができて、障がいのある方が近くで生活されるようになったら、どう思いますか。(○は1つ)

1 こちから声をかけて手助けしたい	4 どちらかというくらい関わりたくない
2 気にかけて困っていれば手助けしたい	5 その他 ()
3 特別に関わることはない	

問 20 あなたはこれまで、障がいのある方に手助けをしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない	3 覚えていない
------	------	----------

【問 20 で「1」を回答された方】

問 20-1 どのような手助けでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1 横断歩道や階段を手をかけた	8 話し相手、相談相手になった
2 荷物を持った	9 異物をしたり病院で薬をもらってきたりした
3 席をゆずった	10 車いすを押したり、持ち上げたりした
4 電話を代わりにした	11 車での送迎など、外出の手助けをした
5 書類を読んだり、代筆したりした	12 寄付や募金など経済的な援助をした
6 掃除・洗濯などの家事を手伝った	13 その他 ()
7 入浴・着替えなどのお世話をした	

【問 20 で「1」を回答された方】

問 20-2 どのような理由で手助けしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 特に意識してはいないが、当然のことだから
2 困っているときはお互い様だから
3 身近に障がいのある方がいて、大変さを知っているから
4 近所付き合いや職場付き合いなどで手助けをするのが自然な環境であったから
5 何となく手助けをしたいと思ったから
6 その他 ()



【問 20 で「2」を回答された方】

問 20-3 手助けをしたことがない主な理由は何ですか。(○は1つ)

1 障がいのある方が困っている場面に出会ったことがないから
2 専門の方や関係者にまかせたほうが良いと思うから
3 どのように接していいかわからないから
4 お節介りになるような気がするから
5 関わりたくないから
6 その他 ()

【問 20 で「2」を回答された方】

問 21 次の①～⑧の項目で、それぞれあてはまる番号を選んでください。(それぞれに○は1つ)

項目	聞いたことがあり、 意味も知っている	聞いたことはあるが、 意味はわからない	聞いたことがない
① 共生社会	1	2	3
② ヤングケアラー	1	2	3
③ アンコンシヤス・バイアス	1	2	3
④ ユニバーサルデザイン	1	2	3
⑤ 電話リレーサービス	1	2	3
⑥ 発達障がい	1	2	3
⑦ 高次脳機能障がい	1	2	3
⑧ 自立支援医療	1	2	3
⑨ 医療的ケア児	1	2	3
⑩ 特別支援教育	1	2	3
⑪ インクルーシブ教育 (保育)	1	2	3
⑫ 成年後見制度	1	2	3

※ 素朴ページ(13ページ)に用語解説を掲載しています。

問 22 次の①～④の項目で、マークの意味を知っているものについて、記入欄に○をご記入ください。
また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見を記入ください。

記入欄	項目	自由記入欄 (使用状況や効果など)
	① 障害者のための国際シンボルマーク 「すべての障がい者を対象」に障がい者が利用で きる建物、施設であることを明確に表しています。	
	② 身体障害者標識 (身体障害者マーク) 危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマ ークを付けた車に停車せよの指示が行われる場 所は、道路交差点の付近により制約されます。	



記入欄	項目	自由記入欄 (使用状況や数量など)
	③ 聴覚障害者標識 (危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に接触は避け、通行の妨げを行って交通の流れを妨げないよう注意を促す。)	
	④ 盲人のための道標 (歩行者の安全やバリアフリーに考慮され、道標、設備、標識などに付けられています。)	
	⑤ 耳マーク (聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。)	
	⑥ ヒアリングブループマーク (補聴器や人工内耳に内蔵されているTコイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマークです。)	
	⑦ ぼんぼろマーク (身体障害者補助犬同伴の誘導のため、お店や公共施設等の入口などで表示されるマークです。)	
	⑧ オストメイトマーク (人工肛門・人工膀胱を装着している人のための設備があることを表示しています。トイレの入口・案内図等にマークが表示されています。)	
	⑨ ハート・プラスマーク (「身体内部に障がいがある方」を表しています。)	
	⑩ 「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク (白杖を頭上に向けてSOSのシグナルを示している「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。)	
	⑪ ヘルプマーク (内部障がいや難病の方など、外見から分らずとも援助や配慮が必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを示すマークです。)	
	⑫ 手話マーク (耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「手話で対話をお願いします」の意味、窓口等が提示している場合は「手話で対応します」等の意味になります。)	
	⑬ 書談マーク (耳が聞こえない人等がこのマークを提示した場合は「書談で対話をお願いします」の意味、窓口等が提示している場合は「書談で対応します」等の意味になります。)	
	⑭ 障害者雇用支援マーク (障がい者の社会参加を促進し、企業と障がいのある求職者とのマッチングを図っています。)	

5 社会参加・ボランティアについておたずねします

問 23 障がいのある方が社会に積極的に参加するために最も重要だと思うことはどれですか。(○は1つ)

1 障がいのある方が参加しやすい地域の行事やイベントなどの機会を増やす

2 障がいのある方が使いやすい施設を整備する

3 移動が困難な方に配慮して、交通機関や道路を整備する

4 地域や社会が障がい(障がいのある方)に対する理解を深める

5 ボランティアをもっと育成する

6 その他()

問 24 障がいのある方の社会参加を進めるために、もっと活動・取り組みを充実してほしいと思う組織・主体はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1 県、市町村などの行政

5 障がいのある方自身や当事者団体

9 市民(あなただ個人を含む)

2 社会福祉協議会

6 NPOなどの民間の支援団体

10 民生委員・児童委員

3 福祉施設(事業者)

7 ボランティア団体

11 その他()

4 民間企業

8 地域住民

問 25 あなたは、障がいのある方に対するボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

1 よく参加している

2 時々参加している

3 参加していない

問 26 今後、障がいのある方に対するボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 ぜひ参加したい

3 どちらとも言いえない

5 参加したくない

2 できれば参加したい

4 あまり参加したくない

【問 26 で「1」または「2」を回答された方】

問 26-1 具体的にどのような活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1 施設に行って障がいのある方とレクリエーション活動などをする

2 施設などで障がいのある方の身の回りのお世話をする

3 障がいのある方の自宅に訪問して身の回りのお世話をする

4 障がいのある方が外出する時の付き添いをする

5 手話や点字を活用して、読書障がいのある方や障害障がいのある方を援助する

6 障がいのある方のための基金や寄付をする(呼びかけを含む)

7 その他()

【問 26 で「1」または「2」を回答された方】

問 26-2 ボランティアへの参加方法は知っていますか。(○は1つ)

1 知っている

2 知らない

8

6 障がいのある方の人権についておたずねします

問 27 あなたのまわりには、障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

1 かなりあると思う	3 ないと思う
2 少しはあると思う	4 わからない

問 28 障がいのある方が地域で生活するとき、特に人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)

1 就職・就労で不利な扱いを受けること
2 結婚に周囲が反対すること
3 障がいのある方を、じろじろ見たり、避けたりすること
4 障がいを理由とした「いじめ」があること
5 差別的な発言や行動をすること
6 障がいのある方の意見や行動を尊重しないこと
7 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと
8 外出時に道路、交通機関、店舗、公園等の利用が不便なこと
9 アパートや住宅へ入居するための契約等が困難なこと
10 障がいのある方を狙った詐欺や悪徳商法などの犯罪が多いこと
11 スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
12 その他 ()
13 特に問題はない
14 わからない

問 29 障がいのある方に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1 こどもの時から障がいのある方とふれあう機会を増やす
2 学校教育の中で障がいに対する理解を深める
3 障がいのある方に対するボランティア活動を支援する
4 イベントなどを通じて障がいのある方と市民との交流の機会を増やす
5 テレビ・新聞や行政の広報・ホームページなどを活用した啓発活動を充実する
6 福祉に関する市民講座や講演会などを通じた啓発活動を充実する
7 障がい者団体の活動をもっとPRする
8 障がいのある方、ない方が一緒に参加できる行事や講座を実施する
9 その他 ()



7 福祉のまちづくりについておたずねします

問 30 災害発生時や発生する恐れがある時に自分や家族だけで避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。この制度は、本人の個人情報に関係者に提供することに同意した方に個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。

あなたは、災害発生時に要支援者の避難を支援できますか。(○は1つ)

1 支援できる	3 支援したいができない
2 支援したいが自信がない	4 支援したくない

問 31 災害時や緊急時において、障がいのある方に対して避難支援や安否確認などの支援を行うためには、どのような体制をつくるのがよいと思いますか。(○は1つ)

1 行政が中心の支援体制	4 地域のボランティアが中心の支援体制
2 民生委員・自治会が中心の支援体制	5 わからない
3 社会福祉協議会が中心の支援体制	6 その他 ()

問 32 蓮田市は、障がいのある方にとって暮らしやすいと思いますか。(○は1つ)

1 とても暮らしやすいと思う	4 暮らしにくいと思う
2 どちらかといえば暮らしやすいと思う	5 わからない
3 どちらかといえば暮らしにくいと思う	

【問 32 で「3」または「4」を回答された方】

問 32-1 どういったところが暮らしにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 地域住民の理解や協力がでない	8 リハビリ施設が少ない
2 公共施設が利用しにくい	9 通所できる施設が少ない
3 福祉施設・医療機関が利用しにくい	10 相談できる施設が少ない
4 交通機関が利用しにくい	11 障がいのある方の働く場所が少ない
5 段差や道幅の問題で外出しにくい	12 生活費や医療費などにお金がかかる
6 買い物や外での食事が不便	13 その他 ()
7 在宅サービスが少ない	

問 33 およそ5～10 年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは改善されていると思いますか。(○は1つ)

1 かなり改善されている	4 改善されていない
2 少しずつ改善されていると思う	5 わからない
3 あまり改善されていない	



- 1 障がいのある方の雇用の促進
- 2 障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備
- 3 障がいに対する理解や、障がいのある方への理解を深めるための研修の実施
- 4 障がいのある方のスポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援
- 5 障がいのある方に配慮した事業所等の改善や整備
- 6 障がいのある方に配慮した商品の開発
- 7 精神的な不安を解消する相談体制の整備
- 8 事故防止体制の充実
- 9 介護休暇制度やボランティア休暇制度などの充実
- 10 障がい者施設に対する経済的な支援
- 11 その他（ ）

- 1 何でも相談できる窓口を充実してほしい
- 2 福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい
- 3 情報のバリアフリー化（手話や音声などによる情報の提供など）を推進してほしい
- 4 保護や福祉に関わる専門的な人材を確保してほしい
- 5 在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい
- 6 医師や専門職員による訪問による指導を充実してほしい
- 7 リハビリ、生活訓練などができる通所施設を充実してほしい
- 8 重症の障がいがある方のための入所施設を充実してほしい
- 9 障がいのある方に対する医療を充実してほしい
- 10 個性を伸ばす保育・教育を充実してほしい
- 11 障がいのある方の働く場所を充実してほしい
- 12 障がいのある方が集まり情報交換できる場を充実してほしい
- 13 電車やバスなどの公共交通機関のバリアフリー化を推進してほしい
- 14 道路・建物などのバリアフリー化を推進してほしい
- 15 利用しやすい公共施設の整備をしてほしい
- 16 グループホームの整備など、生活の場を充実してほしい
- 17 障がい者スポーツ教室などを充実してほしい
- 18 障がいのある方でも、ない方と一緒に遊べる文化教室などを充実してほしい
- 19 障がいのある方でも、ない方と一緒に楽しめるスポーツ教室などを充実してほしい
- 20 差別や偏見をなくすための教育や広報活動を充実してほしい
- 21 その他（ ）

--	--	--	--

※お問い合わせ先は、蓮田市のホームページをご覧ください。
(URL: <https://www.city.hasuda.saitama.jp/kenko/koroesha/shogai/index.html>)

用語	解説
① 共生社会	誰かがある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会のこと。
② ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や看護の世話を日常的に行っていることものこと。
③ アンコンシャス・バイアス	「無意識の属したものの見方」のこと。
④ ユニバーサルデザイン	最初から誰にも利用しやすい、暮らしやすい社会となるよう、まちや建物、もの、しくみ、サービスなどを提供しにくいとする考え方のこと。
⑤ 聴認リレーサービス	聴覚や発声に困難のある人となじみの人との会話を、通訳オペレーターが文字と声を通電することで電話で繋いでくれるサービスのこと。
⑥ 非発声者がいい	聴覚に困難のある人、特定の分野の学習だけが困難な困難などの特徴がみられるもの。
⑦ 聴覚認識能障がい	音声やセリが聞きとる際に困難を受けにくく、日常生活や社会生活に影響を及ぼすままに聴覚認識能の障がいのこと。
⑧ 自立支援医療	心身の障がいがあるままに経済生活するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度のこと。
⑨ 医療的ケア児	人工呼吸器などを使用し、たんの吸引など、医療的なケアが日常的に必要な子どもたちのこと。
⑩ 特別支援新制	自分から社会参加が自立をしようとする意図を支援するため、障がいのある知らん、児童生徒一人一人の新しいニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うもの。
⑪ インクルーシブ教育（包摂）	障がいのあることと障がいのないことともに教育（包摂）を受けることで、「共生社会」の実現に貢献しようという考え方のこと。
⑫ 成年後見制度	知的障がい、精神障がい、認知症などによって一人で決めることに不安や心配のある人がいるような契約や手続などを監に代行する制度のこと。

具体的な活用の一側を二例をご紹介します。

(例) 障がいのある方が、学校について、障がいのある方に対する理解を深める取組として、63.2%の方が「学校の文化に関する知識が必要である」と回答しています。夏田市においては、総合型学習の時間等を利用して、市内小学校及び中学校において、手話や点字体験教室等の活動を実施しました。

調査に関するお問い合わせ、ご質問等は、お気軽に下記までご連絡ください。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-3-8 アークス(048)769-0684
代表取締役 渡辺 健康 福祉部 障がい者支援課 障がい福祉担当
電話：(048) 768-3111 内線138 ファクス：(048) 769-0684

参考資料	
主な障がい福祉サービス	
【障がい福祉サービス等】	
サービス名	サービス内容
①居宅介護（ホームヘルプ）	自宅での入浴や排泄、食事などの介助を行うサービスです。
②重度訪問介護	重い障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排泄、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。
③同行援護	視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。
④行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。
⑤重度障害者等包括支援	常に介護が必要で、介護の必要の度合いがとても高い方に、居宅介護などをまとめて提供するサービスです。
⑥施設入所支援	主として夜間、施設に入所する障がい者に対し、入浴、排泄、食事の介護などの支援を行うサービスです。
⑦短期入所（ショートステイ）	自宅で介護する方が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設に入所し、入浴、排泄、食事の介護などを行うサービスです。
⑧療養介護	医療が必要で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。
⑨生活介護	常に介護を必要とする方に、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。
⑩自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な手助けを行うサービスです。
⑪共同生活援助（グループホーム）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。
⑫自立訓練（機能訓練、生活訓練）	自立した日常生活や社会生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。
⑬就労移行支援	通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。
⑭就労継続支援（A型、B型）	通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。
⑮就労定着支援	通常の事業所で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を行うサービスです。
⑯就労選択支援	障がい者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう支援を行うサービスです。
⑰計画相談支援	サービス等利用計画案の作成や事業者等と連絡調整を行うほか、利用状況の確認を行うサービスです。
⑱地域移行支援	住まいの確保や、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各種サービス事業所への同行を行うサービスです。

サービス名	サービス内容
⑭地域定着支援	常に連絡体制を確保し、障がいの特性による緊急事態における相談や、サービス事業所との連絡調整などを支援するサービスです。
⑯手話通訳者・要約筆記者派遣事業	聴覚に障がいがある者等からの申請により、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行います。
⑰日常生活用具給付等事業	日常生活を営む上で著しい障がいのある人に対し、排泄管理支援用具、入浴補助用具や視覚障がい者用拡大読書器等を給付しています。
⑱移動支援	屋外での移動が困難な障がいのある人について、生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出（通勤・通学等、遠年かつ長期にわたる外出等を除く）として1日の範囲で用務を終えるものについて、外出支援を行います。
⑲訪問入浴サービス	居宅において常に臥床し、自宅で入浴することが困難な高齢者の必要障がい者（手帳所持者）の身体清潔の保持、心身機能の維持等を図るため、移動入浴車を派遣し入浴サービスを提供します。
⑳日中一時支援	障がい者の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息のため、一時的な見守り等の支援が必要と認められる障がい者に対し、日中における活動の場を確保し、見守り・社会に適合するための日常的な訓練・その都市が認めた支援を行います。
㉑地域活動支援センター	障がい者本人が地域で自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、日中活動や社会との交流の機会を提供する施設です。
㉒声の広報・点字広報の発行	多くの方に、はすだの街を知っていただくために、「声の広報（CD）」「点字広報」の買出しを行っています。

【障がい児福祉サービス】

サービス名	サービス内容
①児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。 ※令和6年4月より医療型児童発達支援は廃止され、児童発達支援に一元化されました。
②放課後等デイサービス	学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。
③障害児相談支援	障がい児の通所支援に関する計画案の作成や、事業者との連絡調整を行うサービスです。
④居宅訪問型児童発達支援	重度の障がいなどにより外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行うサービスです。
⑤保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。
⑥福祉型障害児入所施設	障害児入所施設に入所する障がい児に対して、保護や日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。
⑦医療型障害児入所施設	障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護や日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。

蓮田市

蓮田市障がい者福祉に関する
アンケート調査結果報告書
令和8年6月

健康福祉部障がい者支援課
電話：(048) 768 - 3111 内線 138
F A X：(048) 769 - 0684

